



Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルーター ユーザーズガイド

目次

- ▶ [はじめに](#)
- ▶ [ルーターの管理](#)
- ▶ [一般ケースの設定手順](#)
- ▶ [技術仕様と規制情報](#)
- ▶ [FAQ](#)
- ▶ [用語集](#)
- ▶ [オンラインカスタマーサポート](#)

本書は予告なく変更されることがあります。
© 2003 Dell Computer Corporation。著作権所有。

本書で使用している商標について: Dell は DELL のロゴで、TrueMobile は Dell Computer Corporation の商標です。Microsoft と Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。本書で使用している他社の商標および商品名は、その商標と商品名を主張するエンティティまたはその製品を参照している場合があります。Dell は、同社のもの以外の商標や商号のすべての所有権を否認します。

[目次に戻る](#)

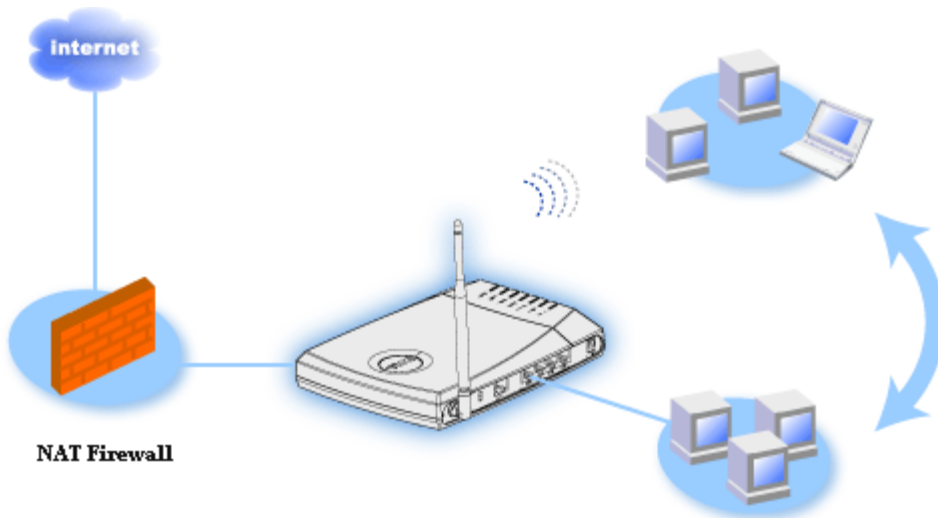
はじめに： Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

- ▶ [概要](#)
- ▶ [ワイヤレスネットワークの概要](#)
- ▶ [ハードウェア](#)

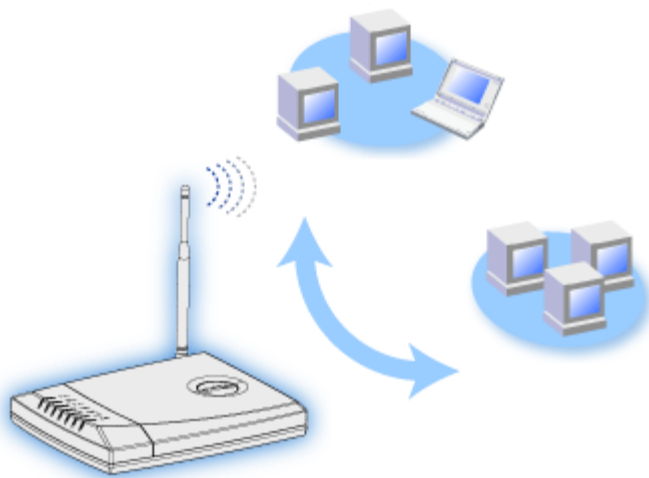
概要

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータは、インターネット ルータを内蔵する 802.11b/g ワイヤレスアクセスポイントです。xDSL またはケーブルモデムに接続することで、有線とワイヤレスコンピュータが同時にインターネットにアクセスできます。ワイヤレスブロードバンドルータは次のようにセットアップできます。

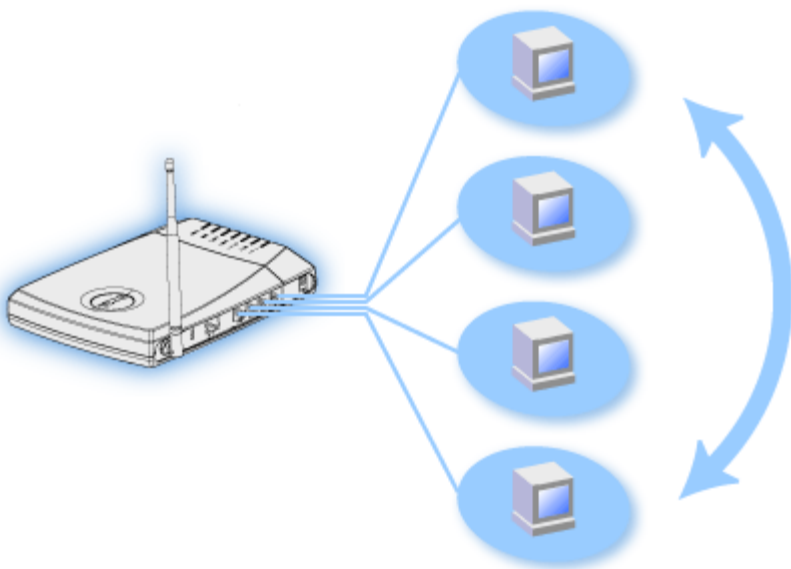
- インターネットルータ:ケーブルまたは xDSL モデムに接続すると、有線とワイヤレスコンピュータの両方をインターネットに接続できます。ルータコントロールインターネットアクセスに含まれるファイアウォール機能は、ネットワークを保護します。



- ワイヤレスハブ(アクセスポイント):ファイルとプリンタを共有するコンピュータに接続します。



- 4ポートイーサネットスイッチ:ファイルとプリンタを共有する4台の有線コンピュータに接続します。




- イーサネットブリッジ:有線とワイヤレスコンピュータ間でファイルとプリンタを共有できます。さらに、イーサネットハブに接続して、インターネットの接続と共有をさらに多くの有線コンピュータに拡張できます。



ワイヤレスブロードバンドルータは252台までのクライアントをサポートします。252台のクライアントのうち16台まではワイヤレスを適用できます。ネットワークアドレス変換(NAT)機能により64台のクライアントが同時

にインターネットと通信できます。一秒間に最大54メガバイト(Mbps)の速度で転送し、LAN (有線)ポートが10/100 Mbpsで転送します。ブロードバンドルータと各コンピュータ間の最大距離は300フィートで、この距離は環境によって左右されることは稀です。

-  **注意:** デフォルトセットアップを使用すると、ワイヤレスブロードバンドルータは、99 台までの有線およびワイヤレスコンピュータに IP アドレスを提供できます。IP アドレスはネットワーク上のコンピュータを一意に特定します。ユーザーが20台以上の接続になると、ネットワークトラフィックの増加のために、スループットが遅くなる場合があります。

デフォルトでは、ブロードバンドルータを次のように使用できます。

- ワイヤレスネットワークネームとして「ワイヤレス」を使用するワイヤレスアクセスポイント。
- IP アドレスをワイヤレスと有線クライアントに提供する DHCP サーバ。
- イーサネットハブへのブリッジ。

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

ルータの管理 Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

- ▶ [概要](#)
- ▶ [セットアップウィザード](#)
- ▶ [コントロールユーティリティ](#)
- ▶ [ウェブベースのコンフィギュレーションツール](#)

概要

TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータの工場出荷デフォルト設定は、ほとんどのネットワーク環境で使用できる設定です。しかし、ネットワーク環境によっては、異なるルータ設定が必要な場合もあります。

セットアップウィザード:

セットアップウィザードは、Windowsベースのソフトウェアプログラムで、TrueMobile 2300 CDに含まれています。このプログラムは、1) ネットワークにルータをインストールして複数のPCでインターネットにアクセスできる環境を設定する、2) ネットワークに別のコンピュータを追加する、さらに3) ユーザーズガイドとDellサポートWebサイトへのリンクを提供します。

コントロールユーティリティ:

コントロールユーティリティもWindowsベースのソフトウェアプログラムで、TrueMobile 2300 CDに含まれています。このユーティリティは、通常、ルータインストールの最後の部分にあり、PCとインターネットの接続状況情報と、パスワード、無線チャネル、またSSIDなどのワイヤレスブロードバンドルータの管理設定変更機能を提供します。

Webベースコンフィギュレーションツール:

Webベースコンフィギュレーションツールは、ワイヤレスブロードバンドルータの詳細設定を行う場合に使用します。このツールはルータ内にあり、ブラウザを使ってアクセスします。このツールには、ワイヤレスブロードバンドルータの基本設定オプションと詳細設定オプションがあります。たとえば、他のインターネットユーザーに、ローカルのプライベートネットワーク上のWebサーバへのアクセスを許可したり、ワイヤレスネットワークをディセーブルにする許可を与えることができます。

- ☛ **注意:** セットアップウィザードインストールウィザードまたはコントロールユーティリティは、Windows 2000/XP コンピュータで実行しなければなりません。ウェブベースのコンフィギュレーションツールには、Microsoft インターネットエクスプローラ (4.0 以降) または Netscape (4.0 以降) を使用します。

工場出荷デフォルト設定:

Dell では、ワイヤレスブロードバンドルータの当初セットアップは次の通りです。

- ☛ **注意:** デバイス設定がわからなくなった場合は、リセットボタンを押すとルータの設定を復元することができます。

設定	デフォルト
ユーザー名	admin
パスワード	admin
デバイス名	my.router
IP アドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
10 Mbps イーサネット WAN IP	<DHCP 経由で ISP から取得する >
WAN DHCP クライアント	有効
ESSID (ワイヤレスネットワーク名)	ワイヤレス
チャンネル	6
暗号化	暗号化なし
DHCP サーバ	有効
NAT ルーティング	有効

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

一般ケースの設定手順： Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

- ▶ [ケーブルモデムの接続](#)
- ▶ [xDSL モデムの接続](#)
- ▶ [イーサネット以外でケーブル接続する場合のインストールおよび設定](#)
- ▶ [既存ネットワークへの設定](#)
- ▶ [TrueMobile 2300ルータをゲーム用に設定する](#)
- ▶ [ルータで暗号化を設定するには？](#)
- ▶ [どのようにしてブロードキャストSSIDを解除しますか？](#)
- ▶ [アクセスポイントとしての設定](#)
- ▶ [ファイルとプリンタの共有](#)
- ▶ [ルータへのWinXPクライアント接続の設定](#)

[目次へ戻る](#)



[目次に戻る](#)

技術仕様及び規制に関する情報：

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

- ▶ [技術仕様](#)
- ▶ [規制に関する情報](#)
- ▶ [限定保証と返品に関するポリシー](#)

ワイヤレス相互運用性

Dell TrueMobile 2300 製品は、直接拡散スペクトラム拡散 (DSSS) 無線技術、直交周波数分割多重方式 (OFDM) に基づいて、いかなるワイヤレス LAN 製品とも相互運用が可能ないように、また次に示す基準に適合するように設計されています。

- IEEE 802.11b ワイヤレス LAN に関する基準。
- IEEE 802.11g ワイヤレス LAN に関する基準。
- WECA (Wireless Ethernet Compatibility Alliance) による定義に従った、ワイファイ (WiFi) 認定。

ワイヤレス 802.11 と健康に関する問題

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、その他の無線デバイスと同様に、無線周波数の電磁エネルギーを放出します。このデバイスによって放出されるエネルギーのレベルは、携帯電話など、その他のワイヤレスデバイスの放出する電磁エネルギーに比べて低いものとなっています。Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、無線周波数に関する安全基準及び推薦で見られるガイドラインの範囲で操作を行います。これらの基準及び推薦事項は、科学界の意見や、広範囲にわたる研究文献の絶え間ない確認と解釈に従事している、科学者たちによるパネル及び委員会の審議の結果を反映するものです。特定の状況もしくは環境下においては、建築物の所有者もしくは該当する団体内で責任を有する代表者によって、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスデバイスの使用が制限される可能性があります。そのような状況の例には次のようなものがあります

- Dell TrueMobile 機器を航空機の中で使用する場合。
- Dell TrueMobile 機器を他のデバイスもしくはサービスとの電波混信の危険性があると考えられるか、あるいは有害であると認識された、その他すべての環境で使用する場合。

ある特定の団体もしくは環境 (例えば空港など) におけるワイヤレスデバイスの使用に関して、適用すべきポリシーが不明の場合には、電源を入れる前に Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスデバイスの使用許可を請求するように推奨します。

[トップに戻る](#)

技術仕様

サポートされるスタンダード

- IEEE 802.3, IEEE 802.3u, IEEE 802.11b, 802.11g

プロトコル

- TCP/ IP

環境

- 作業場の湿度 10% から 85% (非濃縮)
- 保管場所の湿度 5% から 90% (非濃縮)
- 作業場の温度 0°から 40° C
- 保管場所の温度 0°から 70° C

電源仕様

受信感度

- 11Mbps: 10-5 BER @ -80 dBm、一般
- 54Mbps: 10-5 BER @ -65 dBm、一般

トランスミットパワー

- 普通温度範囲: ± 12 dBm

DC 電源供給

- インプット: DC 100-250 50-60 Hz 1A
- アウトプット: 5V DC 2A

無線仕様

範囲: 室内"100m以下"、 野外 "450m以下"(オープン距離)

周波数レンジ: 2.4 - 2.4835 GHz、直接拡散スペクトラム拡散

チャンネル数:

- ヨーロッパ: 11 (1-11)
- アメリカ: 11 (1-11)
- フランス: 2 (10-11)
- 日本: 11 (1-11)

モビリティ: ハンドオーバーによるセル境界線を越えたシームレスローミング

特殊機能

サポートされたビットレート:

802.11gの場合:

- 54 Mbps
- 48 Mbps
- 36 Mbps

- 24 Mbps
- 18 Mbps
- 12 Mbps
- 9 Mbps
- 6 Mbps

802.11bの場合:

- 11 Mbps
- 5.5 Mbps
- 2 Mbps
- 1 Mbps

データ暗号化: WEP (64/128 bit)、WPA

ユーティリティソフトウェア

- セットアップウィザードソフトウェア
- コントロールユーティリティソフトウェア

[トップに戻る](#)

規制に関する情報

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスネットワークデバイスのインストール及び使用に関しては、製品に付属したユーザ向けのドキュメンテーションで説明されている、製造メーカーによる使用方法を厳しく守らなければなりません。各国に特有の認可については、無線認可を参照してください。この Dell TrueMobile 2300 キットを含めたデバイスに対して許可されていない変更を行うか、あるいは Dell Computer Corporation が指定した以外の接続ケーブル及び装置で交換もしくは取り付けを行って、無線もしくはテレビの混信が生じた場合、Dell Computer Corporation は一切責任を負いません。許可されていない変更、交換もしくは取り付けなどで生じた混信の修正に関しては、ユーザが責任を持ちます。ユーザがこのガイドラインを守らなかったために生じた、いかなる損害もしくは政府規制への違反についても、Dell Computer Corporation 及び、認可されたその再販業者、代理店は一切責任を負いません。

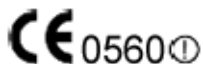
規制に関する最新情報、ドキュメンテーション及びその他の更新内容については、support.dell.com の Dell ウェブサイトをご覧ください。

カナダ -- Industry Canada (IC)

This device complies with RSS210 of Industry Canada

[トップに戻る](#)

ヨーロッパ -- EU Declaration of Conformity



This equipment complies with the essential requirements of the European Union directive 1999/5/EC.

Cet équipement est conforme aux principales caractéristiques définies dans la Directive européenne RTTE 1999/5/CE.

Die Geräte erfüllen die grundlegenden Anforderungen der RTTE-Richtlinie 1999/5/EG.

Questa apparecchiatura è conforme ai requisiti essenziali della Direttiva Europea R&TTE 1999/5/CE.

Este equipo cumple los requisitos principales de la Directiva 1999/5/CE de la UE, "Equipos de Terminales de Radio y Telecomunicaciones".

Este equipamento cumpre os requisitos essenciais da Directiva 1999/5/CE do Parlamento Europeu e do Conselho (Directiva RTT).

Deze apparatuur voldoet aan de noodzakelijke vereisten van EU-richtlijn betreffende radioapparatuur en telecommunicatie-eindapparatuur 1999/5/EG.

Dette udstyr opfylder de Væsentlige krav i EU's direktiv 1999/5/EC om Radio- og teleterminaludstyr.

Dette utstyret er i overensstemmelse med hovedkravene i R&TTE-direktivet (1999/5/EC) fra EU.

Utrustningen uppfyller kraven för EU-direktivet 1999/5/EC om ansluten teleutrustning och ömsesidigt erkännande av utrustningens överensstämmelse (R&TTE).

Tämä laite vastaa EU:n radio- ja telepäätelaitedirektiivin (EU R&TTE Directive 1999/5/EC) vaatimuksia.

[トップに戻る](#)

フランス

フランスのある地域では周波数帯が制限されています。最悪の場合で認可された最大室内電源は次のとおりです。

2.4 GHz 帯 (2400 MHz – 2483.5 MHz) 全体につき10 mW

2446.5 MHz から 2483.5 MHz までの周波数で100 mW (注意 - 2446.6 MHz から 2483.5 MHzの帯域におけるチャンネル10から13までの包括的操作)

戸外で使用できる可能性はほとんどありません。私有地もしくは公的個人の私有地においては、使用は国防省による予備認可手続きの下に、2446.5-2483.5 MHz 帯で 100 mW の最大認可電源が必要です戸外の公有地での使用は禁止されています。

次に示す県内では、2.4 GHz 帯全体が対象となります。


室内での最大認可電源は 100 mWです。

戸外での最大認可電源は 10 mWです。

2400-2483.5 MHz 帯を使用する県では、室内で 100 mW 以下、及び戸外で 10 mW 以下の EIRP で許可されています。

01 Ain Orientales	36 Indre	66 Pyrénées
02 Aisne	37 Indre et Loire	67 Bas Rhin
03 Allier	41 Loir et Cher	68 Haut Rhin
05 Hautes Alpes	42 Loire	70 Haute Saône
08 Ardennes	45 Loiret	71 Saône et Loire
09 Ariège	50 Manche	75 Paris
11 Aude	55 Meuse	82 Tarn et Garonne
12 Aveyron	58 Nièvre	84 Vaucluse
16 Charente	59 Nord	88 Vosges
24 Dordogne	60 Oise	89 Yonne
25 Doubs	61 Orne	90 Territoire de Belfort
26 Drôme	63 Puy du Dôme	94 Val de Marne

この必要条件はやがて変更される可能性があり、ワイヤレス LAN カードを、将来フランスのより広い地域で使用できる可能性があります。最新情報については、ART をチェックしてください (www.art-telecom.fr)。

 注意：Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、100 mW以下かつ10 mW以上を通电します。

[トップに戻る](#)

イタリア

屋内で使用する場合ライセンスが必要です。屋外での使用は禁じられています。

E' necessaria la concessione ministeriale anche per l'uso interno. Verificare con i rivenditori la procedura da seguire. L'uso per installazione in esterni non e' permessa.

[トップに戻る](#)

アメリカ -- Federal Communications Commission (FCC)

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation of the device is subject to the following two conditions:

This device may not cause harmful interference.

This device must accept any interference that may cause undesired operation.

Interference statement


This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy. If the equipment is not installed and used in accordance with the instructions, the equipment may cause harmful interference to radio communications. There is no guarantee, however, that such interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception (which can be determined by turning the equipment off and on), the user is encouraged to try to correct the interference by taking one or more of the following measures:

Reorient or relocate the receiving antenna.

Increase the distance between the equipment and the receiver.

Connect the equipment to an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.

Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

 **NOTE:** This Dell TrueMobile 2300 wireless network device must be installed and used in strict accordance with the manufacturer's instructions as described in the user documentation that comes with the product. Any other installation or use will violate FCC Part 15 regulations.

IMPORTANT NOTE

FCC RF Radiation Exposure Statement

This equipment complies with FCC RF radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment. This equipment should be installed and operated with a minimum distance of 20 centimeters between the radiator and your body. This transmitter must not be co-located or operating in conjunction with any other antenna or transmitter.

Radio approvals

To determine whether you are allowed to use your wireless network device in a specific country, please check to see if the radio type number that is printed on the identification label of your device is listed on the radio approval list posted on the general Dell support site at support.dell.com.

[トップに戻る](#)

限定保証と返品に関するポリシー

Dell-branded hardware products purchased in the U.S. or Canada come with either a 90-day (U.S. only), one-year, two-year, three-year, or four-year limited warranty. To determine which warranty you purchased, see the invoice that accompanied your hardware product(s). The following sections describe the limited warranties and return policy for the U.S., the limited warranties and return policy for Canada, and the manufacturer guarantee for Latin America and the Caribbean.

Limited Warranty for the U.S.

What is covered by this limited warranty?

This limited warranty covers defects in materials and workmanship in your - our end-user customer's - Dell-branded hardware products, including Dell-branded peripheral products.

What is not covered by this limited warranty?

This limited warranty does not cover:

- Software, including the operating system and software added to the Dell-branded hardware products through our factory-integration system, third-party software, or the reloading of software
- Non-Dell-branded products and accessories
- Problems that result from:
 - External causes such as accident, abuse, misuse, or problems with electrical power
 - Servicing not authorized by us
 - Usage that is not in accordance with product instructions
 - Failure to follow the product instructions or failure to perform preventive maintenance
 - Problems caused by using accessories, parts, or components not supplied by us
- Products with missing or altered service tags or serial numbers
- Products for which we have not received payment

THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC LEGAL RIGHTS, AND YOU MAY ALSO HAVE OTHER RIGHTS WHICH VARY FROM STATE TO STATE (OR JURISDICTION TO JURISDICTION). DELL'S RESPONSIBILITY FOR MALFUNCTIONS AND DEFECTS IN HARDWARE IS LIMITED TO REPAIR AND REPLACEMENT AS SET FORTH IN THIS WARRANTY STATEMENT. ALL EXPRESS AND IMPLIED WARRANTIES FOR THE PRODUCT, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO ANY IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, ARE LIMITED IN TIME TO THE TERM OF THE LIMITED WARRANTY PERIOD REFLECTED ON YOUR INVOICE. NO WARRANTIES, WHETHER EXPRESS OR IMPLIED, WILL APPLY AFTER THE LIMITED WARRANTY PERIOD HAS EXPIRED. SOME STATES DO NOT ALLOW LIMITATIONS ON HOW LONG AN IMPLIED WARRANTY LASTS, SO THIS LIMITATION MAY NOT APPLY TO YOU.

WE DO NOT ACCEPT LIABILITY BEYOND THE REMEDIES PROVIDED FOR IN THIS LIMITED WARRANTY OR FOR CONSEQUENTIAL OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY LIABILITY FOR THIRD PARTY CLAIMS AGAINST YOU FOR DAMAGES, FOR PRODUCTS NOT BEING AVAILABLE FOR USE, OR FOR LOST DATA OR LOST SOFTWARE. OUR LIABILITY WILL BE NO MORE THAN THE AMOUNT YOU PAID FOR THE PRODUCT THAT IS THE SUBJECT OF A CLAIM. THIS IS THE MAXIMUM AMOUNT FOR WHICH WE ARE RESPONSIBLE. SOME STATES DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE LIMITATION OR EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.

How long does this limited warranty last?

This limited warranty lasts for the time period indicated on your invoice, except that the limited warranty on Dell-branded batteries lasts only one year and the limited warranty on the lamps for Dell-branded projectors lasts only ninety days. The limited warranty begins on the date of the invoice. The warranty period is not extended if we repair or replace a warranted product or any parts. Dell may change the availability of limited warranties, at its discretion, but any changes will not be retroactive.

What do I do if I need warranty service?

Before the warranty expires, please call us at the relevant number listed in the following table. Please also have your Dell service tag number or order number available.

Individual Home Consumers:	
Technical Support	1-800-624-9896
Customer Service	1-800-624-9897
Individual Home Consumers who purchased through an Employee Purchase Program:	
Technical Support and Customer Service	1-800-822-8965
Home and Small Business Commercial Customers:	
Technical Support and Customer Service	1-800-456-3355
Medium, Large, or Global Commercial Customers, Healthcare Customers, and Value Added Resellers (VARs):	
Technical Support and Customer Service	1-800-822-8965
Government and Education Customers:	
Technical Support and Customer Service	1-800-234-1490
Dell-Branded Memory	1-888-363-5150

What will Dell do?

During the first 90 days of the 90-day limited warranty and the first year of all other limited warranties: For the first 90 days of the 90-day limited warranty and the first year of all other limited warranties, we will repair any Dell-branded hardware products returned to us that prove to be defective in materials or workmanship. If we are not able to repair the product, we will replace it with a comparable product that is new or refurbished.

When you contact us, we will issue a Return Material Authorization Number for you to include with your return. You must return the products to us in their original or equivalent packaging, prepay shipping charges, and insure the shipment or accept the risk if the product is lost or damaged in shipment. We will return the repaired or replacement products to you. We will pay to ship the repaired or replaced products to you if you use an address in the United States (excluding Puerto Rico and U.S. possessions and territories). Otherwise, we will ship the product to you freight collect.

If we determine that the product is not covered under this warranty, we will notify you and inform you of service alternatives that are available to you on a fee basis.

NOTE : Before you ship the product(s) to us, make sure to back up the data on the hard drive(s) and any other storage device(s) in the product(s). Remove any confidential, proprietary, or personal information and removable media such as floppy disks, CDs, or PC Cards. We are not responsible for any of your confidential, proprietary, or personal information; lost or corrupted data; or damaged or lost removable media.

During the remaining years: For the remaining period of the limited warranty, we will replace any defective part with new or refurbished parts, if we agree that it needs to be replaced. When you contact us, we will require a valid credit card number at the time you request a replacement part, but we will not charge you for the replacement part as long as you return the original part to us within thirty days after we ship the replacement part to you. If we do not receive the original part within thirty days, we will charge to your credit card the then-current standard price for that part.

We will pay to ship the part to you if you use an address in the United States (excluding Puerto Rico and U.S. possessions and territories). Otherwise, we will ship the part freight collect. We will also include a prepaid shipping container with each replacement part for your use in returning the replaced part to us.

NOTE : Before you replace parts, make sure to back up the data on the hard drive(s) and any other storage device(s) in the product(s). We are not responsible for lost or corrupted data.

What if I purchased a service contract?

If your on-site service contract is with Dell, on-site service will be provided to you under the terms of the on-site service agreement. Please refer to that contract for details on how to obtain service.

If you purchased through us a service contract with one of our third-party service providers, please refer to that contract for details on how to obtain service.

How will you fix my product?

We use new and refurbished parts made by various manufacturers in performing warranty repairs and in building replacement parts and systems. Refurbished parts and systems are parts or systems that have been returned to Dell, some of which were never used by a customer. All parts and systems are inspected and tested for quality.

Replacement parts and systems are covered for the remaining period of the limited warranty for the product you bought.

What do I do if I am not satisfied?

We pride ourselves on our great customer service. If you are not satisfied with the service you receive under this limited warranty, please let us know. We have found that the best way to resolve issues regarding our limited warranty is to work together. If, after those discussions, you are still not satisfied, we believe arbitration is the most expeditious way to resolve your concerns. Therefore, **ANY CLAIM, DISPUTE, OR CONTROVERSY (WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHERWISE, WHETHER PREEXISTING, PRESENT, OR FUTURE, AND INCLUDING STATUTORY, COMMON LAW, INTENTIONAL TORT, AND EQUITABLE CLAIMS) AGAINST DELL** arising from or relating to this limited warranty, its interpretation, or the breach, termination, or validity thereof, the relationships which result from this limited warranty (including, to the full extent permitted by applicable law, relationships with third parties), Dell's advertising, or any related purchase **SHALL BE RESOLVED EXCLUSIVELY AND FINALLY BY BINDING ARBITRATION ADMINISTERED BY THE NATIONAL ARBITRATION FORUM (NAF)** under its Code of Procedure then in effect (available via the Internet at www.arb-forum.com or via telephone at 1-800-474-2371). The arbitration will be limited solely to the dispute or controversy between you and Dell. Any award of the arbitrator(s) shall be final and binding on each of the parties, and may be entered as a judgment in any court of competent jurisdiction. Information may be obtained and claims may be filed with the NAF at P.O. Box 50191, Minneapolis, MN 55405. This provision applies only to individual home consumers and consumers who purchased through an employee purchase program. It does not apply to small, medium, large, and

global commercial customers or government, education, and healthcare customers.

May I transfer the limited warranty?

Limited warranties on systems may be transferred if the current owner transfers ownership of the system and records the transfer with us. The limited warranty on Dell-branded memory may not be transferred. You may record your transfer by going to Dell's website:

- If you are an Individual Home Consumer, go to www.dell.com/us/en/dhs/topics/sbtopic_015_ccare.htm
 - If you are a Small, Medium, Large, or Global Commercial Customer, go to www.dell.com/us/en/biz/topics/sbtopic_ccare_nav_015_ccare.htm
 - If you are a Government, Education, or Healthcare Customer, or an Individual Consumer who purchased through an employee purchase program, go to www.dell.com/us/en/pub/topics/sbtopic_015_ccare.htm
- If you do not have Internet access, call your customer care representative or call 1-800-624-9897.

"Total Satisfaction" Return Policy (U.S. Only)

We value our relationship with you and want to make sure that you're satisfied with your purchases. That's why we offer a "Total Satisfaction" return policy for most products that you - the end-user customer - purchase directly from Dell. Under this policy, you may return to Dell products that you purchased directly from Dell for a credit or a refund of the purchase price paid, less shipping and handling and applicable restocking fees as follows:

- New Hardware Products and Accessories -- All new hardware, accessories, parts, and unopened software still in its sealed package, excluding the products listed below, may be returned within thirty days from the invoice date. To return applications software or an operating system that has been installed by Dell, you must return the entire computer. A different return policy applies to non-defective products purchased through Dell's Software and Peripherals division by customers of our Small and Medium Business divisions. Those products may be returned within thirty days from the invoice date, but a fifteen percent (15%) restocking fee will be deducted from any refund or credit. The "Total Satisfaction" Return Policy and Software and Peripherals division return policy are not available for Dell | EMC storage products, EMC-branded products, or enterprise software.
- Reconditioned or Refurbished Dell-Branded Hardware Products and Parts -- All reconditioned or refurbished Dell-branded server and storage products may be returned within thirty days from the invoice date. All other reconditioned or refurbished Dell-branded hardware products and parts may be returned within fourteen days of the invoice date.

To return products, e-mail or call Dell customer service to receive a Credit Return Authorization Number within the return policy period applicable to the product you want to return. You must obtain a Credit Return Authorization Number in order to return the product. See "Contacting Dell" or "Getting Help" in your customer documentation (or www.dell.com/us/en/gen/contact.htm) to find the appropriate contact information for obtaining customer assistance.

You must ship the products to Dell within five days of the date that Dell issues the Credit Return Authorization Number. You must also return the products to Dell in their original packaging, in as-new condition along with any media, documentation, and all other items that were included in the original shipment, prepay shipping charges, and insure the shipment or accept the risk of loss or damage during shipment.

Limited Warranty Terms for Canada

What is covered by this limited warranty?

This limited warranty covers defects in materials and workmanship in your -- our end-user customer's -- Dell-branded hardware products, including Dell-branded peripheral products.

What is not covered by this limited warranty?

This limited warranty does not cover:

- Software, including the operating system and software added to the Dell-branded hardware products through our factory-integration system, or the reloading of the software
- Non-Dell branded products and accessories
- Problems that result from:
 - External causes such as accident, abuse, misuse, or problems with electrical power
 - Servicing not authorized by us
 - Usage that is not in accordance with product instructions
 - Failure to follow the product instructions or failure to perform preventive maintenance
 - Problems caused by using accessories, parts, or components not supplied by us
- Products with missing or altered service tags or serial numbers
- Products for which we have not received payment

THIS WARRANTY GIVES YOU SPECIFIC LEGAL RIGHTS, AND YOU MAY ALSO HAVE OTHER RIGHTS WHICH VARY FROM PROVINCE TO PROVINCE. DELL'S RESPONSIBILITY FOR MALFUNCTIONS AND DEFECTS IN PRODUCT IS LIMITED TO REPAIR AND REPLACEMENT AS SET FORTH IN THIS WARRANTY STATEMENT, FOR THE TERM OF THE WARRANTY PERIOD REFLECTED ON YOUR INVOICE. EXCEPT FOR THE EXPRESS WARRANTIES CONTAINED IN THIS WARRANTY STATEMENT, DELL DISCLAIMS ALL OTHER WARRANTIES AND CONDITIONS, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING WITHOUT LIMITATION IMPLIED WARRANTIES AND CONDITIONS OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE, STATUTORY OR OTHERWISE. SOME PROVINCES DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OF CERTAIN IMPLIED WARRANTIES OR CONDITIONS, OR LIMITATIONS ON HOW LONG AN IMPLIED WARRANTY OR CONDITION LASTS. THEREFORE, THE FOREGOING EXCLUSIONS AND LIMITATIONS MAY NOT APPLY TO YOU.

WE DO NOT ACCEPT LIABILITY BEYOND THE REMEDIES PROVIDED FOR IN THIS WARRANTY STATEMENT OR FOR SPECIAL, INDIRECT, CONSEQUENTIAL, OR INCIDENTAL DAMAGES, INCLUDING, WITHOUT LIMITATION, ANY LIABILITY FOR THIRD PARTY CLAIMS AGAINST YOU FOR DAMAGES, FOR PRODUCTS NOT BEING AVAILABLE FOR USE, OR FOR LOST DATA OR LOST SOFTWARE. OUR LIABILITY WILL BE NO MORE THAN THE AMOUNT YOU PAID FOR THE PRODUCT THAT IS THE SUBJECT OF A CLAIM. THIS IS THE MAXIMUM AMOUNT FOR WHICH WE ARE RESPONSIBLE.

SOME PROVINCES DO NOT ALLOW THE EXCLUSION OR LIMITATION OF SPECIAL, INDIRECT, INCIDENTAL, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES, SO THE ABOVE LIMITATION OR EXCLUSION MAY NOT APPLY TO YOU.

How long does this limited warranty last?

This limited warranty lasts for the time period indicated on your invoice, except that the limited warranty on Dell-branded batteries lasts only one year and the limited warranty on the lamps for Dell-branded projectors lasts only ninety days. The limited warranty begins on the date of the invoice. The warranty period is not extended if we repair or replace a warranted product or any parts. Dell may change the terms and availability of limited warranties, at its discretion, but any changes will not be retroactive (that is, the warranty terms in place at the time of purchase will apply to your purchase).

What do I do if I need warranty service?

Before the warranty expires, please call us at the relevant number listed in the following table. Please also have your Dell service tag number or order number available.

Individual Home Consumers; Home Office and Small Business Customers:	
Technical Support and Customer Service	1-800-847-4096
Medium, Large, and Global Commercial Customers; Government, Education, and Healthcare Customers; and Value Added Resellers (VARs):	
Technical Support	1-800-387-5757
Customer Service	1-800-326-9463
Government or Education Customers, or Individual Home Consumers who purchased through an Employee Purchase Program:	
Technical Support	1-800-387-5757
Customer Service	1-800-326-9463 (Extension 8221 for Individual Consumers)
Dell-Branded Memory	1-888-363-5150

What will Dell do?

During the first year of all limited warranties: During the first year of all limited warranties, we will repair any Dell-branded hardware products returned to us that prove to be defective in materials or workmanship. If we are not able to repair the product, we will replace it with a comparable product that is new or refurbished.

When you contact us, we will issue a Return Material Authorization Number for you to include with your return. You must return the products to us in their original or equivalent packaging, prepay shipping charges, and insure the shipment or accept the risk if the product is lost or damaged in shipment. We will return the repaired or replacement products to you. We will pay to ship the repaired or replaced products to you if you use an address in Canada. Otherwise, we will ship the product to you freight collect.

If we determine that the problem is not covered under this warranty, we will notify you and inform you of service alternatives that are available to you on a fee basis.

NOTE : Before you ship the product(s) to us, make sure to back up the data on the hard drive(s) and any other storage device(s) in the product(s). Remove any confidential, proprietary or personal information, removable media, such as floppy disks, CDs, or PC Cards. We are not responsible for any of your confidential, proprietary or personal information; lost or corrupted data; or damaged or lost removable media.

During the remaining years following the first year of all limited warranties : We will replace any defective part with new or refurbished parts, if we agree that it needs to be replaced. When you contact us, we will require a valid credit card number at the time you request a replacement part, but we will not charge you for the replacement part as long as you return the original part to us within thirty days after we ship the replacement part to you. If we do not receive the original part within thirty days, we will charge to your credit card the then-current standard price for that part.

We will pay to ship the part to you if you use an address in Canada. Otherwise, we will ship the part freight collect. We will also include a prepaid shipping container with each replacement part for your use in returning the replaced part to us.

NOTE : Before you replace parts, make sure to back up the data on the hard drive(s) and any other storage device(s) in the product(s). We are not responsible for lost or corrupted data.

What if I purchased an on-site service contract?

If your service contract is with Dell, service will be provided to you under the terms of the service contract. Please refer to that contract for details on how to obtain service. Dell's service contracts can be found online at www.dell.ca or by calling Customer Care at 1-800-847-4096. If you purchased through us a service contract with one of our third-party service providers, please refer to that contract (mailed to you with your invoice) for details on how to obtain service.

How will you fix my product?

We use new and refurbished parts made by various manufacturers in performing warranty repairs and in building replacement parts and systems. Refurbished parts and systems are parts or systems that have been returned to Dell, some of which were never used by a customer. All parts and systems are inspected and tested for quality.

Replacement parts and systems are covered for the remaining period of the limited warranty for the product you bought. Dell owns all parts removed from repaired products.

What do I do if I am not satisfied?

We pride ourselves on our great customer service. If you are not satisfied with the service you receive under this limited

warranty, please let us know. We have found that the best way to resolve issues regarding our limited warranty is to work together. If, after those discussions, you are still not satisfied, we believe arbitration is the most expeditious way to resolve your concerns. Therefore, **ANY CLAIM, DISPUTE, OR CONTROVERSY (WHETHER IN CONTRACT, TORT, OR OTHERWISE, WHETHER PREEXISTING, PRESENT OR FUTURE, AND INCLUDING STATUTORY, COMMON LAW, INTENTIONAL TORT, AND EQUITABLE CLAIMS) AGAINST DELL** arising from or relating to this limited warranty, its interpretation, or the breach, termination or validity thereof, the relationships which result from this limited warranty (including, to the full extent permitted by applicable law, relationships with third parties), Dell's advertising, or any related purchase **SHALL BE RESOLVED EXCLUSIVELY AND FINALLY BY BINDING ARBITRATION ADMINISTERED BY THE NATIONAL ARBITRATION FORUM (NAF)** under its Code of Procedure then in effect (available via the Internet at www.arb-forum.com, or via telephone at 1-800-474-2371). The arbitration will be limited solely to the dispute or controversy between you and Dell. Any award of the arbitrator(s) shall be final and binding on each of the parties, and may be entered as a judgment in any court of competent jurisdiction. Information may be obtained and claims may be filed with the NAF at P.O. Box 50191, Minneapolis, MN 55405.

May I transfer the limited warranty?

Limited warranties on systems may be transferred if the current owner transfers ownership of the system and records the transfer with us. The limited warranty on Dell-branded memory may not be transferred. You may record your transfer by going to our website:

- If you are an Individual Home Consumer, go to www.dell.com/us/en/dhs/topics/sbtopic_016_ccare.htm
 - If you are a Home Office, Small, Medium, Large, or Global Commercial Customer, go to www.dell.com/us/en/biz/topics/sbtopic_ccare_nav_016_ccare.htm
 - If you are a Government, Education, or Healthcare Customer, or an Individual Home Consumer who purchased through an Employee Purchase Program, go to www.dell.com/us/en/pub/topics/sbtopic_016_ccare.htm
- If you do not have Internet access, please call Dell at 1-800-326-9463.

"Total Satisfaction" Return Policy

If you are an end-user customer who bought new products directly from Dell, you may return them to Dell up to 30 days after you receive them for a refund or credit of the product purchase price. If you are an end-user customer who bought reconditioned or refurbished products from Dell, you may return them to Dell within 14 days after the date of invoice for a refund or credit of the product purchase price. In either case, the refund or credit will not include any shipping and handling charges shown on your invoice and will be subject to a fifteen percent (15%) restocking fee, unless otherwise prohibited by law. If you are an organization that bought the products under a written agreement with Dell, the agreement may contain different terms for the return of products than specified by this policy.

To return products, you must call Dell Customer Service at 1-800-387-5759 to receive a Credit Return Authorization Number. To expedite the process of your refund or credit, Dell expects you to return the products to Dell in their original packaging within five days of the date that Dell issues the Credit Return Authorization Number. You must also prepay shipping charges and insure the shipment or accept the risk of loss or damage during shipment. You may return software for a refund or credit only if the sealed package containing the floppy disk(s) or CD(s) is unopened. Returned products must be in as-new condition, and all of the manuals, floppy disk(s), CD(s), power cables, and other items included with a product must be returned with it. For customers who want to return, for refund or credit only, either application or operating system software that has been installed by Dell, the whole system must be returned, along with any media and documentation that may have been included in the original shipment.

The "Total Satisfaction" Return Policy does not apply to Dell | EMC storage products. It also does not apply to products purchased through Dell's Software and Peripherals division. For those products, please instead refer to Dell's Software and Peripheral's then-current return policy (see the following section, "Dell Software and Peripherals (Canada Only)").

Dell Software and Peripherals (Canada Only)

Third-Party Software and Peripherals Products

Similar to other resellers of software and peripherals, Dell does not warrant third-party products. Third-party software and peripheral products are covered by the warranties provided by the original manufacturer or publisher only. Third party manufacturer warranties vary from product to product. Consult your product documentation for specific warranty information. More information may also be available from the manufacturer or publisher.

While Dell offers a wide selection of software and peripheral products, we do not specifically test or guarantee that all of the products we offer work with any or all of the various models of Dell computers, nor do we test or guarantee all of the products we sell on the hundreds of different brands of computers available today. If you have questions about compatibility, we recommend and encourage you to contact the third-party software and peripheral product manufacturer or publisher directly.

Dell-Branded Peripheral Products

Dell does provide a limited warranty for new Dell-branded peripheral products (products for which Dell is listed as the manufacturer) such as monitors, batteries, memory, docking stations, and projectors). To determine which limited warranty applies to the product you purchased, see the Dell invoice and/or the product documentation that accompanied your product. Descriptions of Dell's limited warranties are described in preceding sections.

Return Policy

If you are an end-user customer who bought Dell Software and Peripherals products directly from a Dell company, you may return Dell Software and Peripherals products that are in as-new condition to Dell up to 30 days from the date of invoice for a refund of the product purchase price if already paid. This refund will not include any shipping and handling charges shown on your invoice; you are responsible for those.

To return products, you must call Dell Customer Service at 1-800-387-5759 to receive a Credit Return Authorization Number. You must ship the Dell Software and Peripherals products back to Dell in their original manufacturer's packaging (which must be in as-new condition), prepay shipping charges, and insure the shipment or accept the risk of loss or damage during shipment.

To qualify for refund or replacement, returned products must be in as-new condition, software products must be unopened, and all of the manuals, floppy disk(s), CD(s), power cables, and other items included with a product must be returned with it.

One-Year End-User Manufacturer Guarantee (Latin America and the Caribbean Only)

Guarantee

Dell Computer Corporation ("Dell") warrants to the end user in accordance with the following provisions that its branded hardware products, purchased by the end user from a Dell company or an authorized Dell distributor in Latin America or the Caribbean, will be free from defects in materials, workmanship, and design affecting normal use, for a period of one year from the original purchase date. Products for which proper claims are made will, at Dell's option, be repaired or replaced at Dell's expense. Dell owns all parts removed from repaired products. Dell uses new and reconditioned parts made by various manufacturers in performing repairs and building replacement products.

Exclusions

This Guarantee does not apply to defects resulting from: improper or inadequate installation, use, or maintenance; actions or modifications by unauthorized third parties or the end user; accidental or willful damage; or normal wear and tear.

Making a Claim

Claims must be made in Latin America or the Caribbean by contacting the Dell point of sale within the guarantee period. The end user must always supply proof of purchase, indicating name and address of the seller, date of purchase, model and serial number, name and address of the customer, and details of symptoms and configuration at the time of malfunction, including peripherals and software used. Otherwise, Dell may refuse the guarantee claim. Upon diagnosis of a warranted defect, Dell will make arrangements and pay for ground freight and insurance to and from Dell's repair/replacement center. The end user must ensure that the defective product is available for collection properly packed in original or equally protective packaging together with the details listed above and the return number provided to the end user by Dell.

Limitation and Statutory Rights

Dell makes no other warranty, guarantee or like statement other than as explicitly stated above, and this Guarantee is given in place of all other guarantees whatsoever, to the fullest extent permitted by law. In the absence of applicable legislation, this Guarantee will be the end user's sole and exclusive remedy against Dell or any of its affiliates, and neither Dell nor any of its affiliates shall be liable for loss of profit or contracts, or any other indirect or consequential loss arising from negligence, breach of contract, or howsoever.

This Guarantee does not impair or affect mandatory statutory rights of the end user against and/or any rights resulting from other contracts concluded by the end user with Dell and/or any other seller.

Dell World Trade LP

One Dell Way, Round Rock, TX 78682, USA

Dell Computadores do Brasil Ltda (CNPJ No. 72.381.189/0001-10) /

Dell Commercial do Brasil Ltda (CNPJ No. 03 405 822/0001-40)

Avenida Industrial Belgraf, 400
92990-000 - Eldorado do Sul - RS - Brasil

Dell Computer de Chile Ltda

Coyancura 2283, Piso 3- Of.302,
Providencia, Santiago - Chile

Dell Computer de Colombia Corporation

Carrera 7 #115-33 Oficina 603
Bogota, Colombia

Dell Computer de Mexico SA de CV

Paseo de la Reforma 2620 - 11° Piso
Col. Lomas Altas
11950 México, D.F.

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



FAQ

ハードウェアのインストール

[対象エリアを最適化するために、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータをどのようにインストールしますか？](#)

[Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータで利用できるワイヤレス、有線、インターネットユーザーの最大数はいくつですか？](#)

[Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータはハブ、スイッチ、またはルータに接続できますか？](#)

[Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータから有線ネットワークへの物理的接続とは何ですか？](#)

[ソフトウェアの設定](#)

[インターネットの設定](#)

[ワイヤレスの属性](#)

[サポートされる機能](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他](#)

用語集




Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband

対象エリアを最適化するために、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータをどのようにインストールしますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、障害物や干渉の有無にもよりますが、最高半径約 45 から 60 メートルまでサポートします。小規模のインストールの場合は、実験しながら、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのよい設置場所を見つけます。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータで利用できるワイヤレス、有線、インターネットユーザーの最大数はいくつですか？

内蔵 DHCP サーバでは、最高 252 台のクライアントに IP アドレスを提供できます。各ユニットで 16 台のワイヤレスクライアントが同時にサポートされます。32 台のクライアントが、内蔵 NAT ルータ経由でインターネットに同時アクセスできます。

 **注意:** Dell TrueMobile 2300 のユーザー数が増加すると、ネットワークのパフォーマンスが低下します。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータはハブ、スイッチ、またはルータに接続できますか？

はい、できます。LAN ポートに接続することで、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、様々なネットワーク設定および接続に柔軟に対応します。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータから有線ネットワークへの物理的接続とは何ですか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータには、10/100 イーサネット (LAN ポート) 接続があり、10 メガビット/秒 (Mbps)、100 Mbps、または 10/100 Mbps のハブやスイッチとの通信が可能です。



アクセスポイント:

アクセスポイントは、データの受信および転送を行うワイヤレスネットワーク上のデバイスで、ワイヤレスネットワークアダプタ搭載のコンピュータが、通常イーサネットネットワークに接続できるようにします。

ケーブルモデム:

ケーブルモデムは、ケーブルテレビ用の回線に PC を接続してインターネットへのアクセスを可能にするデバイスです。

クライアント:

クライアントはネットワーク上のコンピュータです。

ドメインネームシステム (またはサービス) (DNS):

DNS は、ドメイン名を [IP アドレス](#) に変換するインターネットサービスです。DNS サーバにホスト コンピュータ、それぞれのドメイン名、IP アドレスのデータベースが保管され、ドメイン名が要請された場合、DNS サーバはこの表を使ってユーザを適切な IP アドレスに導きます。

DNS システムは、それ自体がネットワークを構成しているともいえます。ある DNS サーバで特定のドメイン名を変換できない場合には、正確な IP アドレスが返されるまで次々と他の DNS サーバに問い合わせます。

ダイナミックホストコンフィギュレーションプロトコル (DHCP):

DHCP は、ネットワーク上のすべてのコンピュータに [TCP/IP](#) を自動的に設定するプロセスです。

暗号化:

暗号化は、セキュリティを導入し情報を保護するための一般的な方法で、暗号化では、アルゴリズムとよばれる一連の指示を情報に適用します。アルゴリズムは、プレーンまたはクリアテキストの情報と、暗号化キーと呼ばれる 16 進数の連数で構成されます。

ワイヤレスクライアントまたはアクセスポイントでは情報を無線送信する前に情報を暗号化します。情報を受信するアクセスポイントまたはワイヤレスクライアントは、同じキーを使って情報を解読、または情報を逆スクランブルします。正しい暗号化キーを持つ WLAN デバイスのみが情報を読むことができます。キーが長いほど暗号化の有効性が高くなります。WLAN のワイヤレスクライアントとアクセスポイントは、同じ暗号化方法とキーを使用しなければなりません。

イーサネット:

イーサネットは、最も一般的に使われている LAN 技術で、当初 Xerox により開発され、1980 年に DEC、Intel、Xerox により公式化された工業規格です。イーサネットのネットワークは、指定された[プロトコル](#)を使い 10/100 Mbps でデータを送信します。

イーサネットアドレス (MAC アドレス):

イーサネットアドレスは事前にプログラムされた固有のアドレスで、Media Access Control (MAC) アドレスとも呼ばれます。イーサネットネットワーク上の各コンピュータは、それぞれ固有のイーサネットアドレスを持ちます。この 12 桁の 16 進数によるアドレスは、製造時にコンピュータのネットワークアダプタの回路にコードとして入力されます。ネットワーク上の他のデバイスはこのアドレスを使ってコンピュータを識別します。このアドレスは、[TCP/IP](#) ネットワーク上のコンピュータに割り当てられる [IP アドレス](#)とは異なります。これらのネットワークでは、IP アドレスは MAC アドレスと関連し、ネットワークの通信を可能にします。

ホスト:

イーサネットアドレスは事前にプログラムされた固有のアドレスで、Media Access Control (MAC) アドレスとも呼ばれます。イーサネットネットワーク上の各コンピュータは、それぞれ固有のイーサネットアドレスを持ちます。この 12 桁の 16 進数によるアドレスは、製造時にコンピュータのネットワークアダプタの回路にコードとして入力されます。ネットワーク上の他のデバイスはこのアドレスを使ってコンピュータを識別します。このアドレスは、TCP/IP ネットワーク上のコンピュータに割り当てられる IP アドレスとは異なります。これらのネットワークでは、IP アドレスは MAC アドレスと関連し、ネットワークの通信を可能にします。

インターネットプロトコル (IP):

IP は、インターネットを利用して 1 台のコンピュータから別のコンピュータへデータを送信するプロトコルです。IP プロトコルは、インターネットコンピュータが、ネットワーク上の各コンピュータの [IP アドレス](#)を追跡し、1 つの IP アドレスから別の IP アドレスへ送信するデータパケットの経路を決定する方法を記述します。

インターネットサービスプロバイダ (ISP):

ISP は、個人および企業にインターネットアクセス、およびウェブサイト作成や仮想ホスト、その他の関連サービスを提供する会社です。ISP はそのサービス地域において、インターネット上の POP を持つために必要な装置および電話回線へのアクセスを有し、独自の高速専用回線を持つ大手の ISP は、電話通信プロバイダにそれほど依存することなく、顧客により良いサービスを提供できます。

IP アドレス:

IP アドレスは、インターネットまたはローカル ネットワーク上の各コンピュータに固有の識別番号を割り当てます。IP アドレスは通常「169.254.10.2」のようなピリオドで区切られた 4 組の数字で構成され、各数字の最高値

は 255 です。各イーサネットのインターフェースは IP アドレスを持ちます。Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータには、[LAN](#) イーサネット インターフェイスおよび [WAN](#) イーサネットインターフェイスがあり、したがって、LAN IP アドレスおよび WAN IP アドレスがあります。

リンクランプ:

リンクランプは、ネットワーク接続状況が良好なことを示すネットワークデバイスのランプです。ハブには通常各ポートに対してリンク ランプがありますが、説明のラベルが貼られていなかったり、ランプが他の情報を示すこともあります。これらのランプは、一般にネットワークアクティビティがある時に点滅します。10 Mbps と 100 Mbps で異なる色のランプを使用するハブもあります。詳細情報は、製品付属のマニュアルを参照してください。

ローカルエリアネットワーク (LAN) :

LAN は、1 ヶ所に存在するネットワークです。ネットワーク内のユーザは、ファイル、プリンタ、およびその他のサービスを共有できます。[WAN を参照してください。](#)

ネットワーク アダプタ:

ネットワークアダプタは、コンピュータとネットワーク間の物理的な接続を提供するデバイス拡張カードです。アダプタには多くの種類があり、サウンドカードやモデムカードのようにユーザがコンピュータのスロットに挿入するラップトップ用の PC カードや、組み込み型カード、組み込み型 USB アダプタ、USB ドングル アダプタ、および USB デスクトップ アダプタなどがあります。ネットワークアダプタが最初から内蔵された新型コンピュータもあります。PC カードやデスクトップのスロットに挿入するカードはネットワークインターフェイスカード、または NIC と呼ばれることもあります。

ネットワークアドレス変換 (NAT):

NAT は、プライベートな [LAN](#) における複数の [IP アドレス](#) が、単一の公開アドレスに変換される際に発生します。この公開アドレスはインターネットに送信されます。プライベートな LAN に接続された PC の IP アドレスはインターネットに送信されないため、NAT ではセキュリティが強化されます。また、NAT は [インターネットサービスプロバイダ](#) により、[TCP/IP](#) アドレスが 1 つしか提供されないような低額のインターネットアカウントにおいても、xDSL/ケーブルルータの使用を可能とします。ユーザは、ISP により提供された単独のアドレスでマスクされた多くのプライベートアドレスを持つことができます。NAT は、内部ホストに対する外部ネットワークからの DoS (サービス不能攻撃) を防止します。

ネットワーク名 (SSID):

[アクセスポイント](#) は、ESSID と呼ばれる識別子によりグループ化されます。ESSID は Net ID と呼ばれ、そのネットワーク環境に適した文字や数字の組み合わせで構成されます。ESSID はアクセス ポイント専門語で、ピアツーピアのネットワークではこの用語は使用しません。

サービスセット識別子 (SSID) は、より普遍的に使用される用語で、ワイヤレスネットワークを構成するすべてのコンピュータおよび装置を識別するための 32 文字の名前です。ESSID および ベーシックサービスセット識別子 (BSSID) は SSID の一種です。BSSID はワイヤレス [アダプタ](#) またはアクセスポイントの [MAC アドレス](#) です。

Point to Point Protocol over Ethernet (PPPoE):

PPPoE (Point to Point Protocol over Ethernet) は、通常ユーザ名やパスワードによりユーザや装置を [インターネットサービスプロバイダ](#) に対して認可する方法で、デバイスを工場出荷時のデフォルトパラメータに再設定する選択またはアクションです。

ポート:

ネットワークケーブルに接続するために使用されるネットワークデバイスのコネクタです。ハブおよびスイッチにある複数のポートで、ネットワーク上のコンピュータに接続します。

プロトコル:

プロトコルは、ネットワーク上で情報を送受信するための一連の規則で、ネットワークにおける送信データの形式や、その他の面、たとえばエラーの検出や修正方法などを決定するものです。各コンピュータのプロコルドライバは、情報の送受信に際してこれらの規則に従うソフトウェアで、これらのドライバもまた、よくプロトコルと呼ばれます。

Transmission Control Protocol/Internet Protocol (TCP/IP):

TCP/IP は、インターネット上でコンピュータが通信するために使う [プロトコル](#) です。TCP は、コンピュータがどのようにデータを「パケット」と呼ばれる小さなユニットに分割して他のコンピュータに送信するか、また受信側のコンピュータがどのようにパケットを1つのファイルに再構築するかを決定します。IP はインターネット上でパケットの伝達ルートを決めます。 [インターネットプロトコルを参照してください。](#)

バーチャルローカルエリアネットワーク (VLAN):

VLAN は、物理的にはLANの異なるセグメントに位置していながら、あたかも同じケーブルに接続しているかのように動作するコンピュータのネットワークです。VLAN はハードウェアよりもソフトウェアを通してセットアップされ、非常に柔軟性に優れています。VLAN 上のコンピュータは、物理的に別の場所に移動しても、ハードウェアを再設定することなく同一のVLAN上で継続して使用することができます。

仮想サーバ:

仮想サーバは、インターネットプロトコル (IP) マッピングを行うデバイスです。IP マッピングにより、リモートクライアントがインターネットを通してネットワークにアクセスできるようになります。

ワイドエリアネットワーク (WAN):

WAN は、電話回線、衛星回線、無線周波などのデバイスを使い、[LAN](#) よりも広域のサービスを提供する通信ネットワークです。


ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN):

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) は、ネットワーク上のクライアントおよびデバイス間での通信およびデータ送信を目的とした、有線ではなく高周波無線を使う [ローカルエリアネットワーク \(LAN\)](#) の一種で、有線 LAN の拡張またはその代用として導入された、柔軟性に優れたデータ通信システムです。有線 LAN の拡張またはその代用として導入される、柔軟性に優れたデータ通信システムです。LAN と同様、ネットワーク内のユーザはファイル、プリンタ、およびその他のサービスを共有できます。

xDSL モデム :

DSL は、電話回線を使ってインターネットへのアクセスを提供するサービスで、通常、電話会社またはサービスプロバイダにより提供されます。

xDSL 接続は、標準の銅線ツイストペアの電話線を使った、インターネットへの高速デジタル接続です。DSL には複数の種類があり、「x」はすべての種類を表します。





Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルーター ユーザーズガイド

目次

- ▶ [はじめに](#)
- ▶ [ルーターの管理](#)
- ▶ [一般ケースの設定手順](#)
- ▶ [技術仕様と規制情報](#)
- ▶ [FAQ](#)
- ▶ [用語集](#)
- ▶ [オンラインカスタマーサポート](#)

本書は予告なく変更されることがあります。
© 2003 Dell Computer Corporation。著作権所有。

本書で使用している商標について: Dell は DELL のロゴで、TrueMobile は Dell Computer Corporation の商標です。Microsoft と Windows は Microsoft Corporation の登録商標です。本書で使用している他社の商標および商品名は、その商標と商品名を主張するエンティティまたはその製品を参照している場合があります。Dell は、同社のもの以外の商標や商号のすべての所有権を否認します。

[目次に戻る](#)

ワイヤレスネットワーク概要:

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーガイド

- ▶ [ワイヤレスローカルエリアネットワーク \(WLAN\)](#)
- ▶ [WLANとの識別](#)
- ▶ [暗号化](#)
- ▶ [速度の自動選択と速度のスケール](#)

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)

ローカルエリアネットワーク (LAN) は、一ヶ所に存在するネットワークです。ネットワーク内のユーザーは、ファイル、プリンタ、およびその他のサービスを共有することができます。LANでは、サービスを要請するネットワークコンピュータはクライアントと呼ばれます。ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) は、回線ではなく、高周波数の無線を使ってネットワークのクライアントおよびデバイス間で通信およびデータを送受信するタイプのLANです。有線LANの拡張またはその代用として導入される、柔軟性に優れたデータ通信システムです。

WLANではクライアントによりワイヤレスアダプタがインストールされており、これらもワイヤレスクライアントと呼ばれます。アダプタの使用により、ワイヤレスクライアントはケーブルを使わずにWLANと通信することが可能です。ワイヤレスクライアントは、チャンネルと呼ばれる大気中の通信路を通して情報を送受信します。

WLANの標準はIEEE 802.11bです。Dell 802.11b/g準拠デバイスは、他のメーカーの802.11b/g準拠ワイヤレスデバイスと相互運用します。WiFi認証マークは、そのワイヤレスデバイスが独立組織によりテスト済みであることを示します。

ワイヤレスクライアントは、インフラモードまたはピアツーピアモードで機能します。

[トップに戻る](#)

WLANとの識別

ESSIDとBSSIDは両方とも1つのWLANへの無線クライアントのアクセスを識別し制御する *Service Set Identifiers* (SSID: サービス設定識別子) です。SSIDは、どのWLANを参照するかを示します。ほとんどの場合、SSIDはユーザーインターフェイスに表示されます。

ワイヤレスクライアントにアクセスポイントまたはワイヤレスアダプタをインストールする場合、インストールプログラムによりSSIDを入力するように指示されます。ワイヤレスブロードバンドルータにデフォルトSSIDの「ワイヤレス」を使用することができますが、この情報は、ネットワークにより異なるので、Dellでは提供できません。WLANのワイヤレスクライアントとアクセスポイントは、同じネットワーク名でなければなりません。

暗号化

WLANでは、ワイヤレスクライアントとアクセスポイントが空気中を通して情報を送受信します。セキュリティを導入しないと、アクセス権のない人に傍受される恐れがあります。


セキュリティおよび情報保護の一般的な方法として暗号化があります。暗号化では、アルゴリズムと呼ばれる一連の指示を情報に適用します。アルゴリズムは、プレーンまたはクリアテキストの情報と、[*encryption key* (暗号化キー)] と呼ばれる16進法数の連数で構成されます。

情報を電波に乗せて受信する前に、ワイヤレスクライアントまたはアクセスポイントは情報を暗号化またはスクランブルします。情報を受信するアクセスポイント またはワイヤレスクライアントは、同じキーを使って情報を解読、または情報を逆スクランブルします。正しい暗号化キーを持つWLANデバイス のみが情報を読むことができます。キーが長いほど暗号化の有効性が高くなります。

TrueMobile 2300は、WEP (Wired Equivalent Privacy) と WPA (Wi-Fi Protected Access)の両方をサポートしていません。

WEP

WEPは、ワイヤレスクライアント(例えばワイヤレスPCカードを搭載したノートパソコン)とルータ間で共有される暗号化キーを作成する方法を提供します。ワイヤレスブロードバンドルータにおいて、WEPは 有効または無効に切替可能なオプション機能です。WEP暗号化を有効にする際は、同様のWEPキーを持つアクセスポイントにのみ接続が可能となるため、クライアントにアクセスポイントと同様のWEPキーを設定する必要があります。

 **注意:** キーを頻繁に変更することを推奨します。安全保護の対象となる通信は常に同様のアルゴリズムを使用します。同様のキーおよびメッセージが全く同じ暗号テキストを発するため、アクセス侵入者が暗号化されたデータを破壊することが可能となります。以上の理由からキーを頻繁に変更するようにしてください。

WEP暗号化方法には2種類あります。

- 40(64)ビット暗号化
- 104(128)ビット暗号化

40ビットと64ビットの暗号化は同一の形態で、メーカーによって40ビットと64ビットを使用する場合があります。40ビットと64ビットの暗号化を使うとされるワイヤレスデバイスは、相互に互換性があります。40(64)ビットのキーは、以下の通り10桁の16進数で構成されます。

キー #1: 1011121314

キー #2: 2021222324

キー #3: 3031323334

キー #4: 4041424344

104(128)ビットキーは40(64)ビットキーに比べて数兆倍もの組み合わせが可能です。26桁の16進数で構成され以下のように配列されています。

キー (#1): 101112131415161718191A1B1C

WLAN内のワイヤレスクライアントとアクセスポイントは、同じ暗号化方法とキーを使 わなければなりません。以下に2つの例を挙げて、いかにこの点が重要であるかを説明します。

例 1

アクセスポイントの暗号化方法が40(64)ビットです。ワイヤレスクライアントが104(128)ビット暗号化を使用します。クライアントおよびアクセスポイントは、選択キーが同じでも互いに通信できません。この問題を解決するにはアクセスポイントで104(128)ビット暗号化を使うようにセットアップします。

例 2

アクセスポイントとワイヤレスクライアントが使う暗号化も同じです。アクセスポイントキーでキー1を、ワイヤレスクライアントでキー2を選択します。ワイヤレスクライアントはWLANで通信できません。この問題を解決するにはワイヤレスクライアントでキー1を選択します。

- ➡ **注意: WLAN上のワイヤレスデバイスでは、同一のキーと暗号化方法を使用してください。これを実行しない場合、相互に通信できません。**

ワイヤレスブロードバンドルータは、16進数またはASCII文字を使い、暗号化キーを作成します。16進数は0から9の数字とAからFのアルファベットで構成されます。例えば、10進法の数字の15は16進数システムでは、Fと表示されます。

ASCIIは*American Standard Code for Information Interchange*の略で、アスキーと発音します。ASCIIは英語の文字を数字で表すコードで、各文字には0から127の数字が割り当てられています。例えば、ASCIIコードで大文字のMは数字で77に相当します。大部分のコンピュータはテキストを表すためにASCIIを使い、コンピュータ間のデータ送信を可能とします。

WPA

WPAはワイヤレスネットワークの安全性を高めるためにWEP (Wired Equivalent Privacy)にアップグレードされます。WPAは将来のIEEE 802.11iと両立でき、更に発展したデータの暗号化とユーザー認証を提供します。

安全性を強化するため、WPAはTKIP (Temporal Key Integrity Protocol) 暗号化を利用してWEP (Wired Equivalent Privacy)で使用されている静的キーを保護します。TKIPには、パケットを不正変更から保護するためのMIC (message integrity check)、軽いキーアタックを防ぐためのPPK (Per-Packet Key)ハッシング、IVの再利用やハッカーが暗号を解読するために必要なパケットを収集する恐れを軽減するための拡張IV (initialization vector)、一時的なキーを動的に変更するための再入力機能の4つのアルゴリズムがあります。ワイヤレスクライアントがTKIPをサポートしていない場合、TKIPが最も一般的な暗号化方法です。TrueMobile 2300はAES (Advanced Encryption Security)暗号化もサポートしています。AESは802.11i において802.11のRC4ベースの暗号化に入れ替わります。AESは優れた暗号化アルゴリズムで、ワイヤレスネットワークに最大の安全性を提供します。

ユーザー認証に関して、WPAは認証システムを採用し、via 802.1x. 802.1x を通してユーザー認証の構造とキー区分の管理方法を提供します。802.1x には、認証サーバー (一般的にRADIUSサーバー)、WPAを有効にしたルータまたはAP ("Authenticator"と呼ばれる)、およびWPAを有効にしたクライアント ("Supplicant"と呼ばれる)の3つの主要な要素があります。802.1xは許可されたユーザーのみがアクセスできるようにします。

会社企業ではワイヤスルータおよび認証サーバーの連結にWPAが利用できます。認証サーバーのないSmall Office/ Home Office (SOHO)環境下では、ユーザーは認証サーバーに代わってpre-sharedキー (PSK) モードを使用することができます。TrueMobile 2300はPSKモード起動のWPAを提供します。WPAの相互認証および改良された暗号化技術により、ワイヤレス通信の安全性が強化されます。


[トップに戻る](#)

速度の自動選択と速度のスケール

802.11gでは、ワイヤレスネットワークアダプタおよびアクセスポイントは54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, or 6 Mbpsのいずれかの速度でデータを送信できます。アダプタとアクセスポイント間の距離が変わると、データ送信速度も自動的に変わります。妨害等の他の要素も、データ送信速度に影響します。ワイヤレスブロードバンドルータは速度の自動選択および速度のスケールを使い、通信に最適な速度を判断します。速度のスケールはワイヤレスクライアントとWLAN間の通信を最適な状況に保ちます。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

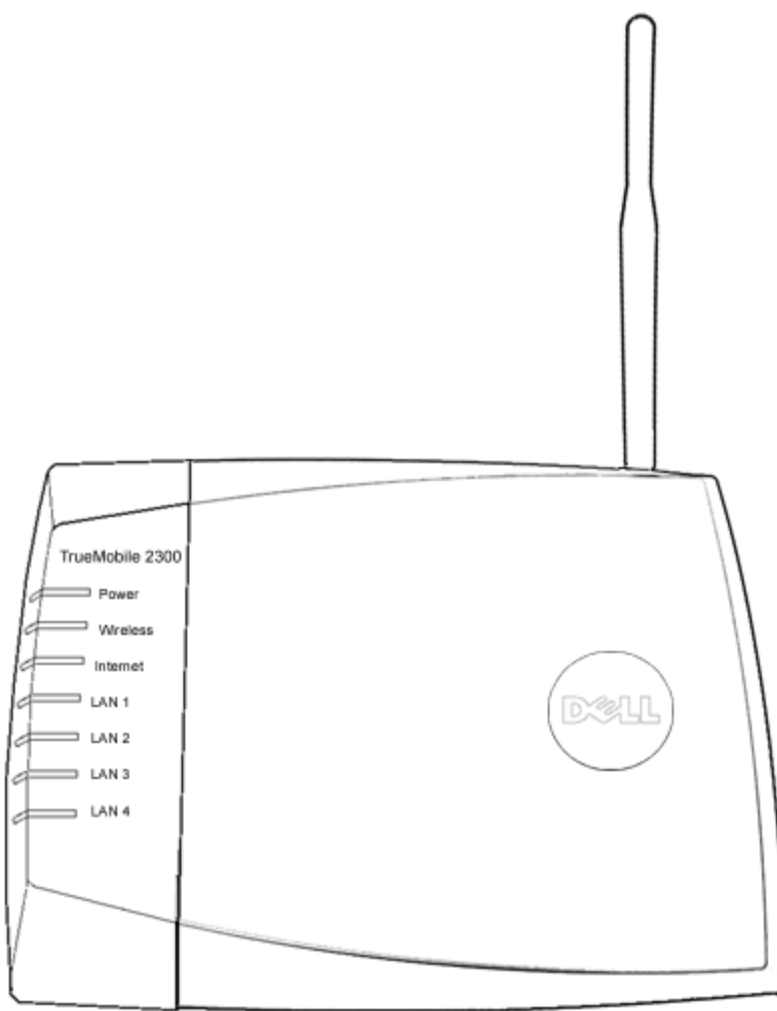
ハードウェア： Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

▶ [フロントパネル](#)

▶ [バックパネル](#)

フロントパネル

Dell TrueMobile™ 2300ワイヤレスブロードバンドルータの正面には7つのLED（リンクランプ）、またはリンクライトがついています。以下の表で、各LEDの機能を説明します。



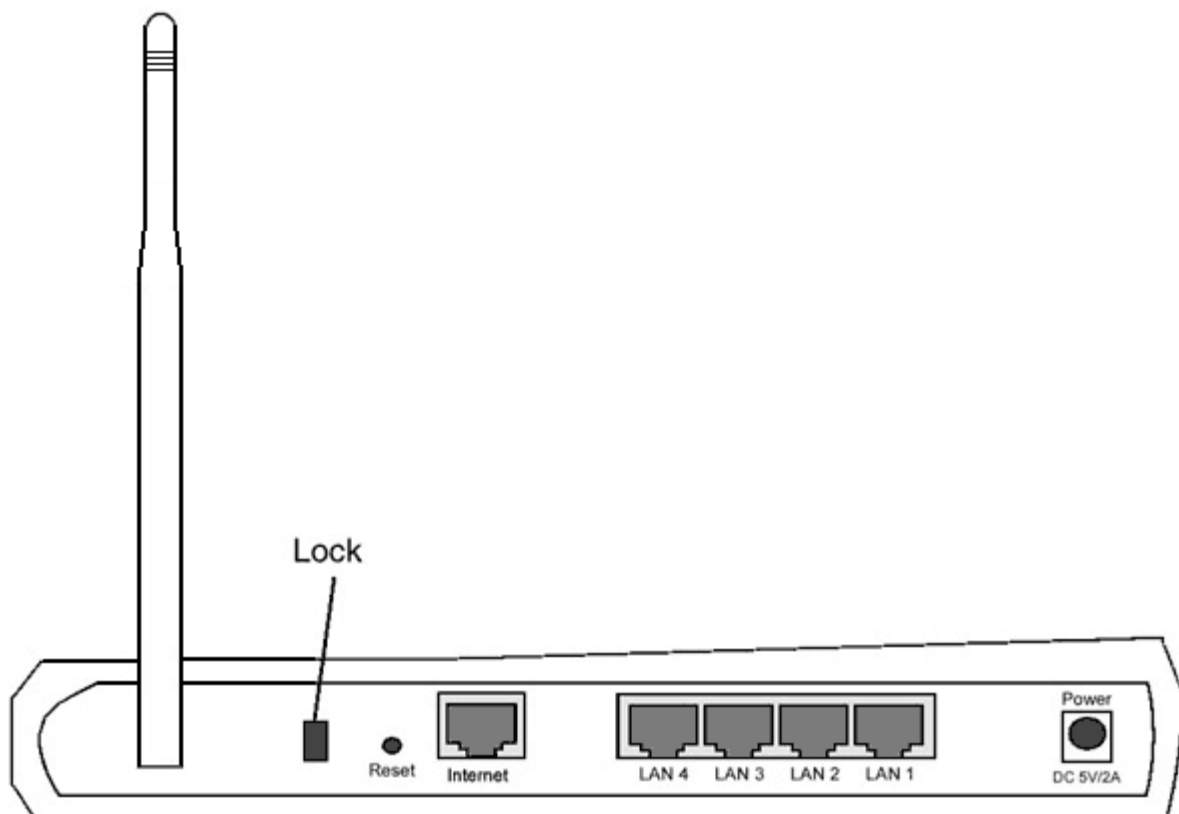
LED	意味	機能
Power	電源	電源が接続されている場合は継続的に点灯します。ユニットをリセットする場合は

		点滅します。
Wireless	ワイヤレス LAN	継続的に点滅 - ワイヤレスリンクが 1 つ以上ユニットに接続していることを示します。
Internet	DSL または ケーブルモデム	継続的な緑の点灯は接続中、点滅はデータアクティビティがあることを示します。 継続的な点灯はデータ衝突があることを示します。
LAN 1 LAN 2 LAN 3 LAN 4	LAN	継続的な緑の点灯は接続中で転送速度が 100Mbps であることを示します。「教騎鎧碩電」 継続的な黄緑の点灯は接続中で転送速度が 10Mbps であることを示します。

テーブル 1. Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ LED

[トップに戻る](#)

バックパネル




コネクタ	説明
Lock	デバイスの盗難防止にロックデバイスを使用します。

Reset	クリップを伸ばしたのもの等を使用してボタンを3秒間押します。電源LEDが一瞬オフになり、再び点灯します。ボタンをリリースし、デバイスを出荷時の設定値にリセットします。
Internet	ネットワークケーブルにRJ-45コネクタを使用します。
LAN 1 LAN 2 LAN 3 LAN 4	Accept an RJ-45を使用して4台までのPCをゲートウェー4-ポートスイッチに接続します。
Power	電源アダプタを電源ポートへ接続し、他の電源ケーブルをコンセントにプラグインします。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

セットアップウィザード： Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

- ▶ [はじめに](#)
- ▶ [セットアップウィザードの起動](#)
- ▶ [セットアップウィザード画面](#)

はじめに

セットアップウィザードは使いやすいプログラムで、TrueMobile 2300 CDに含まれています。このウィザードでは、ワイヤレスブロードバンドルータによるインターネット接続のわかりやすい手順が説明されています。セットアップウィザードは、まず ケーブル/DSLモデムで接続されているアクティブISP接続から接続設定を抽出し、次に、ルータをネットワークに接続する方法が図示されます。その後、抽出したルータの設定を適用し、インストールを有効にします。インストールが完了しなかった場合、セットアップウィザードによりトラブルシューティングの詳しいインストラクションが表示されます。

さらに、セットアップウィザードでは、TrueMobile 2300 CDに含まれているユーザーズガイドとDellサポートWebサイトへのリンクも提供されています。

[トップへ戻る](#)

セットアップウィザードの起動

セットアップウィザードを実行するには、次の手順に従います。

- パッケージに同梱されていた TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのセットアップウィザードとユーザーガイド CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。 [TrueMobile CD browser (TrueMobile CD ブラウザ)] プログラムが自動的に起動しない場合、次の手順で [browser (ブラウザ)] を起動してください。
 - a. コンピュータで [Start (スタート)]、[Run (ファイル名を指定して実行)] をクリックします。
 - b. 「x:/setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)

セットアップウィザードが起動されると、次々とウィンドウが表示されます。下の図はこれらのウィンドウとその機能についての説明です。

[トップに戻る](#)

セットアップウィザードスクリーン

Welcomeメニュー

このメニューには次のようなオプションがあります。

- **Installation**[インストール] -- ルータのインストールを開始し、インターネットに接続するためにコンピュータを設定する。
- **User's Guide**[ユーザーガイド] -- ユーザーズガイド(本書)を表示する。
- **Exit**[終了] -- セットアップウィザードを終了する。



インストール> PCの設定

メインメニューで **[Installation (インストール)]** を選択すると、次の図が表示されます。

- ケーブルまたはDSLモデムでインターネットに接続するためにルータをコンピュータにインストールする場合、**[Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]** をクリックします。
- ネットワークに別のコンピュータを接続するには、**[Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]** オプションを使用してルータをインストールした後、**[Setup Additional Computer (別のコンピュータの設定)]** をクリックします。

コンピュータのセットアップ



一台目のPCのセットアップ

一台目のコンピュータにインターネット接続用にDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータ Wireless Broadband Routerをインストールする

追加コンピュータの設定

追加コンピュータをネットワークに接続する。

終了

戻る

[トップに戻る](#)

インストレーション > PCの設定 > 1台目のコンピュータの設定

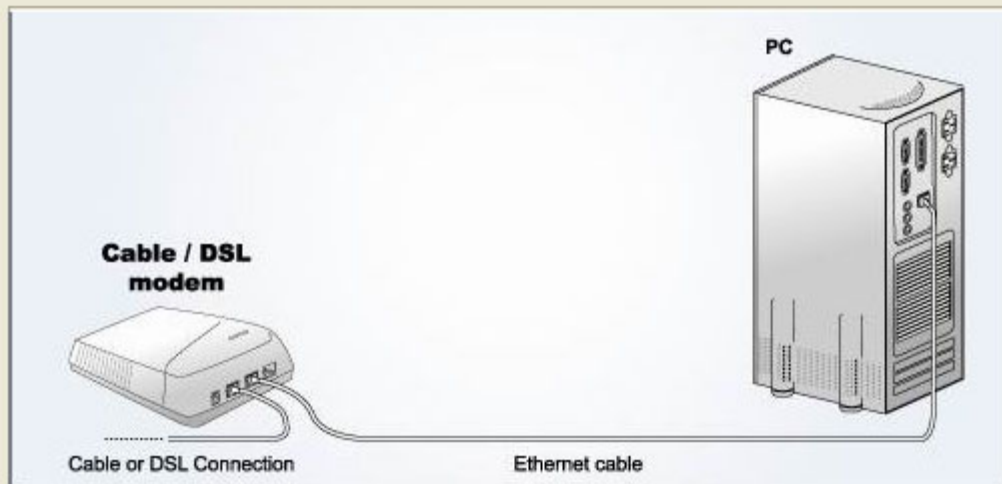
DSL/ケーブルモデムによるインターネット接続の確認

1. DSL/ケーブルモデムによるコンピュータへの 接続を確認します



DSL/ケーブルモデムによるインターネット接続がされていない場合は、接続してください。
インターネット接続が開設されたら、次に をクリックして続けます。

注意: PCからインターネット接続されない場合、または方法が分からない場合は、
予めお近くのケーブルまたはDSLサービスプロバイダーにお問い合わせください。
[ここに戻る](#)



終了

次に

PPPoE 接続を使用している場合、コンピュータを再起動する必要があります。

完成



セットアップウィザードがインターネット接続を確認しました。

次に をクリックして続けます。

終了

次に

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続する

Step 1: ルータにケーブル/DSLモデムを接続する方法が説明されています。

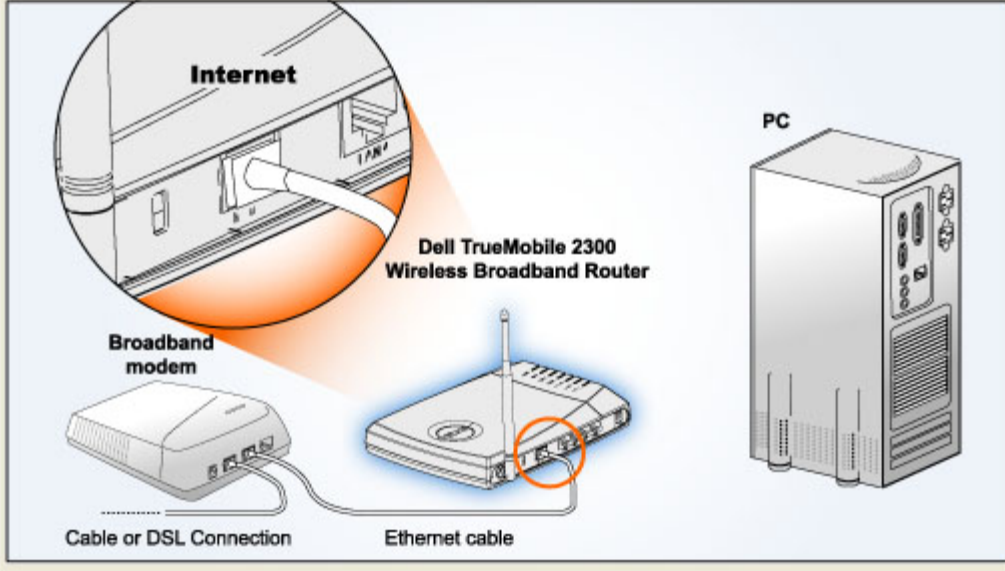
Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ

2. Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続

DELL™

ステップ1

イーサネットケーブルをコンピュータからはずし、Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータのインターネットポートに接続します。**次に** をクリックして続けてください。



The diagram illustrates the connection of a broadband modem to a Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Router. On the left, a broadband modem is connected to a wall outlet labeled "Internet" via a "Cable or DSL Connection". An "Ethernet cable" connects the modem to the router. A "PC" is shown to the right. The router's Ethernet port is highlighted with a red circle.

終了 戻る 次に

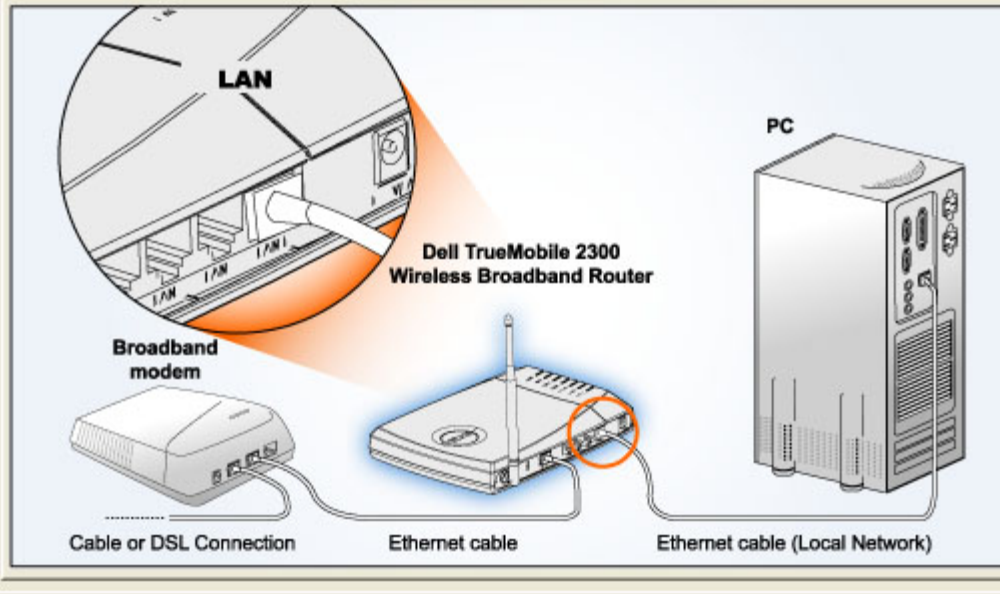
Step 2: ルータをPCに接続する方法が説明されています。

2. Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続



ステップ 2

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ付属のイーサネットケーブルの一方をルータの4箇所のLANポートのうち1箇所に接続します。ケーブルのもう一方をコンピュータのLANポートに接続します。**次に** をクリックして続けます。



終了

戻る

次に

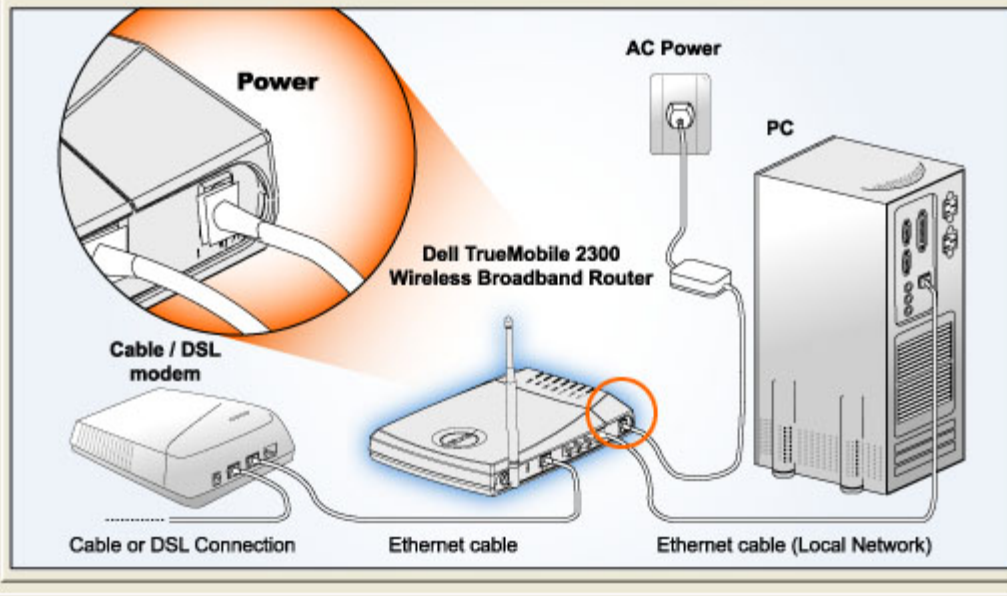
Step 3: ルータへの電源接続方法が説明されています。

2. Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続



ステップ 3

コンセントに電源アダプタを接続し、もう一方をDell TrueMobile2300ワイヤレスブロードバンドルータに接続します。**次に**をクリックして続けます。



終了

戻る

次に

Dell TrueMobil 2300ワイヤレスブロードバンドルータを設定する

[Next (次へ)]をクリックすると、セットアップウィザードにより、インターネット接続設定がルータに適用されます。

PPPoE 接続の場合、セットアップウィザードに PPPoE ユーザー名とパスワードを入力します。

3. Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの設定



セットアップウィザードがインターネットに接続できるようDell TrueMobile 2300
ワイヤレスブロードバンドルータを設定します。次に をクリックして続けてください。

終了



次に

セットアップが完成しました！

これでルータが設定され、1台目のPCでインターネットにアクセスできます。

完了



 Dell TrueMobile 2300のインストールが完成しましたワイヤレスブ
ロードバンドルータ。これでインターネットにアクセスできます。ブラウザ。画
面右下を見てください。次の  アイコンをクリックするとインフォメ
ーションが得られます。ルータの状況。

詳細はここをクリック [次に](#)

次に

ワイヤレス設定とルータの安全強化方法を説明するウィンドウ。

ワイヤレス設定概要



SSIDはワイヤレスネットワークを個別に確認する名称です。ワイヤレスネットワーク内の各デバイスには同様のSSIDを使用します。ワイヤレスネットワークの安全性を強化するため、Dell TrueMobile 2300ウェブコンフィグレーションツールを使用し、以下を実行できます:

- 1) SSIDブロードキャストを無効にする
- 2) WEP/WPA暗号化を設定
- 3) Dell TrueMobile 2300ワイヤレス接続を無効にする

完成 をクリックして、インストールを完成します。

完成

[トップに戻る](#)

インストレーション > PCの設定 > 別のコンピュータの設定

[**Set up your PC (PCの設定)**]で、[**Setup Additional Computer (別のコンピュータの設定)**]を選択すると、次の図が表示されます。コンピュータとユーザ間に[**Wired Connection (有線接続)**]か[**Wireless Connection (ワイヤレス接続)**]のいずれかを選択します。

接続タイプの選択



有線接続

PCを有線接続でDell TrueMobileに2300
ワイヤレスブロードバンドルータに接続します
接続

ワイヤレス接続

PCをワイヤレス接続でDell TrueMobile
2300ワイヤレスブロードバンドルータ
に接続します。

終了

戻る

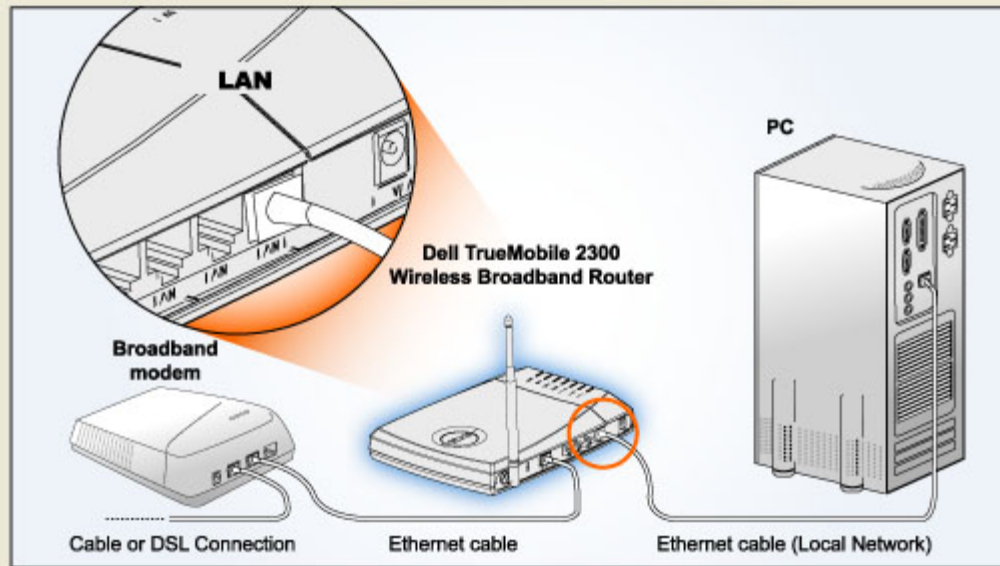
別のPCをネットワークに追加する：有線接続

イーサネットケーブルを使って、コンピュータをネットワークに接続する方法が表示されます。

他のコンピュータをネットワークに追加する



イーサネットケーブルの一方をルータの4箇所のLANポートのうちの1箇所に接続し、もう一方をPCのイーサネットカードに接続します。



クリック **次に** 続ける

終了

戻る

次に

別のPCをネットワークに追加する：有線接続

無線チャネルを使って、コンピュータをネットワークに接続する方法が表示されます。

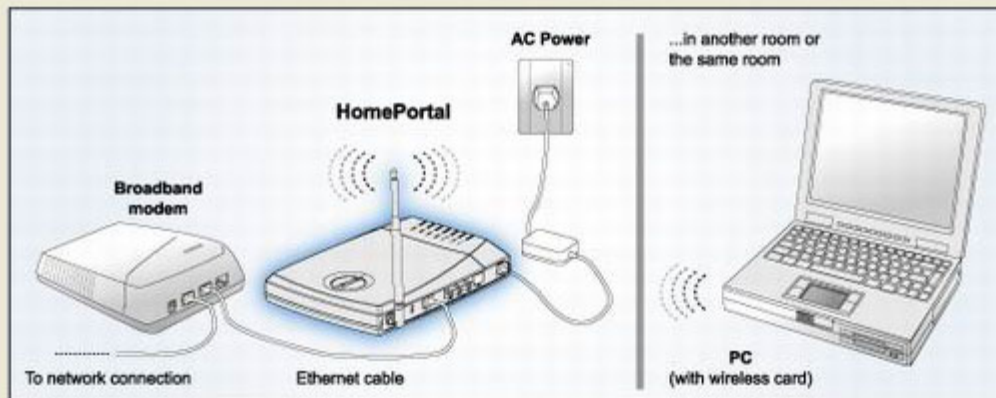
他のコンピュータをネットワークに追加する



ルータへのワイヤレス接続を行うには、ルータと同様のネットワーク名(SSID)とワイヤレスセキュリティ情報をPCのワイヤレスクライアントカードに設定する必要があります。

ワイヤレスクライアントの設定に関する説明は

[設定方法をクリックしてください](#)



クリック **次に** 続ける

終了

戻る


次に

セットアップが完成しました！

PCがネットワークに接続されました。

完了



Dell TrueMobile 2300のインストールが完成しましたワイヤレスブロードバンドルータ。これでインターネットにアクセスできます。ブラウザ。画面右下を見てください。次の“”アイコンをクリックするとインフォメーションが得られます。ルータの状況。

詳細はここをクリック **次に**

次に

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

コントロールユーティリティ：

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

Contact Utility(コントロールユーティリティ)は、Windows のソフトウェアで、使用コンピュータからワイヤレスブロードバンドルータとインターネットへの接続状況をモニタします。

- ▶ [Install the Control Utility \(コントロールユーティリティのインストール\)](#)
- ▶ [Uninstall the Control Utility \(コントロールユーティリティのアンインストール\)](#)
- ▶ [Start the Control Utility \(コントロールユーティリティの使用法\)](#)
- ▶ [Exit the Control Utility \(コントロールユーティリティの終了\)](#)
- ▶ [コントロールユーティリティによるルータの設定](#)

コントロールユーティリティのインストール

セットアップウィザードを使用して設定する際に、コントロールユーティリティを PC にインストールできます。

- TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータセットアップウィザードとユーザーガイド CD を CD ドライブに挿入します。CD が自動的にセットアップウィザードプログラムを起動します。自動的に起動しない場合、次の手順でウィザードを起動してください。
 - [スタート] の [ファイル名を指定して実行] へ進み、
 - 「x:\setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)
- メインメニューで、[Installation (インストレーション)] をクリックし、次に [Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]、または [Setup Additional Computers (別のコンピュータの設定)] のどちらかをクリックします。
- 画面上に表示される説明に従い、設定を完了します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティのアンインストール

- システムトレイにルータアイコンが表示されている場合、アイコンを右クリックし [Exit (終了)] を選択します。


□□□ 次に、[Start (スタート)]、[Control Panel (コントロールパネル)]、[Add/Remove Program (プログラムの追加と除去)] の順でクリックします。




□□□ プログラムリストから [Control Utility (コントロールユーティリティ)] を選択し、指示に従ってプログラムを除去します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの使用方法


この [Control Utility(コントロールユーティリティ)] は、システムが起動すると自動的に実行するデフォルトセットアップです。 [Utility(ユーティリティ)] が自動的に開始しない場合、 [Start (スタート)] の [Programs (プログラム)] で [Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Router (Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ)]、次に [Dell Control Utility (Dell コントロールユーティリティ)] の順にクリックして(ユーティリティ)プログラムを起動します。


一度実行されると、システムトレイにルータアイコンが作成されます。インターネットの接続が良好状態の場合、システムトレイのアイコンは  のようになり、ルータのアイコンをダブルクリックし、ユーティリティーパネルを開くことができます。

 注意: アイコンが黄色  である際は、インターネット接続がされていないことを示します。アイコンが赤色  である際は、ルータへの接続が失敗したことを示します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの終了

コントロールユーティリティープログラム開始時にアイコン  がシステムトレイに表示されます。プログラムを終了する場合は、システムトレイ中のユーティリティーアイコンを右クリックし、メニューを開きメニューから [Exit (終了)] を選択してプログラムを終了します。

 注意: ウィンドウタイトルバー上のクローズボタンをクリックするとコントロールユーティリティが閉じますが、プログラムを終了したことはありません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

ウェブベースの設定ツール

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルーターユーザーズガイド

- ▶ [概要](#)
- ▶ [Basic Settings \(ベーシック設定\)](#)
- ▶ [デバイス情報とステータス](#)
- ▶ [System Tools \(システムツール\)](#)
- ▶ [Advanced Settings \(詳細設定\)](#)
- ▶ [Log Off \(ログオフ\)](#)

概要

ウェブベースの設定ツールを使い、Dell(R) TrueMobile(TM) 2300 ワイヤレスブロードバンドルーターのネットワークを設定します。ウェブツールへアクセスするには、下の指示に従います。

- 注意: ウェブベースのコンフィギュレーションツールには、Microsoft インターネットエクスプローラ (4.0 以降) または Netscape (4.0 以降) を使用します。

- Windows ベースのコンピュータでは、[Start (スタート)]、次に[Run (ファイル名を指定して実行)] の順にクリックし、次のように入力してルーターのコンフィギュレーション画面を表示します。

<http://my.router> (またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1>。)

- はじめてワイヤレスブロードバンドルーターを設定する場合、またはユーザー名やパスワードが変更されていない場合、[User Name (ユーザー名)] と [Password (パスワード)] ボックスの両方に「admin」と入力し、[OK] をクリックします。
- 下のようなコンフィギュレーション画面が表示できたら、[Basic Settings (ベーシック設定)] などのトピックを選択し、上にあるナビゲーションバーの対応するタブをクリックし、ルーターを管理します。

- 注意: Dell の技術担当者は、設定プログラムの Advanced Settings (詳細設定) の設定オプションに対するサポートは提供しません。これらのオプションはユーザ-の便宜を図るためにのみ提供されるものですが、このガイドではすべての詳細設定について説明します。

DELL TrueMobile 2300
ワイヤレスブロードバンドルータ**基本設定**

基本設定でルータのモード、ワイヤレスネットワーク名、チャンネル、ワイヤレスセキュリティ、インターネット接続の設定を変更してください。

詳細設定

詳細設定でルータのIPアドレス、DHCPサーバーオプション、時間帯、ワイヤレスの設定、アクセスコントロールオプション、管理オプションの変更をしてください。

デバイスの状況

デバイスステータスで各ルータへの接続状況を確認してください。

システムツール

システムツールで侵入者検出記録ログの確認、ルーティングテーブルの表示、システム分析の実行、デフォルト設定のロード、ファームウェアのアップグレード、ルータのリセットをしてください。

ヘルプ

ヘルプリンクで画面上にルータ機能に関するヘルプを表示してください。

ログオフ

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータ設定の終了

[トップに戻る](#)

Log Off (ログオフ)

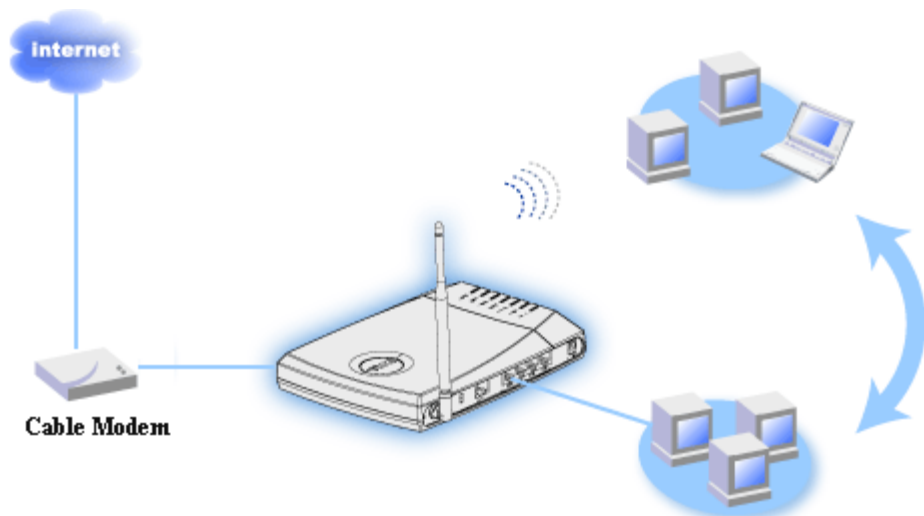
複数の人がワイヤレスブロードバンドルータを同時に設定する場合混乱を避けるために、ウェブベースコンフィギュレーションツールを使用すると、1人のユーザーがいつでもコンフィギュレーション画面にアクセスできません。しかし、現在の管理者がウェブベースコンフィギュレーションツールの使用をやめて他の人がツールに再度アクセスするまで5分のデフォルトタイムアウトがあります。

5分のタイムアウトの影響を最小にするためには、[Log Off (ログオフ)] タブをクリックし、ウェブベースコンフィギュレーションツールのコントロールを放棄します。こうすると他のユーザーがツールに正規にアクセスできません。

[トップに戻る](#)[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ケーブルモデムの接続



注意:Dellでは、TrueMobile 2300 CDのセットアップウィザードを使用してインターネットへ接続することを推奨します。

■ セットアップウィザードでインストールできない場合は、次のインストレーション手順に従ってインストールします。

▶ [ケーブルモデム - 標準設定](#)

ケーブルプロバイダがインターネットブロードバンド接続情報を必要とする場合、このセットアップを実行します。

▶ [ネーム設定によるケーブルモデムの設定](#)


ケーブルプロバイダが、インターネットブロードバンド接続のホストネームとドメインネームの入力を必要とする場合、次のように設定します。


▶ [その他の設定によるケーブルモデムの設定](#)

ケーブルプロバイダが、他の情報の入力を必要とする場合、次のように設定します。

ケーブルモデム - 標準設定

- ケーブルモデムのイーサネットポートとルータのインターネットポートをイーサネットケーブルで接続します。
- ルータにある4個のLANポートの1つと、コンピュータのイーサネットポートをイーサネットケーブルで接続します(ワイヤレスネットワークアダプタで、PCからルータに接続します。)
- ルータの電源を入れます。
- ルータは、工場出荷デフォルト設定で作動します。

 **注意:** 設定を変更したなどでインストレーションが失敗した場合、ルータの側面にあるリセットボタンを2秒以上押しとデフォルト設定を復元できます。ルータはデフォルト設定でリブートし、この時点でセットアップが完了します。

 **ヒント:** ワイヤレスブロードバンドルータのデフォルト設定では、次のような設定になっています。

- ケーブル/xDSLインターフェース：DHCPクライアントはイネーブル
- LANとワイヤレスインターフェース：DHCPはイネーブル
- ユーザー名、パスワード、コンピュータ名、ワークグループ名：イネーブルではない
- この設定は、ケーブルモデムプロバイダが認証を必要としない場合作動する

[Topに戻る](#)

ネーム設定によるケーブルモデム

- ケーブルモデムのイーサネットポートとルータのインターネットポートをイーサネットケーブルで接続します。
- ルータにある4個のLANポートの1つと、コンピュータのイーサネットポートをもう1本のイーサネットケーブルで接続します(ワイヤレス ネットワークアダプタで、PCからルータに接続します。)
- ルータの電源を入れます。
- ウェブブラウザをオープンして <http://my.router>、(またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1> へ進みます。)
- 上部のナビゲーションバーにある [**Basic Settings** (ベーシック設定)] タブをクリックします。
- ナビゲーションバーの左側にある [**CABLE/xDSL ISP Settings**(ケーブル/xDSL ISP 設定)] タブをクリックします。
- Your ISP requires you to input** Host Computer Name or Domain Name (ISP によりホストコンピュータ名またはドメイン名の入力が必要) ボックスを選択します。
- 割り当てられた Host Name (ホスト名) と Computer Name (コンピュータ名) を適切なボックスに入力します。
- [**Next**] ボタンをクリックします。
- [**Save & Restart** (保存して再起動)] タブをクリックして新しい設定を保存します。
- スクリーンの下にステータスバーが表示されます。
- ベースステーションのリセット中は、ユニット正面の **Power** (電源) ランプが点滅します。
- ウェブブラウザワイヤレスブロードバンドルータのメインページに戻る場合、デバイスは新しい設定で再起動しています。

[Topに戻る](#)

その他の設定によるケーブルモデムの設定

ケーブルプロバイダがインターネットブロードバンド接続用に別の設定を必要とする場合、[ネーム設定によるケーブルモデムの設定](#)のケーブル/xDSL ISP設定ページを参照し、正しいフィールドボックスだけを選択し、正しい数値を入力します。

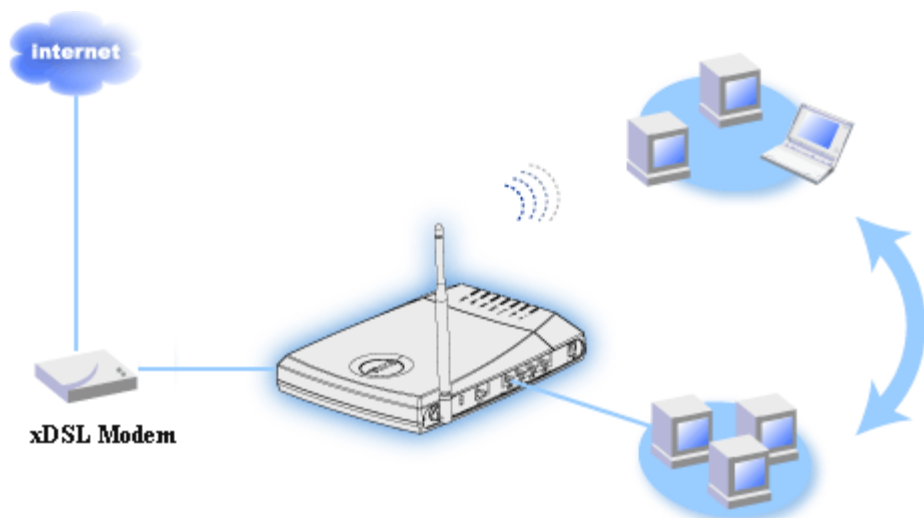
[Topに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

xDSLモデムの接続



- 注意: Dellでは、TrueMobile 2300 CDのセットアップウィザードを使用してインターネットへ接続することを推奨します。セットアップウィザードでインストールできない場合は、次のインストレーション手順に従ってインストールします。

[PPPoEがないxDSL - 標準設定](#)

DSLプロバイダが、インターネットブロードバンド接続情報を必要としない場合、次のように設定します。

[PPPoEがあるxDSL](#)

ISPからインターネットブロードバンド接続用のユーザーネームとパスワードが提供されている場合、次のように設定します。

PPPoEがないxDSL - 標準設定

- ケーブルモデムのイーサネットポートとルータのインターネットポートをイーサネットケーブルで接続します。
- ルータにある4個のLANポートの1つと、コンピュータのイーサネットポートをイーサネットケーブルで接続します(ワイヤレスネットワークアダプタで、PCからルータに接続します。)
- ルータの電源を入れます。
- ルータは、工場出荷デフォルト設定で作動します。

- 注意: 設定を変更したなどでインストレーションが失敗した場合、ルータの側面にあるリセットボタンを2秒以上押しとデフォルト設定を復元できます。ルータはデフォルト設定でリブートし、この時点でセットアップが完了します。

- ヒント: ワイヤレスブロードバンドルータのデフォルト設定では、次のような設定になっています。

- ケーブル/xDSLインターフェース：DHCPクライアントはイネーブル
- LANとワイヤレスインターフェース：DHCPはイネーブル
- ユーザー名、パスワード、コンピュータ名、ワークグループ名：イネーブルではない
- この設定は、ケーブルモデムプロバイダが認証を必要とない場合作動する

[Topに戻る](#)

PPPoEがあるxDSL

- ケーブルモデムのイーサネットポートとルータのインターネットポートをイーサネットケーブルで接続します。
- ルータにある4個のLANポートの1つと、コンピュータのイーサネットポートをイーサネットケーブルで接続します(ワイヤレスネットワークアダプタで、PCからルータに接続します。)
- ルータの電源を入れます。
- ウェブブラウザをオープンして <http://my.router>、(またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1> へ進みます。)
- 上部のナビゲーションバーにある [Basic Settings (ベーシック設定)] タブをクリックします。
- ナビゲーションバーの左側にある [CABLE/xDSL ISP Settings(ケーブル/xDSL ISP 設定)] タブをクリックします。
- [Your ISP requires you to input username/password (PPPoE Settings) (ISP によりユーザー名/パスワードの入力が必要 <PPPoE 設定>)] ボックスを選択します。
- [User Name (ユーザー名)] ボックスに ISP により提供されたユーザ名を入力します。
- パスワードを [Password (パスワード)] および [Retype Password (パスワードの再入力)] ボックスに入力します。
- ISP により MAC アドレスの入力が必要な場合は、[Your ISP requires you to input WAN Ethernet Mac (ISP により WAN イーサネット MAC の入力が必要)] ボックスを選択します。
- 該当するボックスにアドレスを入力します。
- [Next] ボタンをクリックします。
- [Save & Restart (保存して再起動)] ボタンをクリックします。
- スクリーンの下にステータスバーが表示されます。
- ベースステーションのリセット中は、ユニット正面の Power (電源) ランプが点滅します。
- ウェブブラウザワイヤレスブロードバンドのメインページに戻る場合、デバイスは新しい設定で再起動しています。

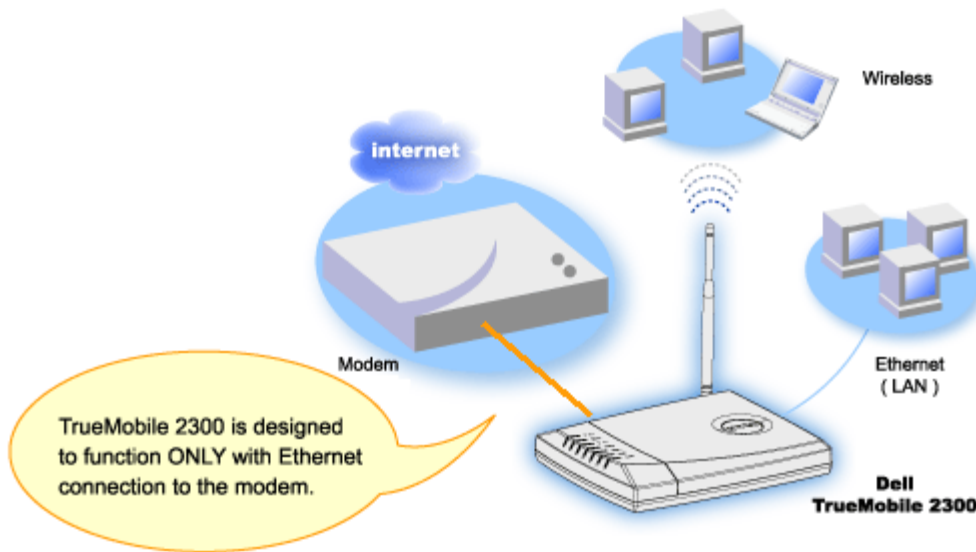
[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

イーサネット以外でケーブル接続する場合のインストールおよび設定



ケーブルモデムは、イーサネット接続のみ、USB 接続のみ、または両方の接続タイプをサポートすることがあります。

USB 接続のみのケーブルモデム

TrueMobile 2300 ルータは、ブロードバンドインターフェイスではイーサネット接続でのみ機能します。ご使用のケーブルモデムが USB 接続のみをサポートする場合、少なくとも 1 つのイーサネット接続が可能なモデルと交換する必要があります。

USB およびイーサネット接続の両方が可能なケーブルモデム

ケーブルモデムが USB とイーサネット接続の両方をサポートするが、コンピュータに USB ケーブルで接続されている場合、次のインストラクションに従ってイーサネット接続に変換します。

- ケーブルモデムの電源を切る。
- コンピュータとケーブルモデムから USB ケーブルを取り外す。
- 標準イーサネットケーブルの端を、コンピュータのイーサネットカードのイーサネットポートに接続する。
- ケーブルの端をケーブルモデムのイーサネットポートに挿入する。
- ケーブルモデムの電源を入れます。モデムの初期化には数分かかることがあります。
- コンピュータの CDROM ドライブに TrueMobile 2300 CD を挿入すると、セットアップウィザードが起動するので、[**Installation** (インストール)] と [**Setup First Computer** (1台目のコンピュータの設定)] を選択し、ルータのインストールを開始します。

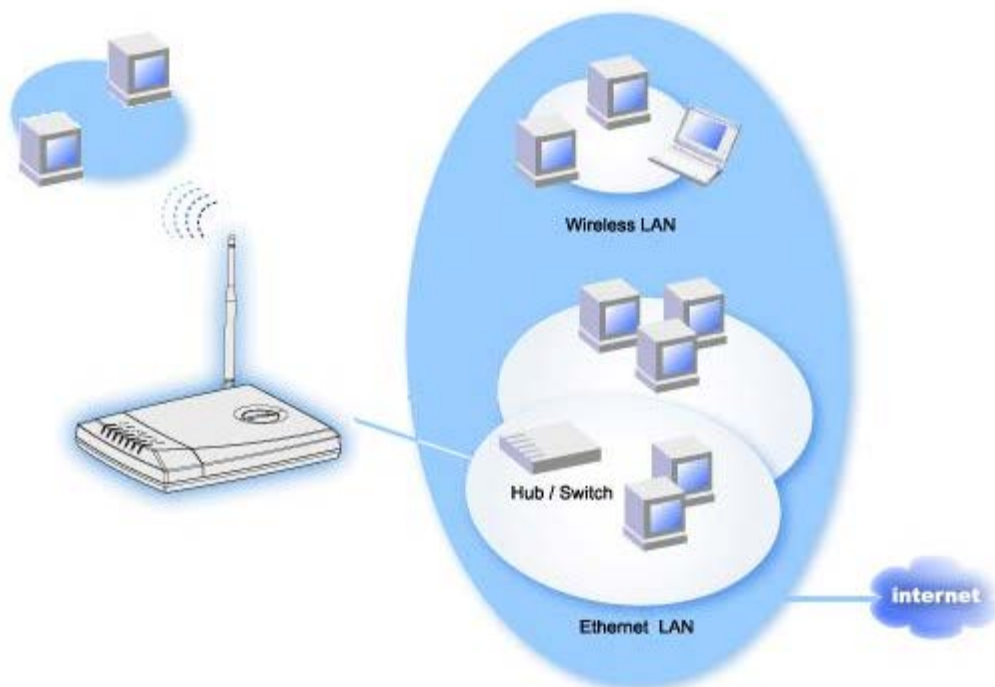
[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

既存ネットワーク用の設定




すでにネットワークがある場合、ネットワークサービスが設定されていることがあります。この場合は、ルータをアクセスポイントとして使用してワイヤレスと有線のコンピュータを追加してネットワークを拡大できます。また、DHCPサーバを実行している場合は、IPアドレスのコンフリクトを避けるためにルータのDHCPを解除する必要があります。

DHCPサーバをディセーブルにし、ルータをアクセスポイントとして設定するには:

- http://my.routerを開く(またはデフォルトアドレスhttp://192.168.2.1)。
- ナビゲーションバーのBasic Settings[基本設定]タブをクリックする。
- Access Point[アクセスポイント]モードを選択する。
- Next[次へ]ボタンをクリックする。
- OKをクリックし、DHCPディセーブルメッセージボックスを無視する。
- ナビゲーションバーのAdvanced Settings [詳細設定]タブをクリックする。
- ナビゲーションバーの左側にあるAdvanced IP Settings [詳細IP設定]タブをクリックする。
- ワイヤレスブロードバンドルータにIPアドレスを割り当てる。

注意: IPアドレスはDHCPサーバがリザーブします。そのためワイヤレスブロードバンドルータは、DHCPクライアントにはなれず、LAN インターフェースの静的IPアドレスが必要となります。

- Submit[提出]ボタンをクリックする。
 - Save & Restart[保存して再起動]ボタンをクリックする。
 - スクリーンの下の部分にステータスバーが表示される。
 - ワイヤレスブロードバンドルータがリセットされ、ルータの前部にあるパワーライトが点滅する。
 - ブラウザがワイヤレスブロードバンドルータページのメインページに戻ると、デバイスは新しい設定で再起動する。
 -  **注意:** ステップ8でルータのIPアドレスを変更した場合は、メインページに戻りません。メインページを表示するには、ルータの新しいIPアドレスを入力します。
 - 既存LANのイーサネットケーブルを取り外し、ワイヤレスブロードバンドルータのいずれかのLANポートに接続する。
-


[目次に戻る](#)




[目次に戻る](#)

TrueMobile 2300 ルータをゲーム用に設定する

このセクションでは、Dell TrueMobile 2300 ルータをゲーム用に設定します。ルータのファイヤーウォール機能によってゲームが正しく機能しない場合があります。本書では各ゲーム用に詳しい情報は提供されていませんが、1つ以上のシステムにおける TCP/IP ポートのオープン方法が説明されています。

 **警告!**ファイヤーウォールの保護なしでインターネットでクライアントシステムを動作すると、認証されていない人がシステムにアクセスする場合があります。この場合、データが損失することもあります。

次の手順に従ってルータをゲーム用に設定します。

- ゲーム用システムとして使用するシステムを選択します。
- 各システムの MAC アドレスを捜します。
 - Windows 2000 および XP：
 - [スタート]、[ファイル名を指定して実行] の順にクリックします。
 - 「ipconfig/all」と入力します。
 - コンピュータの MAC (物理的) アドレスを書きとめ、ゲーム用に設定します。
- ウェブブラウザをオープンして <http://my.router>、(<http://192.168.2.1>へ進みます。)
- [詳細設定] タブをクリックします。
- ナビゲーションバー左側にある [DHCP Server Settings (DHCP サーバ設定)] タブをクリックします。
- IP Address Reservation (IP アドレス予約) で、
 - ゲーム用に使用するシステムの MAC アドレスを [Computer MAC (コンピュータ MAC)] フィールドに入力します。
 - システムの [IP address (IP アドレス)] を入力します (101 から 254 までの数字を選択します)。
- [Submit (送信)] をクリックします。
- ナビゲーションバー左側にある [Port Forwarding Settings (ポート転送設定)] タブをクリックします。
 - コンピュータを 1 台設定する場合、DMZホストボックスを確認します。
 - DMZ IP アドレスフィールドにシステムの IP アドレスを入力します。
 - [Submit (送信)] をクリックします。
 -  **注意:**DMZ サービスは 1 台のコンピュータにしか設定できません。複数のコンピュータでゲームをする場合、[Port Forwarding Settings (ポート転送設定)] の [[Custom Port Forwarding Settings \(カスタムポート転送設定\)](#)] を参照してください。
- この時点でクライアントシステムが再起動します。クライアントシステムは新しく割り当てられた IP を使用し、TCP/IP ポートはルータのファイヤーウォール機能によって妨害されません。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ルータでの暗号化設定

ネットワークでワイヤレスセキュリティの設定がされていない場合、ワイヤレス範囲内のアクセス侵入者がネットワークにアクセスでき、データが盗用される恐れがあるため、DELL TrueMobile 2300では、WEPとWPA暗号化によるワイヤレスセキュリティを提供しています。

WPAは、ワイヤレスネットワークの安全性を高めるため、WEP (Wired Equivalent Privacy) にアップグレードされます。

WPAを利用してワイヤレスネットワークの安全性を強化する場合は、以下が必要です。

- Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータでWPAを有効にする。
- ワイヤレスクライアントをサポートするWPA。Dell TrueMobileワイヤレスクライアントをご使用の際は、<http://support.dell.com>で、ワイヤレスクライアントをサポートするWPAが有効なソフトウェアの更新の可能性を確認してください。
- ウェブブラウザをオープンしてルータの設定ページ <http://my.router> (またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1>)へ進みます。
- [**Basic Settings** (基本設定)] タブをクリックします。
- [**Wireless Security** (ワイヤレスセキュリティ)] タブをクリックします。
- [**Enable Wireless Security** (ワイヤレスセキュリティを有効にする)] のボックスをクリックして選択します。
- ネットワーク認証リストから [**WEP**] または [**WPA**] を選択します。

WEPの設定


- 16進法かASCII文字を [**Key Format** (キーフォーマット)] として選択します。一連の16進数 (0 から9の数字とAからFの文字) またはASCII (キーボード上のすべてのキー)を使用できます。
- [**Key Length** (鍵長)] リストから [**40(64)-ビット**] か [**104(128)-ビット**] の適当な暗号化レベルを選択します。
- [**Key1** (キー1)] [**Key2** (キー2)] [**Key3** (キー3)] [**Key4** (キー4)] フィールドに異なるキーを入力し、ルータに保存します。40(64)-ビット暗号化の場合はWEPキーを5文字(または16進数を10文字)を入力し、104(128)-ビット暗号化の場合は、WEPキーを13-文字(または16進数を16文字)入力します。
- 暗号化のための [**Default Key** (デフォルトキー)] には4つのキーから1つだけを選択してください。
- [**NEXT** (次に)]、 [**Save and Restart** (保存して再起動)] タブの順にクリックして変更を保存します。
- ワイヤレスクライアントにWEPを設定するには、ワイヤレスクライアント付属のマニュアルかワイヤレスクライアントのオンラインヘルプシステムを参照してください。

WPAの設定

- pre-shared キーを入力します。このキーは、ルータの接続するワイヤレスクライアントによって使用される

キーと同一である必要があります。

- 16進数かASCII文字を [**Key Format** (キーフォーマット)] として選択します。一連の16進数 (0 から9の数字と A からFの文字) またはASCII (キーボード上のすべてのキー) を使用できます。
- [**WPA Group Rekey Interval** (WPAグループ再入力インターバル)] が暗号化キーのローテーションや変更回数を指定します。
- WPA暗号化によりTKIP と AES の2種類の暗号化方法より1つを選択します。この際、ワイヤレスクライアントのサポートする方を選択してください。
- [**NEXT** (次に)]、 [**Save and Restart** (保存して再起動)] タブの順にクリックして変更を保存します。
- .ワイヤレスクライアントにWPAを設定するには、ワイヤレスクライアント付属のマニュアルかワイヤレスクライアントのオンラインヘルプシステムを参照してください。

 **注意:** TrueMobile 2300ルータは、ルータにおける2つのワイヤレス暗号化設定方法を提供しています。1つは上述のウェブコンフィギュレーションツールにおけるワイヤレスセキュリティ機能で、もう1つは、ウィンドウ方式のソフトウェアプログラムである[コントロールユーティリティ](#)です。ユーティリティに関する詳細についても、このリンクを参照してください。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

どのようにしてブロードキャスト SSID を解除しますか？

- ウェブブラウザをオープンして <http://my.router>、(またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1> へ進みます。)
- 上部のナビゲーションバーにある [Advanced Settings (詳細設定)] タブをクリックします。
- ナビゲーションバーの左側にある [Advanced Wireless (詳細ワイヤレス)] をクリックします。
- [Enable SSID Broadcast function (SSID ブロードキャスト機能を有効にする)] チェックボックスが選択されていないことを確認します。
- [Submit (提出)] をクリックします。
- [Save & Restart (保存して再起動)] をクリックします。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

アクセスポイントとしての設定

- ウェブブラウザをオープンして <http://my.router>、(またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1> へ進みます。)
 - 上部のナビゲーションバーにある [Basic Settings(ベーシック設定)] タブをクリックします。
 - [Access Point Mode (アクセスポイントモード)] を選択します。
 - [Next (次に)] ボタンをクリックします。
 - 上部のナビゲーションバーにある [Save & Restart (保存して再起動)] タブをクリックします。
 - [Save & Restart (保存して再起動)] をクリックします。
-

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ファイルとプリンタの共有

- ▶ [はじめに](#)
 - ▶ [ファイルとプリンタを共有する場合の設定](#)
 - ▶ [プリンタの共有](#)
 - ▶ [ファイルの共有](#)
 - ▶ [セキュリティに関する注意事項](#)
-

はじめに

TrueMobile 2300 ルータを使用してネットワークが設定できると、ファイルとプリンタを共有できます。たとえば、自宅にコンピュータが 3 台あるが、プリンタが 1 台しかないと仮定しましょう。3 台のコンピュータが同じプリンタを使えるように、ネットワークを設定することができます。

ファイルとプリンタの共有を有効にするには、次のように設定します:

- ネットワークの各コンピュータに、[**File and printer sharing for Microsoft Networks** (Microsoft Networks でファイルとプリンタを共有)] をインストールします ([ファイルとプリンタを共有する場合の設定](#))
 -
 - 共有したいプリンタで共有を有効にします ([プリンタの共有](#))
 -
 - 共有したいファイルの共有を有効にします ([ファイルの共有](#))
 -
-

ファイルとプリンタを共有のインストール

すべてのコンピュータで次の操作を行い、ファイルとプリンタの共有サービスをインストールします。

Windows2000、XPの場合

- デスクトップのネットワーク接続のアイコンを右クリックして、[プロパティ] を選択します。
 - ローカルエリア接続のアイコンを右クリックして[プロパティ] を選択します。
 - [Microsoft Networks でファイルとプリンタの共有] タブが表示されている場合、このセクションを飛ばします。ファイルとプリンタの共有サービスがインストールされました。
 - [Microsoft Networks でファイルとプリンタの共有] タブが表示されていない場合、[インストール] タブをクリックします。
 - [サービス]、次に[追加] タブを選択します。
 - [Microsoft Networks でファイルとプリンタを共有] を選択し、OKをクリックします。
-

プリンタの共有

プリンタを共有するには、共有したいプリンタに接続してあるコンピュータで次の操作を行います。

- [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。
- 共有したいプリンタをクリックし、ハイライトします。
- [ファイル] メニューで [プロパティ] をクリックします。
- [共有] タブ、次に [このファイルを共有する] をクリックします。
- スクリーンに表示されるインストラクションに従い、インストールを完了します。

これで、他のコンピュータでもプリンタが使用できます。

他のコンピュータで次の操作を行います。

- [スタート]、[設定]、[プリンタ] の順にクリックします。
- [プリンタの追加] アイコンをダブルクリックします。
- 最初のスクリーンに表示される [次へ] をクリックします。
- 次のスクリーンで [ネットワークプリンタ]、次に [次へ] をクリックします。
- [プリンタを参照] ボタンをクリックし、共有プリンタを選択します。
- スクリーンに表示されるインストラクションに従い、インストールを完了します。

ファイルの共有

ネットワーク上の他のコンピュータを使用しているユーザーがファイルを表示できるように、コンピュータでファイルを共有できます。

- Microsoft Windows Explorer 内で共有したいファイル、フォルダー、またはドライブ名を右クリックし、[共有]、次に [共有する] を選択します。
- 共有名を入力し、スクリーンに表示されるインストラクションに従って操作を完了します。

セキュリティに関する注意事項

インターネットで他のユーザーがあなたのファイルやプリンタにアクセスしないように、ファイヤーウォールプログラムをインストールします。

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ルータへのWinXPクライアント接続の設定



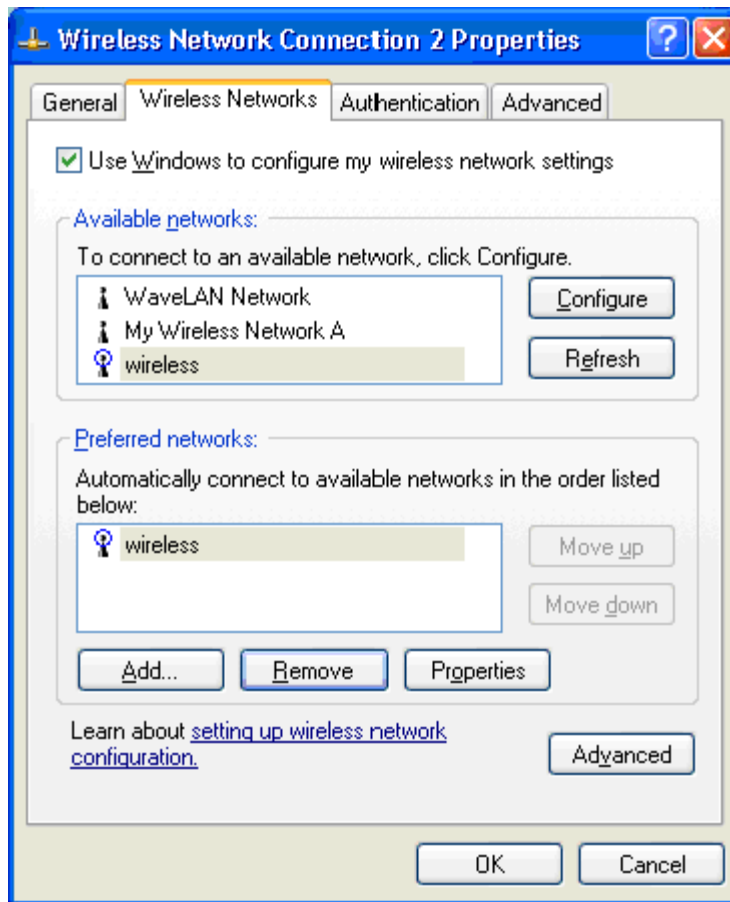
ワイヤレス接続の設定: Microsoft Windows XP ゼロ設定


Microsoft Windows XP ゼロ設定は、他のメーカーのソフトウェアを使用しなくても、アダプタをインストールできるドライバとコンフィグレーションソフトウェアを提供します。

自動ネットワーク接続の設定

1つ以上のワイヤレスネットワークを自動接続に設定するには、以下の手順に従ってください。

- [Start (スタート)] -> [Control Panel (コントロールパネル)] の順にクリックします。
- ネットワーク接続をダブルクリックします。
- [Wireless Network Connection (ワイヤレスネットワーク接続)] のアイコンを右クリックし、[Properties (プロパティ)] をクリックします。
- 下の [Wireless Networks (ワイヤレスネットワーク)] のタブをクリックすると、指定されたネットワーク名が表示されます。




 注意: 詳細に関しては、Microsoft社の提供するワイヤレスネットワーク設定を参照してください。

暗号化を有効にする

ワイヤレスネットワークは周波数を利用してデータを転送するため、ワイヤレスブロードバンドルータの通信範囲内にあるワイヤレスネットワークアダプタ搭載の他のコンピュータがネットワークに接続することが可能です。暗号化を有効にすることによって、ワイヤレスネットワークへの侵入者のアクセスを阻止できます。暗号化を有効にする際には、ネットワークの暗号化キーを指定するかネットワークキーを指定します。ネットワークキーは数字や文字を組み合わせたものです。ネットワークキーはワイヤレスブロードバンドルータで指定したネットワークキーと同一である必要があります。

- デスクトップから [**Start** (スタート)] ボタンをクリックし、[**Control Panel** (コントロールパネル)] を開きます。
- 画面上に [**Category View of Control Panel** (コントロールパネルのカテゴリビュー)] が表示されている場合は、[**Switch to Classic View** (クラシックビューへの切り替え)] のアイコンをクリックします。[**Classic View of Control Panel** (コントロールパネルのクラシックビュー)] が表示されている場合は、次のステップへ進んでください。
- [**Network Connections** (ネットワークの接続)] のアイコンをダブルクリックします。
- LANもしくは高速インターネットエリア内のアダプタを右クリックし、[**Properties** (プロパティ)] をクリックします。
- [**Wireless Networks** (ワイヤレスネットワーク)] のタブがトップになれば、[**Wireless Networks** (ワイヤレスネットワーク)] のタブをクリックします。
- [**Use Windows to configure my wireless network settings** (Windowsを利用してワイヤレスネットワーク設定をする)] のボックスが選択されていることを確認します。選択されていない場合は、選択してください。
- 可能なネットワークリストからワイヤレスネットワークを選択し、[**Configure** (設定)] をクリックします。

- ワイヤレスネットワークキー (WEP) の下の [**Wireless Network Properties** (ワイヤレスネットワークプロパティ)] より [**Data encryption (WEP enabled)** (データの暗号化 (WEPを有効にする))] を選択し、and unselect [**The key is provided for me automatically** (キーを自動的に提供する)] のチェックをはずします。これで [**Network key** (ネットワークキー)] のフィールドに暗号化キーを入力することができます。
- ネットワークキーフィールドにネットワークキーを入力します。キーフォーマットや鍵長を設定する必要はありませんが、これらのフィールドは鍵長やキーで文字を使用するかによって自動的に変化します。
- キーを入力したら、 [**Wireless Network Properties** (ワイヤレスネットワークプロパティ)] のボックスの下のOKをクリックします。 .

 **注意:** ワイヤレスUSBアダプタにおけるネットワーク暗号化キーがワイヤレスブロードバンドルータのキーセットと同一でないと、PCがネットワークに接続できません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)




対象エリアを最適化するために、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータをどのようにインストールしますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、障害物や干渉の有無にもよりますが、最高半径約 45 から 60 メートルまでサポートします。小規模のインストールの場合は、実験しながら、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのよい設置場所を見つけます。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータで利用できるワイヤレス、有線、インターネットユーザーの最大数はいくつですか？

内蔵 DHCP サーバでは、最高 252 台のクライアントに IP アドレスを提供できます。各ユニットで 16 台のワイヤレスクライアントが同時にサポートされます。32 台のクライアントが、内蔵 NAT ルータ経由でインターネットに同時アクセスできます。

 注意: Dell TrueMobile 2300 のユーザー数が増加すると、ネットワークのパフォーマンスが低下します。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータはハブ、スイッチ、またはルータに接続できますか？

はい、できます。LAN ポートに接続することで、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、様々なネットワーク設定および接続に柔軟に対応します。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータから有線ネットワークへの物理的接続とは何ですか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータには、10/100 イーサネット (LAN ポート) 接続があり、10 メガビット/秒 (Mbps)、100 Mbps、または 10/100 Mbps のハブやスイッチとの通信が可能です。

FAQ

[ハードウェアのインストール](#)

ソフトウェアの設定

- ▶ [Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの管理方法を教えてください。](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 の MAC アドレスをどのように検出できますか？](#)

[インターネットの設定](#)

[ワイヤレスの属性](#)

[サポートされる機能](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他](#)

用語集

FAQ

[ハードウェアのインストール](#)

[ソフトウェアの設定](#)

インターネットの設定

- ▶ [インターネットサービスプロバイダ \(ISP\) からインターネットプロトコル \(IP\) の設定をどのように取得しますか?](#)
- ▶ [TCP/IP をどのようにインストールしますか?](#)
- ▶ [Point to Point Protocol over Ethernet \(PPPoE\) をどのように有効にしますか?](#)
- ▶ [動的 IP アドレスまたは静的 IP アドレスのいずれかに Dell TrueMobile 2300 をどのように設定しますか?](#)
- ▶ [ブロードバンド接続がない場合どうするといいですか?](#)

[ワイヤレスの属性](#)

[サポートされる機能](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他](#)

[用語集](#)

FAQ

[ハードウェアのインストール](#)

[ソフトウェアの設定](#)

[インターネットの設定](#)

ワイヤレスの属性

- ▶ [Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの実使用範囲はどれくらいですか？](#)
- ▶ [信号は壁越しに通信できますか？](#)
- ▶ [どのようなデバイスが干渉を起こしますか？](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 を使って他のサブネットにローミングできますか？](#)

[サポートされる機能](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他](#)

[用語集](#)

FAQ

[ハードウェアのインストール](#)

[ソフトウェアの設定](#)

[インターネットの設定](#)

[ワイヤレスの属性](#)

サポートされる機能

- ▶ [Dell TrueMobile 2300 は 2 つ以上のイーサネット LAN をブリッジできますか?](#)
- ▶ [TrueMobile 2300 はリポートをサポートしますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 は統合ワイヤレスアダプタと DELL 以外のベンダーのワイヤレスアダプタを装備したノートパソコンをサポートしますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 はオプションのアンテナに対応していますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 は VPN をサポートしますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 は MAC アドレスのフィルターをサポートしますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 は個別のゲームポート設定をサポートしますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 は RIP をサポートしますか?](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 を MAC 環境で操作できますか?](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他](#)

[用語集](#)

FAQ

[ハードウェアのインストール](#)

[ソフトウェアの設定](#)

[インターネットの設定](#)

[ワイヤレスの属性](#)

[サポートされる機能](#)

トラブルシューティング

- ▶ [LAN に数台のクライアントしかありません。どうするといいいですか？](#)
- ▶ [コンピュータが Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータに接続されていません。どうするといいいですか？](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータを介してインターネットにアクセスできません。どうするといいいですか？](#)
- ▶ [ブラウザがウェブベースのコンフィギュレーションツールを表示しません。どうするといいいですか？](#)
- ▶ [CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入しても TrueMobile CD ブラウザプログラムが自動的に実行されません。どうするといいいですか？](#)
- ▶ [コンピュータをインターネットに接続できません。どうするといいいですか？](#)
- ▶ [DHCP サーバ機能を無効にした後、どうするとワイヤレスブロードバンドルータにアクセスできますか？](#)
- ▶ [ワイヤレスブロードバンドルータを再起動、または再設定するにはどうするといいいですか？](#)

[その他](#)

[用語集](#)

FAQ

[ハードウェアのインストール](#)

[ソフトウェアの設定](#)

[インターネットの設定](#)

[ワイヤレスの属性](#)

[サポートされる機能](#)

[トラブルシューティング](#)

その他

- ▶ [ファームウェアのアップグレード情報はどのように入手できますか？](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 の実際の速度スループットはいくらですか？](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 からの無線周波 \(RF\) 伝送により生じるヘルス問題がありますか？](#)
- ▶ [これには共有またはスイッチ機能がありますか？](#)
- ▶ [Bluetoothと802.11の違いは何ですか？](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 はインターネットゲームをサポートしますか？](#)
- ▶ [ルータでネットワークに接続してゲームをするにはどの設定ですか？](#)
- ▶ [Dell TrueMobile 2300 はハッカー行為を防止しますか？](#)
- ▶ [追加情報はどのようにして入手しますか？](#)

用語集

用語集

- ▶ [アクセスポイント](#)
- ▶ [ケーブルモデム](#)
- ▶ [クライアント](#)
- ▶ [ドメインネームサーバ \(DNS\)](#)
- ▶ [Dynamic Host Configuration Protocol \(DHCP\)](#)
- ▶ [暗号化](#)
- ▶ [イーサネット](#)
- ▶ [イーサネットアドレス \(MAC アドレス\)](#)
- ▶ [ホスト](#)
- ▶ [インターネットプロトコル \(IP\)](#)
- ▶ [インターネットサービスプロバイダ \(ISP\)](#)
- ▶ [IP アドレス](#)
- ▶ [リンクランプ](#)
- ▶ [LAN](#)
- ▶ [ネットワーク アダプタ](#)
- ▶ [ネットワークアドレス変換 \(NAT\)](#)
- ▶ [ネットワーク名 \(SSID\)](#)
- ▶ [Point to Point Protocol over Ethernet \(PPPoE\)](#)
- ▶ [ポート](#)
- ▶ [プロトコル](#)
- ▶ [Transmission Control Protocol/Internet Protocol \(TCP/IP\)](#)
- ▶ [Virtual Local Area Network \(VLAN\)](#)
- ▶ [仮想サーバ](#)
- ▶ [Wide Area Network \(WAN\)](#)
- ▶ [ワイヤレスローカルエリアネットワーク \(WLAN\)](#)
- ▶ [xDSL モデム](#)

[FAQ](#)

[目次に戻る](#)

コントロールユーティリティによるルータの設定: Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーガイド

- ▶ [ネットワークの概要](#)
- ▶ [ワイヤレスの設定](#)
- ▶ [ネットワーク接続コントロール](#)
- ▶ [ゲーム](#)
- ▶ [リモートアクセス](#)
- ▶ [管理](#)
- ▶ [診断](#)
- ▶ [詳細設定](#)

ネットワークの概要

本メニューの情報では、ネットワークの状況の一般的概要について説明します。ルータとの接続状況は、画面の左側に表示されます。リフレッシュボタンをクリックすると状況がアップデートされます。また、下記の基本事項が画面の右側に表示されます。

- 操作モード
- 接続タイプ
- インターネットIPアドレス
- WAN MACアドレス
- LAN IPアドレス
- ネットマスク
- ネットワーク名 (SSID)
- WEP 機能

[トップに戻る](#)

ワイヤレス設定

ワイヤレスネットワークを有効にするには、ネットワーク名とチャンネルが必要です。

- **[Network Name (SSID) (ネットワーク名)]** は、独自のネットワーク名で、SSID (Service Set Identifier)とも呼ばれ、WLANを指定するのに使用されます。モバイルデバイスがルータに接続する際、ユーザーは先ずルータのSSIDを知っておく必要があります。
- **[Channel (チャンネル)]** は周波チャンネルで、これを通して通信転送が実行されます。操作チャンネル数はドメインによって異なります。

ワイヤレスブロードバンドルータはワイヤレスの安全性を高めるため、詳細機能を提供し、データの機密性を保証するほか、データが変更されるのを防ぎます。セキュリティ機能を有効にする場合は、[**Enable Wireless Security** (ワイヤレスセキュリティを有効にする)] ボックスを選択し、[**Network Authentication** (ネットワーク認証)] で **WEP** または **WPA** を選択してください。

WEP

Wired Equivalent Privacy (WEP) 暗号化は、802.11 標準で使用され、アクセス侵入者からのワイヤレス通信を防ぎます。WEPはワイヤレスクライアント (例えばワイヤレスPCカード搭載のノートパソコン) とルータ間で共有される暗号化キーを作成する方法を提供します。このキーは転送される前にデータを暗号化します。WEPは40(64)ビット キーまたは104(128)ビットキーで実行されます。基本的にキーが長いほどデータの安全性が高まります。安全性を強化するためにキーを頻繁に変更するようにしてください。ワイヤレスデバイスにおいてキーを変更する際は、ネットワーク内のすべてのワイヤレスデバイスおよびアクセスポイントのキーも変更してください。

- キーフォーマット: ASCII または16進数のフォーマットのいずれかとなります。16進数は0 から 9の数字とA からFのアルファベットで、ASCIIフォーマットではすべての文字の入力が可能です。
- 鍵長: 40(64)ビットまたは104(128)ビットのいずれかとなります。ワイヤレスネットワークカードによっては、40(64)ビット暗号化のみが有効です。すべてのクライアントが104(128)ビットでしか通信できない場合は、104(128)ビットを選択してください。クライアントが 40(64)ビットでしか通信できない場合は、40(64)ビットを選択してください。
- キー1、キー2、キー3、キー4: ワイヤレスブロードバンドルータに保存するため、フィールドに4つの異なるキーを入力します。40(64)ビット暗号化を選択する場合は、5文字(または16進数を 10文字)のWEPキーを、104(128)ビット暗号化を選択する場合は、13文字 (または 16進数を26文字) のWEPキーを入力してください。
- デフォルトキー: 暗号化ドロップダウンリスト中の4つのデフォルトキーから1つを選択します。

WPA

WPAは、ワイヤレスネットワークの安全性を高めるため、WEP (Wired Equivalent Privacy) をアップグレードしたものです。

WPAを利用してワイヤレスネットワークの安全性を強化する場合は、以下が必要です。

- Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータでWPAを有効にする。
- ワイヤレスクライアントをサポートするWPA。Dell TrueMobileワイヤレスクライアントをご使用の際は、<http://support.dell.com>で、ワイヤレスクライアントをサポートするWPAが有効なソフトウェアの更新の可能性を確認してください。

フィールドに必要なパラメーターを入力します。

• WPA Pre-shared キー

WPA Pre-Shared キー (PSK) はパスワードが入力されるフィールドです。すべてのワイヤレスクライアントはネットワークに接続するためにこのパスワードを入力する必要があります。 キーフォーマットはワイヤレスクライアントの設定に合わせるようにしてください。

• キーフォーマット

キーフォーマットボックスには16進数 (0-9 の数字とA-Fのアルファベットのみ)とASCII(すべての文字、数字、シンボル)の2つのリストがあります。キーに適切なフォーマットを選択します。ワイヤレスクライアントが上記のうち片方のみをサポートしている場合は、サポートされている方法を選択するようにしてください。

- **WPA グループ再入力インターバル**

WPAグループ再入力インターバルは、暗号化キーのローテーションの回数を指定するのに利用されます。数が小さければ小さいほど暗号化キーがローテーションされますが、数字が小さすぎるとワイヤレスネットワークがスローダウンします。

- **WPA 暗号化**

WPA暗号化には二種類あり、**TKIP** (Temporal Key Integrity Protocol) は最も一般的な暗号化方法で、**AES** (Advanced Encryption Standard) は、ワイヤレスクライアントがTKIPをサポートしていない場合に使用できません。

[**Factory Default Value** (出荷時のデフォルト値)] をクリックしてワイヤレス設定を出荷時のデフォルト値にリセットします。

[**Apply** (決定)] をクリックして設定を保存します。

[**Restore** (再起動)] をクリックして設定を保存します。

[トップに戻る](#)

ネットワーク接続コントロール

ボタン	アクション
Add (追加)	[Add (追加)] をクリックすると新エントリがリストに追加されます。
Edit (作成)	[record needs to be modified in the list (リスト中の記録を修正する)] を選択し、 [Edit (作成)] をクリックするとダイアログボックスが表示されます。
Delete (削除)	リストから記録を削除する場合は、削除する記録を選択し、 [Delete (削除)] ボタンをクリックします。
Delete All (すべてを削除)	[Delete All (すべてを削除)] をクリックすると、リストからすべての記録を削除します。
Restore (再起動)	[Restore (再起動)] をクリックすると設定が保存されます。

親コントロール

インターネット中の不適當な情報について懸念が高まる中、ルータは不適當なウェブサイト (例えば性や暴力に関するサイト)のアクセスを防いだりブロックする機能を提供します。親コントロールによってクライアントがアクセスできるウェブサイトを指定することができます。クライアントがいつインターネットにアクセスできるかを指定することもできます。

新エントリの追加手順


- [**Enable Parental Control** (親コントロールを有効にする)] を選択します。
- [**Add** (追加)] をクリックすると [**Parental Control** (親コントロール)] ウィンドウが表示されます。
- コントロールするコンピュータのIPアドレス (例えばクライアント) を [**Host IP** (ホストIP)] のフィールドに入力します。
- [**Internet Access** (インターネット接続)] リストから [**Allowed** (許可)] または [**Denied** (拒否)] を選択します。

- 時間の [**Interval** (インターバル)] を決定します。これでインターネット接続コントロールの時間を決定または指定する場合は、 [**Permanent** (パーマネント)] をクリックします。
- ウェブ接続について [**Allowed** (許可)] または [**Denied** (拒否)] を選択します。
- [**Website URL** (ウェブサイトURL)] フィールドにURLを入力してどのウェブサイトを許可または拒否するかを指定します。
- [**OK**] ボタンをクリックして決定するか、 [**Cancel** (キャンセル)] をクリックして変更を中止して終了します。
- 画面下の [**Apply Parental Control Settings** (親コントロール設定)] をクリックして新しい設定を有効にします。

MAC

この機能は、ワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN) 内で特定のMAC (Media Access Control) アドレスがネットワークにアクセスできないように指定します。

新エントリーの追加手順

- [**Enable MAC Access Control** (MACアクセスコントロールを有効にする)] を選択し、 [**MAC Access Control Settings** (MACアクセスコントロール設定)] ウィンドウが表示します。
- [**Add** (追加)] をクリックすると [**MAC Access Control: Add Entry** (MACアクセスコントロール: 追加入力)] ウィンドウが表示されます。
- [**Host MAC** (ホストMAC)] ボックスにアクセスを許可または拒否するMACアドレス (例えば00:11:22:33:44:55) の16進数を入力します。
- [**Operating Type** (操作タイプ)] リストから [**Grant** (許可)] または [**Deny** (拒否)] を選択します。 [**Grant** (許可)] を選択すると、このMACアドレスを持つデバイスがネットワークにアクセスすることができ、他のMACアドレスはアクセス不可能となります。
 -  **注意:** すべての記録に関する操作タイプを [**Grant** (許可)] または [**Deny** (拒否)] する必要があります。
- [**OK**] をクリックして決定するか、 [**Cancel** (キャンセル)] をクリックして変更を中止して終了します。
- 選択された記録をクリックし、再び [**Host Name** (ホスト名)] をクリックし、この記録に適切な名称を入力します。
- 画面下の [**Apply MAC Control Settings** (MACコントロール設定を決定)] をクリックして新しい設定を有効にします。

[トップに戻る](#)

ゲーム

ルータのファイヤーウォール機能によってはゲームが正しく機能しない場合があります。 [**Gaming**] メニューの設定リストがこの問題を解決します。ここでは、ゲームのデバイス設定について説明します。

TrueMobile2300ルータには、LAN側のコンピュータにインターネット接続するようリクエストされていないデータを拒否するNetwork Address Translation (NAT)ファイヤーウォールが一体化されています。基本的にデータ要求されないと、データはファイヤーウォールから通過できません。e-mailやウェブブラウザのようなアプリケーションでは、コンピュータがe-mailやウェブページのデータを受信するようリクエストするため、このNATの影響は受けません。しかし、アプリケーション(例えばインターネットによるメッセージ通信やゲームアプリケーション) によっては正しく機能しない場合があります。これは、データリクエストがコンピュータでなく、インターネット外のデバイス/コンピュータに

由来しており、NATファイアウォールがこれらのアプリケーションに必要なデータをブロックするためです。

ポート転送設定

[**Gaming** (ゲームメニュー)] では、データ要求されていないデータの特定ポートやプロトコルがコンピュータにアクセスできないようにするカスタムルールを設定できます。ゲームとプロトコルタイプ (TCPかUDP、または両方) はどのゲームサーバーを使用しているかに よります。下記のポート設定をするようにしてください。

インフォメーション: ポートナンバー

ポートナンバーはプロトコルやサービスを指定します。0から1023が最も一般的に使用されるポートナンバーで、特定のサーバーの標準ポートとされています。例えば、ポート80は一般的にHTTPトラフィックを示します。1024から49151は多目的に使用されますが、49152から65535はDynamic/Privateポート (使用はまれ) です。コマンドラインに [**netstat -a**] と入力して現在のIP接続状況を確認することができます ([**Start** (スタート)]、 [**Run** (ファイル名を指定して実行)] の順にクリックし、 [**cmd**] と入力しエンターキーを押します。コマンドプロンプトが表示されたら、 [**netstat -a**] と入力します) 。すべての接続とポートのリストを表示します。


- 画面下の [**Add** (追加)] をクリックすると [**Gaming: New Record** (ゲーム:新しい記録)] のウィンドウが表示されます。(以下を参照)

ゲームのプロフィールをリスト中に作成する場合は、変更するプロフィールを選択し、 [**edit** (作成)] をクリックすると、 [**Gaming: Edit Record** (ゲーム:記録作成)] ウィンドウが表示されます。

ゲームプロフィールをリストから削除する場合は、削除するプロフィールを選択し、 [**Delete** (削除)] をクリックしてリストから削除します。

すべてのゲームプロフィールをリストから削除する場合は、リストから [**Delete All** (すべてを削除)] をクリックしてすべてのエントリーを削除します。

- [**Game Description** (ゲームの詳細)] フィールドに適切な名称または詳細を入力します。
- ゲームのデバイスの IP アドレス(例えばdesktop PC) を [**Computer IP for gaming** (ゲームのコンピュータIP)] フィールドに入力します。
- [**Protocol Type** (プロトコルタイプ)] リストから転送プロトコルを選択します。ここで表示されるオプションはTCP (Transmission Control Protocol)かUDP (User Datagram Protocol)、または両方です。
- 受信ポートナンバーを [**Incoming Port No** (受信ポートナンバー)] フィールドに入力し、 [**Outgoing Port No** (送信ポートナンバー)] (別名 [**Destination Port** (指定ポート)]) フィールドに入力します。以上の情報は通常ゲームサービスプロバイダから提供されます。

 **注意:** ポートの最小ナンバーは0で、最大ポートナンバーは65535です。

例えば、オンラインゲーム「Diablo II」 (Battle.net) をIPアドレス192.168.2.3のPCでプレイする場合は、ホストIPフィールドに [**192.168.2.3**] と入力します。プロトコルタイプリストから [**Both** (両方)] を選択し、受信ポートナンバーフィールドと送信ポートナンバーフィールドに **4000** または **6112-6119** と入力します。

- [**State** (状況)] リストからゲームを [**Enable** (有効にする)] または [**Disable** (無効にする)] を選択します。
- [**OK**] をクリックして決定するか、 [**Cancel**] をクリックして変更を中止して終了します。

アプリケーションによっては、ファイアーウォールの後方で実行すると問題が生じる場合があります。この場合は、アプリケーションを実行するコンピュータを物理的にルータのDMZ（非武装地帯）機能を通してファイアーウォールの外に置きます。

ルータのDMZにコンピュータを置くとルータがすべてのルータポートを通してすべてのデータがコンピュータに送信されます。こうしてコンピュータのNATファイアーウォールが無効にされると、コンピュータの安全性が低下し、アクセス侵入を受けやすくなります。このため重要データの保存されていないコンピュータでのみ実行するようにしてください。

- [**Enable DMZ Host**（DMZホストを有効にする）] を選択します。
- ゲームアプリケーションを実行するコンピュータのIPアドレスを [**DMZ IP Address**（DMZ IP アドレス）] フィールドに入力します。

[トップに戻る](#)

リモートアクセス

リモートユーザーのデバイス設定を許可する

ネットワークを通してリモートサイトからデバイスを設定できるようにします。

- [**Allow remote user to configure the device**（リモートユーザーのデバイス設定を許可する）] をクリックします。
- リモート管理ホストのIPアドレスをフィールドに入力します。
- ルータで使用されるHTTPポートナンバーを [**HTTP port number**（HTTPポートナンバー）] フィールドに入力します。
- [**Apply**（決定）] をクリックして設定を保存するか、 [**Restore**（再起動）] を押して設定を保存してください。

リモートユーザーのデバイス「ping」入力を許可する

WAN設定の「ping」入力ができるようにします。デフォルト設定はできません。ルータは「ping」リクエストに応答しないため、WANポートはポートスキャナに検出されません。このようにしてネットワークの安全性を強化します。

- WANポートをインターネットに反映する場合は、 [**Allow remote user to ping the device**（リモートユーザーのデバイスピン入力を許可する）] を選択します。
- [**Apply**（決定）] をクリックして設定を保存するか、 [**Restore**（再起動）] を押して設定を保存してください。

[トップに戻る](#)

管理

パスワードの変更

アクセス権のない人がアクセスして設定を変更するのを防ぐために、デバイスはパスワードで保護されています。出荷時のデフォルトパスワードを変更することを強く推奨します。

- [**Change Password**（パスワードの変更）] をクリックすると、 [**Password Settings**（パスワードの設定）] のウィンドウが表示されます。
- [**Original Password**（元のパスワード）] のフィールドに元のパスワードを入力します。
- [**New Password**（新しいパスワード）] のフィールドに新しいパスワードを入力し、 [

Confirm Password (パスワードの確認)] に再入力して確認します。

- [**password hint message** (パスワードのヒントメッセージ)] のフィールドにパスワードのヒントメッセージを入力します。
- 設定が完成したら [**Submit** (送信)] をクリックします。フィールド内の入力情報をクリアにする場合は [**Cancel** (キャンセル)] をクリックします。

システム復元

コンフィギュレーション設定は、「TrueMobile Profile (.pro)」ファイルに保存されています。必要時にこれらのバックアップファイルを復元できます。システム復元の4つのボタンは以下の通りです。

- 現在のシステム設定をファイルに保存する - 現在の設定を適切なディレクトリに「pro」ファイルと保存します。
- システム設定をマニュアルでロードする - 設定を保存するためにバックアップファイルをロードします。
- コンフィギュレーションファイルリストから選択 - 設定ファイルを保存する際、ルータが自動的に記録をファイルに追加します。このリストから設定ファイルを選択することができます。ファイルを保存したディレクトリを検出する必要はありません。
- 出荷時のデフォルト設定値にリセットする - ルータをデフォルト設定値にリセットします。

新しいファームウェアのアップグレード

ファームウェアをアップグレードするには [**Upgrade to New Firmware** (新しいファームウェアのアップグレード)] をクリックします。Dellのウェブサイトに接続され、最新のファームウェアにアップグレードできます。尚、ルータが正常に起動していればファームウェアをアップグレードする必要はありません。

[トップに戻る](#)

診断

[**Diagnostics** (診断)] メニューでネットワーク接続の現在の状況を観察できます。画面下の [**Start Diagnostics** (診断開始)] をクリックするとネットワーク診断が実行されます。

診断が終了すると画面上にインターネット接続状況の結果が表示されます。ネットワーク内の [**LAN Hosts** (LANホスト)] と [**Wireless Hosts** (ワイヤレスホスト)] の情報(例えばホスト名、IPアドレス、MACアドレス、接続状況)が表示されます。


[トップに戻る](#)

詳細設定

ルータの詳細設定をするには [**Login** (ログイン)] をクリックし、ウェブベースの設定ツールにログインします。ウェブベースの設定ツールは、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータで可能なすべてのネットワーク設定をセットアップすることができます。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)




[目次に戻る](#)

基本設定 Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ ユーザズガイド

[Basic Settings (基本設定)] には以下のオプションが含まれます。

- ▶ [Router Mode \(ルータモード\)](#)
- ▶ [Wireless Settings \(ワイヤレスの設定\)](#)
- ▶ [Wireless Security \(ワイヤレスセキュリティ\)](#)
- ▶ [Internet Connection Settings \(インターネット接続設定\)](#)
- ▶ [Save & Apply \(保存して決定\)](#)

 注意: 設定に加えた変更を実行するには、保存してルータを再起動する必要があります。再起動しない場合、ルータは以前の設定を使用します。ウェブ設定ツールの [Basic Settings (基本設定)] で [BACK/NEXT (戻る/次に)] リンクを使用して各スクリーンを移動する場合、最終的には [Save & Restart (保存して再起動)] ページが表示されます。[Save & Restart (保存して再起動)] をクリックし変更を保存すると、ルータは自動的に再起動し新しい設定が有効になります。

ルータモード

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータ のデバイスには、[Gateway (ゲートウェイ)] と [Access Point (アクセスポイント)] モードの二種類のモードがあります。

[Gateway (ゲートウェイ)] モードによって、ルータがブロードバンドルータと接続するワイヤレスネットワークを設けます。有線およびワイヤレスネットワークデバイスはゲートウェイモードの [Internet (インターネット)] ポートを通して同一のインターネット接続を共有します。しかし、ISPによってはルータを使用してインターネットにアクセスする前にPPPoEのような詳細設定が必要となる場合があります。

[Access Point (アクセスポイント)] モードによって、ルータが既存のネットワーク内のワイヤレスデバイスとイーサネットデバイス間でブリッジします。すべての有線およびワイヤレスデバイスは同一のクラスCのサブネットに置かれます。インターネットポートはここでは使用しません。アクセスポイントモードは独立した単一のネットワークを設定する際に役立ちます。


 注意: デバイスがAPモードにされると、[Internet Connection Setting (インターネット接続設定)] は使用できません。

[Gateway (ゲートウェイ)] モードはワイヤレスブロードバンドルータにおけるデフォルト設定です。[radio] ボタンをクリックして、これら二つのモードを選択してください。

[NEXT (次に)] をクリックして続けてください。

Wireless Settings (ワイヤレス設定)

ワイヤレスブロードバンドルータを設定する場合、ワイヤレスパラメータを次のように設定します。ワイヤレスブロードバンドルータを既存のワイヤレスネットワークに追加する場合、ネットワーク管理者または最初にワイヤレスネットワークをセットアップした人に相談してください。ワイヤレス設定に不慣れな場合、下の説明を参照してください。

-  **注意:**各クライアントのワイヤレスアダプタ設定を変更して、ワイヤレスブロードバンドルータの設定と一致させる必要があります。デフォルト設定が変更されていない限り、ワイヤレスブロードバンドルータの出荷時デフォルトを使用してください。この場合、変更に留意し、各ワイヤレスネットワークカードの新しい変更を使用します。ワイヤレスネットワークカードの設定については、カードのマニュアルを参照してください。

設定	可能な値
ネットワーク名 (SSID)	(デフォルトは<wireless>)
Channel (チャンネル)	(デフォルトは6)

ネットワーク名 (SSID)

ネットワーク名は、特定のネットワーク内で見つかる [**wireless (ワイヤレス)**] デバイスの集合体を識別する値です。ワイヤレスブロードバンドルータのデフォルト値は、「wireless (ワイヤレス)」です。すべてのワークステーションおよびアクセスポイントは、互いに通信するには同じ SSID を使わなければなりません。

SSID は 32 文字のフィールドで、大文字と小文字を区別します。例：住所、WLAN の物理位置の別の識別子、ユーザーの名前、会社名、会社名と所属部署、お気に入りのスローガンやことわざなど。

チャンネル

ワイヤレスブロードバンドルータ

ワイヤレスブロードバンドルータは様々なチャンネルで動作します。近接しているユニットは異なるチャンネルを使用する必要があります。ユニットが 1 台だけの場合、デフォルトはチャンネル 6 で、恐らくこれで充分です。ネットワークに複数のアクセスポイントがある場合、各ユニットにチャンネルを交互に配置することを推奨します。マイクロ波、携帯電話タワー、または地域内にその他のアクセスポイントがあるなどチャンネルを変更する特別の理由がない限り、デフォルトを使用することを推奨します。

[**NEXT (次に)**] をクリックして続けます。

ワイヤレスセキュリティ

データの暗号化は、暗号化キーを用いてネットワークのコミュニケーションをコード化し安全性を高めます。ワイヤレスブロードバンドルータは、暗号化をサポートするワイヤレスネットワークアダプタと共同で送信されたデータが他人に盗聴されたり奪われたりすることがないようにスクランブルをかけます。データの暗号化は WEP と WAP の二つが可能です。ワイヤレスセキュリティを有効にするには [**Enable Wireless Security (ワイ**

ヤレスセキュリティを有効にする)] のボックスを選択してください。 .

WEP

WEP暗号化を有効にする場合は、 [Network Authentication (ネットワーク認証)] リストでWEPを選択してください。

設定	可能な値
Key Format (キーフォーマット)	16進数 / ASCII 文字
Key Length (鍵長)	40 ビット (5文字) / 104バイト (13文字)
Key1, Key2, Key3, Key4	< (ユーザー定義) >

WEP暗号化には40(64)ビットと104(128)ビットの2つのレベルがあり、104(128)ビットはより安全です。WEP暗号化キーは、ランダムに選択された16進 数もしくはASCII文字の組み合わせです。各ワイヤレスブロードバンドルータおよびワイヤレスワークステーションが正常に通信されるためには同一のWEP暗号化キーを使用する必要があります。暗号化についての詳細は、ユーザーガイドの[Wireless Networking Overview \(ワイヤレスネットワークの概要\) - 暗号化](#)のセクションを参照してください。

- キーフォーマット

キーフォーマットにはASCIIと16進数フォーマットの2種類のフォーマットがあります。16進数は0から9の数字 およびAからFのアルファベットで構成されます。例えば、10進法の15は16進法の番号システムではFと表示されます。ASCIIフォーマットを選択すると、どんな文字 でも入力することができます。ASCIIは*American Standard Code for Information Interchange*の略で、ASCIIでは、各文字に1から127の数字が割り当てられており、アルファベットで数字を表します。例えば、ASCIIコードの大文字のM は77に相当します。大部分のコンピュータはテキストを表すためにASCIIを使い、コンピュータ間のデータ送信を可能とします。

- 鍵長

鍵長には、**40(64)ビット**と**104(128)ビット**の2つがあります。基本的に キーが長いほどデータの安全性が高くなります。ワイヤレスネットワークカードによっては、40(64)ビットの暗号化のみを実行できる場合があります。クライアントが104(128)ビットでしか通信できない場合には104(128)ビットを選択し、クライアントが40(64)ビットでしか通信できない場合は40(64)ビットを選択するようにします。

- キー

40(64)ビット暗号化を選択する場合は、フィールドに5文字 (10の16進数) のWEP暗号化キーを入力します。104(128)ビット暗号化を選択する場合は、フィールドに13文字 (26文字の16進数) を入力します。ワイヤレスブロードバンドルータに保存する際、4つの異なったキーを入力できるオプションがあります。暗号化のドロップダウンリスト中の [**Default Key** (デフォルトキー)] において提供される4つのキーのうち1つだけを選択します。安全性を強化するために、キーを頻繁に変更するようにしてください。ワイヤレスデバイスでキー変更を行う際は、すべてのワイヤレスデバイスおよびネットワークのアクセスポイントにおいても同様の変更が必要です。



注意: ワイヤレスブロードバンドルータを既存のネットワークに追加し、既存の暗号化キーをワイヤレスクライアントに使用する場合、ネットワークの管理者に相談してください。ワイヤレスブロードバンドルータの暗号化を設定する際には、同一のキーを使用します。管理者は、ネットワークのすべてのアクセスポイントやワイヤレスクライアントに対してこれらのキー変更を通知してください。1つのアクセスポイントもしくはワイヤレスクライアントがキー変更を行うと、他のすべてのネットワークとの接続ができなくなります。

WPA

WPA 暗号化を有効にする場合は、[**Network Authentication** (ネットワーク認証)] リストより**WPA**を選択します。

WPAは、ワイヤレスネットワークの安全性を高めるため、WEP (Wired Equivalent Privacy) をアップグレードしたものです。

WPAを利用してワイヤレスネットワークの安全性を強化する場合は、以下が必要です。

- Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータでWPAを有効にする。
- ワイヤレスクライアントをサポートするWPA。Dell TrueMobileワイヤレスクライアントをご使用の際は、<http://support.dell.com>で、ワイヤレスクライアントをサポートするWPAが有効なソフトウェアの更新の可能性を確認してください。

フィールドに必要なパラメーターを入力します。

- **WPA Pre-shared キー**

WPA Pre-Shared キー (PSK) はパスワードが入力されるフィールドです。すべてのワイヤレスクライアントはネットワークに接続するためにこのパスワードを入力する必要があります。キーフォーマットはワイヤレスクライアントの設定に合わせるようにしてください。

- **キーフォーマット**

キーフォーマットボックスには**16進数** (0-9 の数字とA-Fのアルファベットのみ)と**ASCII**(すべての文字、数字、シンボル)の2つのリストがあります。キーに適切なフォーマットを選択します。ワイヤレスクライアントが上記のうち片方のみをサポートしている場合は、サポートされている方法を選択するようにしてください。

- **WPA グループ再入力インターバル**

WPAグループ再入力インターバルは、暗号化キーのローテーションの回数を指定するのに利用されます。数が小さければ小さいほど暗号化キーがローテーションされますが、数字が小さすぎるとワイヤレスネットワークがスローダウンします。

- **WPA 暗号化**

WPA暗号化には二種類あり、**TKIP** (Temporal Key Integrity Protocol) は最も一般的な暗号化方法で、**AES** (Advanced Encryption Standard) は、ワイヤレスクライアントがTKIPをサポートしていない場合に使用できます。

[**NEXT** (次に)] をクリックして続けてください。


[トップに戻る](#)

インターネット接続の設定

ワイヤレスブロードバンドルータがルータとして使用される場合のみ設定する必要があります。ISP設定に関する詳細は、[ISP設定選択リスト](#)を参照してください。

 **注意：** [Installation (インストール)] と [Setup First Computer (一台目のコンピュータを設定する)]


を選択後、セットアップウィザードが、ルータに必要なケーブル/xDSL ISP設定を入力し、インストールを完成します。セットアップウィザードがインターネット接続できない場合のみ、オプションでCable/xDSL ISPの設定を変更する必要があります。

 **注意:** デバイスがAPモードにされると、インターネット接続は使用できません。

ISPによるホストコンピュータ名とドメイン名の入力要求

ISPによりホストコンピュータ名とドメイン名の入力が必要とされたら、ボックスから **[Your ISP requires you to input Host Computer Name or Domain Name (ISPによるホストコンピュータ名とドメイン名の入力リクエスト)]** を選択します。ボックスはケーブルによるISPがホストコンピュータ名かドメイン名を提供している場合のみ選択します。正しい値をフィールドに入力します。

[**NEXT** (次に)] をクリックして続けてください。

 **注意:** ホストコンピュータ名およびドメイン名はケーブルモデムISPによってのみ利用されません。

ISPによるWANイーサネットMacアドレスの入力要求

ISPによりWANイーサネットMACアドレスの入力が必要とされたら、ボックスから **[Your ISP requires you to input WAN Ethernet MAC (ISPによるWANイーサネットMacアドレスの入力 リクエスト)]** を選択します。フィールドにワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられたパブリックWAN (ケーブル/xDSL) MACアドレスを入力します。ワイヤレスブロードバンドルータのバックパネル上かウェブによる設定ツールのデバイスインフォメーションページでWAN MACアドレスを検出できます。

[**NEXT** (次に)] をクリックして続けてください。

接続タイプ

リストの4つのオプションから接続タイプを選択します。

- ケーブルモデム
- DSL (静的)
- DSL (PPPoE)
- PPTP

ケーブルモデム設定

更に設定する必要はありません。ケーブルモデム接続に関する上記の設定が正しいかどうかを確認してください。

DSL 静的 IP設定

フィールド (下記に列挙) にISPから提供されたIPアドレス、IPサブネットマスク、ISPゲートウェーアドレス、ドメイン名サーバー (DNS) IPアドレスを入力します。

- ISPから提供されたIPアドレス
- IPサブネットマスク
- ISP ゲートウェーアドレス

- ドメイン名サーバー (DNS) IPアドレス

DSL PPPoE 設定

Point to Point Protocol over Ethernet (PPPoE)は、ホストのPCがネットワークに接続するためにブロードバンドモデム (例: xDSL、ケーブル、ワイヤレスなど) とどのように相互作用するかを特定します。PPPoEは多くの面でダイヤルアップネットワークと似ています。DSL (PPPoE)インターネット接続の場合は、ISPから提供されたPPPoEユーザー名とパスワード (パスワードは確認のため再入力が必要) を入力します。


PPTP 設定

通常インターネットサービスプロバイダ (ISP) より以下の設定が提供されます。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- サーバー IP アドレス
- ユーザー名
- パスワード

ISPがPPTP (Point-to-Point Tunneling Protocol) をインターネット接続に指定する場合は、セットアップウィザードを利用してルータを自動的にセットアップすることはできません。イーサネットケーブルをコンピュータからはずし、ルータのインターネットポートに接続します。他のイーサネットケーブルの一方を4LANポートのいずれかに、もう一方をコンピュータに接続します。自動的にアドレスを維持されるようイーサネットアダプタを設定します。コンピュータのネットワークアダプタ設定についての詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。


[**NEXT** (次に)] をクリックして続けます。

 **警告!** インターネット接続が分単位計算で支払われる場合、インターネットに接続しない際にはワイヤレスブロードバンドルータ上のインターネットポートからネットワークケーブルをはずすようにしてください。

[トップに戻る](#)

保存して決定

保存して決定のページを利用してすべてのネットワーク設定の変更を送信することができます。[**Save & Restart** (保存して再起動)] をクリックするとワイヤレスブロードバンドルータのネットワーク設定が更新されます。新しい設定がファームウェアに書き込まれ、ワイヤレスブロードバンドルータが自動的に再起動されます。

 **注意:** ネットワークにワイヤレスクライアントがある場合、ワイヤレスブロードバンドルータの設定に合わせてクライアントのワイヤレスネットワークカードを設定する必要があります。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

デバイス情報とステータス Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

[Device Information & Status(デバイス情報と状況)] ページには、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの基本的なネットワーク設定が表示されます。ネットワーク設定に変更が加えられると、これらの情報は更新されます。さらに、ワイヤレスブロードバンドルータとネットワーク内のその他のデバイスの現在の接続状況がビジュアルに表示されます。ネットワークデバイス間の接続は黄色の矢印で表示され、操作不可能な接続は、1本の赤のスラッシュが入った黄色の接続ラインで表示されます。

- TrueMobile 2300ルのネットワークのステータスは、2種類の方法でチェックできます。Windowsベースのソフトウェアプログラム[コントロールユーティリティ](#)では、PCとインターネットの接続を監視できます。このユーティリティの詳細については、上記のリンクをクリックしてください。別の方法は、ルータ内のWebコンフィギュレーションツールを使う方法で、ネットワークとユニットの詳細情報が提供されます。

図1. Device Status[デバイスステータス]ページ

The screenshot displays the 'Device Status' page of the Dell TrueMobile 2300 wireless broadband router. The page is divided into several sections:

- Navigation:** A top menu bar includes '基本設定', 'デバイスの状況' (selected), 'システムツール', '詳細設定', 'ヘルプ', and 'ログオフ'.
- Left Sidebar (Main Menu):** Contains 'WAN MAC:' (Active), 'インターネット: Active', IP address (10.10.0.2), DNS server (10.10.0.1), and gateway IP (10.10.0.1). It also has '解除' and '更新' buttons. Below this are 'ルータIP: 10.20.0.1', 'LAN MAC: 00:90:4C:44:07:E8', 'WAN MAC: 00:90:4c:4a:00:2c', 'ルータ名: TrueMobile2300', 'ファームウェアバージョン: 2.0.1.9 (07/04/2003)', and 'ワイヤレスチャンネル: 1'.
- DEVICE STATUS:** A central diagram shows a router connected to 'LAN' (a PC), 'インターネット' (Internet), and 'ワイヤレス' (Wireless). A red 'X' is placed over the wireless connection line, indicating it is inactive.
- Time and Lease Info:** Shows 'PacificTime Wed Jul 9 07:02:39 2003' and 'Current DHCP Lease'.
- DHCP Lease Table:** A table with columns for 'ホストコンピュータ名', 'MAC', 'IP', and 'Lease Time'. It lists one entry with MAC '00:00:1C:D3:B5:72', IP '10.20.0.2', and a lease time of '37467 days, 23 hours, 26 minutes, 0 seconds'.

ホストコンピュータ名	MAC	IP	Lease Time
	00:00:1C:D3:B5:72	10.20.0.2	37467 days, 23 hours, 26 minutes, 0 seconds

デバイス情報とステータス

[Device Information & Status (デバイス情報と状況)] ページには、以下の接続状況が表示されます。

デバイス	表示
ケーブル/xDSL モデム	非アクティブなケーブル/DSL 接続は、ケーブルが接続されていないか、ワイヤレスブロードバンドルータがIPアドレスを受信していないことを示します。 アクティブ接続とは、ルータのWANインターフェースに有効なIPアドレスがあり、コンピュータがルータ経由でインターネットに接続できる状態です。
有線クライアント (LAN)	有線クライアントが設定され、使用するネットワークに物理的に接続されている際に、アクティブな接続として表示されます;PCにイーサネットケーブルが接続されていない場合はアクティブではありません。
ワイヤレスクライアント	ワイヤレスクライアントがネットワークに接続されている際にアクティブな接続として表示されます; ルータにワイヤレスクライアントが接続されていない場合はアクティブではありません。

ワイヤレスブロードバンドルータは、DHCP サーバとして動作する際、IP アドレスをネットワーク上のクライアントに割り当て、これらの IP アドレスは、[Device Status (デバイスの状況)] 図下の [DHCP Log (DHCP ログ)] に表示されます。

WAN イーサネット設定

次の WAN イーサネット設定およびワイヤレスブロードバンドルータ用のインターネットプロトコル (IP) 設定については、画面の左側を参照してください。

設定/デバイス	表示される情報
Internet	アクティブ/非アクティブ。
Router IP	ワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられた IP アドレス。
LAN MAC	LAN およびワイヤレスインターフェイス用 MAC アドレス。
WAN MAC	WAN インターフェイス用 MAC アドレス。
デバイス名	ワイヤレスブロードバンドルータのホスト名。
ファームウェアバージョン	ワイヤレスブロードバンドルータに現在インストールされているファームウェアのバージョンナンバーとそのリリースされた日付。
ワイヤレスチャンネル	ワイヤレスブロードバンドルータが空中で通信する無線チャンネル。
ネットワーク名	ネットワークを識別する独自の名称で、別名SSID (Service Set Identifier) です。クライアントのステーションがルータに接続しようとする際、ユーザーは予めルータのSSIDを知っておく必要があります。

次のボタンが左側のナビゲーションバーに表示されます。

ボタン	操作
	このボタンをクリックすると、ISPワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられている IP アドレスをリリースします。ワイヤレスブロードバンド

RELEASE (リリース)	ルータが静的 IP アドレスを受信するように設定されている場合は、[Release (リリース)] をクリックしてもこの IP アドレスはリリースされません。
RENEW (更新)	このボタンをクリックすると、DHCP サーバを使う IP アドレスを更新しようとしています。ワイヤレスブロードバンドルータが静的 IP アドレスを受信するように設定されている場合は、[Renew (更新)] をクリックしてもこの IP アドレスはリリースされません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

System Tools (システムツール) Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ) やルーティングテーブル、デバイス設定およびステータスに関する System Diagnostics (システム診断) を表示するには、System Tools (システムツール) を使用します。これら 3 つのテーブルは、参考資料としてのみ利用してください。[System Tools (システムツール)] のセクションには、デフォルト設定の再ロード、ワイヤレスブロードバンドルータ用ファームウェアのアップグレード、およびユニットのリセットをするための機能も含まれます。

ウェブベースのコンフィギュレーションツールで以下のページを使い、[System Tools (システムツール)] セクションにアクセスします。

- ▶ [Intruder Detection Log \(侵入者検出記録ログ\)](#)
- ▶ [Display Routing Table \(ルーティングテーブルの表示\)](#)
- ▶ [System Diagnostic \(システム診断\)](#)
- ▶ [Load Default Setting \(デフォルト設定のロード\)](#)
- ▶ [Upgrade Firmware \(ファームウェアのアップグレード\)](#)
- ▶ [Reset Device \(デバイスのリセット\)](#)

Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ)

インジケータ	説明
イベント	ルータが検出した攻撃タイプ。
時間	IPパケットのタイムスタンプから時間のオフセットを調整したもの。
ソースIP	パケットの送信元のIPアドレス。
指定IP	通常ワイヤレスブロードバンドルータのIPアドレス。
ポート	ポートナンバー。

システムはe-mailでアクセス侵入警報を出します。

- [e-mail警報を有効にする]のボックスを選択します。
- 警報メッセージを受信するe-mailアドレスを[e-mailアドレス]のフィールドに入力します。
- [送信]ボタンをクリックします。

下の図より、INT_ATEMPTイベントの例で、IPアドレスが192.168.2.60(ソース)のコンピュータから、ルータのポートナンバー80に12 AM:1 Min: 5 Secに侵入が試みられたことがわかります。

[トップに戻る](#)

Display Routing Table (ルーティングテーブルの表示)

インジケータ	説明
タイプ	ルーティングのタイプで、以下のいずれか。 LAN か WAN インターフェイス (INTF) 静的ルーティング
指定LAN IPアドレス	ネットワーク全体または特定の IP アドレス。「.0」で終わる IP アドレスは、ネットワークを指す。
サブネットマスク	サブネットマスクルールに従う必要がある。
ゲートウェー IPアドレス	送信先の IP アドレスと一致する IP アドレスと通信するために、ワイヤレスブロードバンドルータはすべてのトラフィックをここに表示されるゲートウェイ IP アドレスに送信します。
Hop カウント	パケットが目的地に着くまでに通過したルータの数。Hopカウントは、ソースと目的地間の距離を測るのに利用されます。ソースと目的地ノード間に3つのルータがあれば、パケットが目的地に着くとHopカウントは3となります。

下の図は、現在ルータにある3つのネットワークルートを示しています。192.168.2.0は、ルータのインターフェイスポート (LANまたはWAN) の1つに接続している送り先のネットワークで、このインターフェイスのIPアドレスとサブネットマスクは、それぞれ192.168.2.1と255.255.255.0です。パケットが横断するルータ (Hop Count) 数は1です。また、この例では、送り先が0.0.0.0のネットワークと0.0.0.0サブネットマスクは、ルータのデフォルトルートで、マップされずに他のルートに送られたパケットはこのルータにマップされます。送信デフォルトゲートウェイのIPアドレスは169.95.1.254です。

DELL DELL TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ

基本設定 **デバイスの状況** システムツール 詳細設定 ヘルプ ログオフ

メインメニュー

- 侵入者検出記録ログ
- ルーティングテーブルの表示**
- システム診断
- デフォルト設定のロード
- ファームウェアの更新
- デバイスのリセット

ルーティングテーブルの表示

タイプ	指定IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイIPアドレス	ホップ数
INF	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2.1	1
INF	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168.253.222	1
INF	0.0.0.0	0.0.0.0	192.168.1.254	1

Copyright © 2003

[トップに戻る](#)

System Diagnostics (システム診断)

Systems Diagnostics (システム診断)]のページは参考資料としてのみ利用してください。このページはワイヤレスブロードバンドルータの設定および診断の両方を表示します。設定にはネットワークに設定したISP およびデバイス設定が含まれます。

[Diagnostics (診断)]セクションにはネットワークにおける現在の接続状況が表示されます。診断の設定にはISP ステータス、リンクステータス、現在のWAN 接続、LAN MAC テーブル、およびWAN MAC テーブルが含まれません。

[トップに戻る](#)

Load Default Setting (デフォルト設定のロード)

[Load Default Settings (デフォルト設定のロード)]ページでは、デバイスの出荷時デフォルト設定を再ロードできます。このオプションを実行すると、デフォルトIP アドレスは製造元のデフォルト値(192.168.2.1) にリセットされます。これは、デバイスの背面にある [Reset (リセット)] ボタンを3秒以上押さえる場合と同じです。(詳細は [A Look at the Hardware](#) を参照してください)


- ➡ **Load Default Settings (デフォルト設定のロード)** を使うと、既存のワイヤレスブロードバンドルータの設定が失われます。

デフォルト設定を再ロードするには、[START (スタート)] ボタンをクリックします。

[トップに戻る](#)

Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード)

Dell では、パフォーマンスと機能の向上のため、定期的にファームウェアの更新版をリリースします。ワイヤレスブロードバンドルータのファームウェアをアップグレードするには、ワイヤレスブロードバンドルータのアップデートユーティリティを使います。まず新しいファームウェアを Dell のサポートウェブサイト、support.dell.com からダウンロードし、ネットワークのいずれかのクライアントに保存します。ファームウェアをアップグレードするには、ディレクトリのパスを入力するか、[Browse (参照)] ボタンをクリックしてアップグレードするファームウェアのファイルを選択します。

 注意: 選択するファイルが実際に Dell(R) TrueMobile(TM) 2300 ワイヤレスブロードバンドルータファームウェアファイルであることを確認してください。

ファイルを選択し、[START (スタート)] ボタンをクリックします。ファームウェアがワイヤレスブロードバンドルータに書き込まれた後、ユニットが再起動します。ワイヤレスブロードバンドルータのリセット中は、ユニット正面の [Power (電源)] ランプが点滅します。

[トップに戻る](#)

Reset Device (デバイスのリセット)


システムエラーが発生した場合、Reset Device (デバイスのリセット) 機能を使用します。この機能は出荷時デフォルト設定を再ロードできません。システムに支障が起こる前のネットワーク設定にデバイスをリセットします。これは、デバイスの電源を切って再度電源を入れる、または [Power (電源)] ライトが点滅するまで 3 秒間リセットボタンを押すのと同じことです。設定はそのまま保存されます。

 注意: ネットワーク設定の更新中にデバイスの設定をリセットすると、これらの変更は消去されます。

ワイヤレスブロードバンドルータを [current firmware settings (現在のファームウェア設定)] にリセットするには、[START (スタート)] ボタンをクリックします。ワイヤレスブロードバンドルータのリセット中は、ユニット正面の [Power (電源)] ランプが点滅します。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

Advanced Settings (詳細設定) :Dell™ TrueMobile™ 2300ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

- ▶ [IP詳細設定](#)
- ▶ [DHCP サーバー設定](#)
- ▶ [時間設定](#)
- ▶ [詳細ワイヤレス](#)
- ▶ [パラレルコントロール](#)
- ▶ [接続コントロール設定](#)
- ▶ [ポート転送設定](#)
- ▶ [静的ルーティング](#)
- ▶ [管理設定](#)

- 注意: Dell テクニカルサポートは、設定プログラムの Advanced Settings (詳細設定) の設定オプションに対するサポートは提供しません。これらのオプションはユーザーの便宜を図るためにのみ提供されるものですが、このガイドではすべての詳細設定について説明します。
- 注意: オプションの [Port Forwarding Setting (ポート転送設定)] と [Static Routing (静的ルーティング)] は接続ポイントモードでは表示されません。
- 注意: [Advanced Settings (詳細設定)] で変更を行い [SUBMIT (送信)] ボタンをクリックすると、[Save & Restart (保存して再起動)] ボタンをクリックできるページに移動します。このボタンをクリックして変更を保存しルータを再起動します。変更を有効にするには、すべての新しい設定を保存する必要があります。

IP 詳細設定

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータには [IP Address (IPアドレス)] および [IP Subnet Mask (サブネット マスク)] が割り当てられています。これらの設定はルータの[Local Network (ローカルネットワーク)] 部にのみ適用されます。既存のネットワークにユニットをインストールする場合や、単にこれらの値を変更する場合には、ネットワーク上のデバイスすべての IP サブネットマスクが同じであることを確認します。また、IPアドレスのネットワーク部分も、ネットワークにおけるすべてのデバイスで同一にする必要があります。

- 注意: Dell では、特別な理由がない限り、IP アドレスを変更しないことを強く推奨します。

IP アドレスの変更時には、以下に留意してください。

- ワイヤレスブロードバンドルータを変更すると、DHCP サーバが有効な場合には IP アドレス pool も変更されます。
- ワイヤレスブロードバンドルータをケーブルモデムまたは DSL 回線で使用している場合は、「プライベート

ト」な IP アドレスを割り当てます。プライベートな IP アドレスの範囲は、以下の 3 つの内のどれかとなります。

- 10.0.0.1-10.254.254.254
 - 172.16.0.1-172.31.254.254
 - 192.168.0.1-192.168.254.254
- ウェブベースの設定ツールに接続するには、新しい IP アドレスを使わなければなりません。

➡ **注意:** 既存の有線ネットワークにワイヤレスブロードバンドルータをインストールし、セットアップウィザードでワイヤレスブロードバンドルータの **DHCP**サーバ機能が無効になっている場合のみ、**IP** アドレスおよび **IP** サブネットを変更します。詳細情報は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

[**SUBMIT** (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

DHCPサーバー設定

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) は、IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに自動的に割り当てる方法を定義付けます。IP アドレスは DHCP サーバで管理されます。Windows コンピュータが IP アドレスを自動的に取得するように設定されている場合、DHCP サーバからアドレスが自動的に取得されます。

DHCPサーバー機能を有効にする

デフォルトでは、ワイヤレスブロードバンドルータは、DHCP サーバとして機能するように設定されています。DHCP サーバが搭載されている既存ネットワークにユニットをインストールする、またはワイヤレスブロードバンドルータをネットワークの DHCP サーバとして機能させたくない場合、[**Enable DHCP Server Functions** (DHCP サーバ機能を有効にする)] を選択せず、DHCP サーバ機能を無効にします。

IP Address Pool Range (IP アドレス Pool 幅)

[IP Address Pool Range (IP アドレス Pool 幅)] のセクションでは、ネットワークにおける IP アドレス値の高低を制御する手段が提供されます。該当するフィールドを使い、ワイヤレスブロードバンドルータが DHCP クライアントに提供する IP アドレス幅を定義します。入力できる有効変域は 1 から 254 までです。

リース時間は、DHCPサーバーから割り当てられたIPアドレスの使用を許可された時間です。DHCPサーバーよりクライアントが使用するIPアドレスのリース時間を指定します。この設定はユーザーが頻繁に変わる状況下で特に便利です。

IP Address Reservation (IP アドレスの予約)


またネットワーク内の特定のデバイス用に、特定の IP アドレスが予約されていることがあります。[**IP Address Reservation** (IP アドレスの予約)] フィールドでは、1 つのシステムに対し最高 4 つまでの IP アドレスを予約できます。[**Computer MAC** (コンピュータ MAC)] フィールドは、同じネットワーク内でルータとしてインターフェースするクライアントコンピュータのネットワークカードの MAC アドレスです。[**IP Address** (IP アドレス)] 下の入力ボックスを使い、手動で定義された IP アドレスを使うデバイスの IP アドレスとコンピュータ名を指定します。

[**SUBMIT** (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

時間帯

ドロップダウンリストから時間帯を選択するには [Time Settings (時間の設定)] ページを使います。Time Settings (時間設定) は Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ) のみに影響します。この設定は、Greenwich Mean Time (GMT) (グリニッジ標準時間) の IP パケットのタイムスタンプをオフセットします。IP パケットに常時このスタンプがあるとは限らず、また不正なスタンプを持つ場合もあるため、時間帯の情報が常に正確であるとは限りません。

国によっては、日光節約時間 (別名サマータイム) が活用されます。夏期に時計を標準時間より1時間進めます (高緯度の国では1時間以上進めます)。時間設定を確認するには、夏から冬にかけて時間を切り替えます。日光接続時間を採用している国に居住している場合は、日光節約時間設定ボックスを選択してください。

 注意：日光節約時間設定は、以下の地域に適用されます。グアム、アラスカ、太平洋標準時、山地標準時、メキシコ、中央オーストラリア標準時、東部標準時、大西洋標準時、イギリス、フランス、ギリシャ、イラク、パキスタン、タイ、中国、シンガポール、ブラジル東部、ニュージーランド、オーストラリア。

[Time Settings (時間の設定)] は、[Parent Control (親コントロール)] オプションにも影響します。このオプションでは、親がインターネット接続をコントロールできます。このオプションを有効にするには、ルータのウェブ設定ツールの [Advanced Settings (詳細設定)]、[Parental Control (親コントロール)] の順にクリックします。デフォルトでは、インターネット接続はどの場合も阻止されていません。

[SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

ワイヤレス詳細

Enable Wireless (ワイヤレスを有効にする)

ワイヤレスブロードバンドルータで無線の送受信を有効にするにはこのボックスを選択します。無線を無効にするにはこのボックスを選択しません。

Hide my wireless network (ワイヤレスネットワークを無効にする)

このボックスを選択すると、ワイヤレスブロードバンドルータでビーコンパケットをワイヤレスネットワークに送信できます。デフォルトによって選択されない場合、他のユーザーは、ワイヤレスブロードバンドルータを簡単に見つけ、関連付けることができます。しかし、ワイヤレスネットワークのセキュリティを高くするためには、この機能をオンにする必要があります。

モード

TrueMobile2300ルータは802.11g互換機で、モードリストより[b&g (デュアルモード)]、[802.11b]、[802.11g]が選択できます。

SSID

Service Set Identifier (SSID) は、ワイヤレスネットワークを構成するすべてのコンピュータおよび装置を識別するための 32 文字の名前です。


転送速度

転送速度は自動または固定値に設定することができます。

自動に設定してワイヤレスネットワークデバイスが、特定の時間に最適な速度で転送できるように自動 (Auto) に設定することを推奨します。

チャンネル

チャンネル設定では、このワイヤレスブロードバンドルータもチャンネルを設定できます。ラジオチャンネルでは、通信の伝達が行われます。チャンネル番号の操作は、各ドメインによって異なります。

 **注意:** ビーコンインターバル、RTSしきい値、フラグメンテーションしきい値、DTMインターバルの設定をする場合は、[Advanced Options (詳細オプション)] が選択されていることを確認してください。

ビーコンインターバル

ワイヤレスブロードバンドルータからクライアントステーションへの無線ビーコンのインターバルで Kusecs (1 Kusec は 1,024 マイクロセカンド) で表されます。バリュー変域は1から65535です。

RTS しきい値

ワイヤレスブロードバンドルータがパケットを送信する前に [Request to Send (送信リクエスト)] を発行するパケットより大きいパケットサイズ。

RTS (送信リクエスト) は“隠れノード”問題を防止します。2つのステーションが同じ接続ポイント (AP) の範囲内であっても、両ステーション同士が互いに通信できる範囲にない場合、両者は隠れノードとなります。これらの2つのステーションからのパケットがAPに同時に到達すると両者が衝突する場合があります。隠れノードによるデータの衝突を避けるには、RTS機能を起動します。RTSが起動されると、まずデータを転送しようとするAPにステーションから通信が届き、次にAPがCTS (Clear to Send: 送信クリアー) とともに、該範囲内のすべてのステーションに対して応答・通告され、データ用の帯域幅が予約されます。

RTSしきい値はRTSに出力されるデータパケットのサイズをコントロールします。パケットがRTSしきい値を超えた場合のみ、パケット送信前にデバイスからRTSが送信されます。RTSしきい値のバリュー設定に関しては諸条件が考慮されます。小バリューであればRTSがより頻繁に送信されバンド幅を浪費しますが、RTSパケットの送信が頻繁になるにつれてシステムは衝突から回復しやすくなります。このため、デフォルトバリューを使用するか、デフォルトバリューをわずかに減らすことを推奨します。バリューの変域幅は0から2347です。

Fragmentation Threshold (フラグメンテーションしきい値)

パケットがフラグメントになり、全体が一度ではなく破片で送信されるサイズ。256 から 2346 バイト内で設定します。

DTIM インターバル

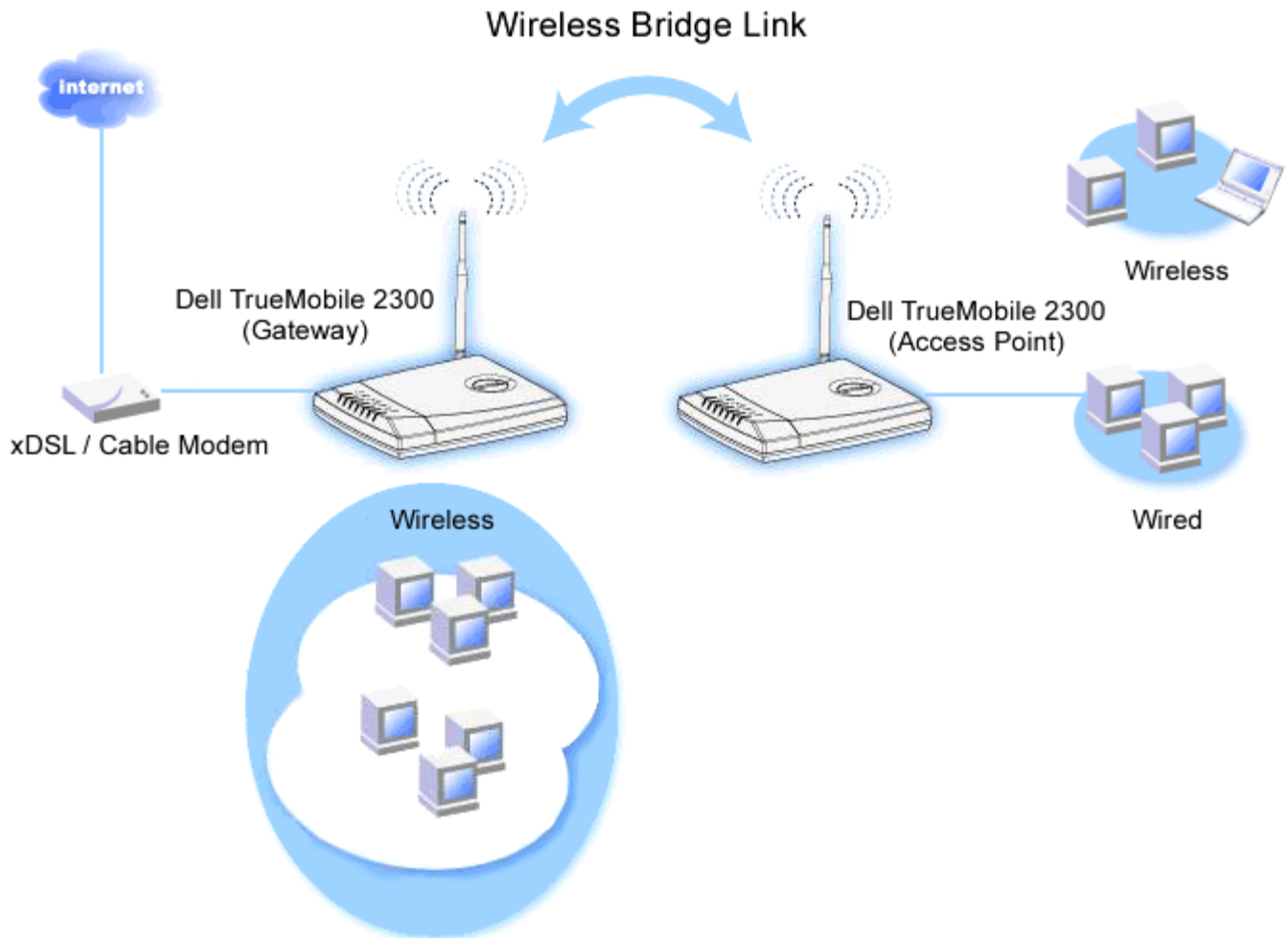
DTIM (Delivery Traffic Indication Message) インターバルは常にビーコンインターバルの倍数に設定し、Traffic Indication Message (TIM) がビーコンに含まれ回数を決定します。TIM はスリープ状態のステーションに警報を送り、データフレームを受信するまで起きてるようにさせます。バリュー変

域は1から255です。

ワイヤレスブリッジ


ワイヤレスブリッジはワイヤレスネットワークの受信可能範囲を高め、リモートコンピュータに対してワイヤレス接続を提供します。尚、ワイヤレスブリッジをセットアップするには2つ以上のDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータが必要です。

ワイヤレスブリッジをセットアップするには、すべてのDell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Routersに対して同様のワイヤレス設定を行う必要があります。




ワイヤレスブリッジのルータ設定:

- [**Enable Wireless** (ワイヤレスを有効にする)] を選択します。
- ワイヤレスのデフォルト設定を変更する場合は、[**Network name (SSID)** (ネットワーク名)] のフィールドにワイヤレスネットワーク名を入力してください。
- [**Advanced Options** (詳細オプション)] が選択されていないことを確認します。
- [**Wireless Bridge** (ワイヤレスブリッジ)] を有効にします。
- ブリッジする他のDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータのMAC アドレスを入力します。

 **注意:** 2つのブリッジを接続するには、ブリッジのMACアドレスを一方のエンドに入力します。3つのブリッジを接続するには、マルチポイントセンターとされるブリッジに2つのブリッジのMACアドレスを入力し、2つのブリッジにはセンターブリッジのMACアドレスのみ

を入力します。

- [**Submit** (送信)] をクリックします。
- [**Save & Restart** (保存して再起動)] をクリックします。
- ウェブブラウザがワイヤレスブロードバンドルータのメインページに戻り、デバイスが新しい設定に更新されました。
- ブリッジするDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータに対して1から8までの手順を繰り返します。
 -  **注意:** すべてのDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータに対して同様のワイヤレス設定を選択し、直接インターネットに接続されないルータについては、接続ポイントモードに設定するようにしてください。

[Back to Top](#)

Parental Control (親コントロール)

IP フィルタリングは、IP アドレス、ポートナンバー、[Protocol (プロトコル)] タイプ、さらにその他の基準に基づいて、ネットワークノードが特定のタイプの IP データグラムを受信または拒否できる仕組みです。このルータでは 2 種類の IP フィルタリングがあり、インターネットへの接続をコントロールできます。

- [Internet Access Control (インターネット接続コントロール)] では、インターネットへの接続を時間帯でコントロールします。
- [Web Site Filtering Settings (ウェブサイトフィルタリング設定)] では、特定の IP アドレスが特定のウェブサイトへ接続することを拒否します。

Internet Access Control (インターネット接続コントロール)

- コントロールする特定のコンピュータ (例: クライアント) のIPアドレスを [IP Address (IPアドレス)] リストより選択します。
- インターネットへの接続を特定の時間帯だけ阻止するには、[Time Restriction (時間制限)] リストから開始時間と終了時間を指定します。
- [Internet Access (インターネット接続)] リストより [Allow (許可)] か [Deny (拒否)] を選択します。
- [SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

Web Site Filtering Setting (ウェブサイトフィルタリング設定)

- [Web Site Restriction (ウェブサイト制限)] のフィールドに接続許可または拒否するURL を入力します。
- 入力したウェブサイトへの接続の許可または拒否を選択します。
- [SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

Access Control Settings (接続コントロール設定)

Access Control Settings (接続コントロール設定) 機能では、どのクライアントコンピュータがルータ経由でネットワークに接続できるかコントロールできます。デフォルトでは、ワイヤレスブロードバンドルータはどのクライアントコンピュータにもネットワークへの接続を許可します。

ルータの接続コントロールを有効にするには:

- [Enable MAC Access Control (MAC 接続コントロールを有効にする)]** を選択します。
- [Operating Type (オペレーティングタイプ)]** を選択し、**[Allow grants client computers access to the router (クライアントコンピュータのルータへの接続を許可する)]**、**[Deny restricts the access (接続を拒否する)]** の順に選択します。
- 上記のコントロールポリシーを適用したいコンピュータのネットワークカードの MAC アドレスを入力します。
- [Add (追加)]** をクリックしてルータにルールを入力します。
- 既存のルールを削除するには、ルールの横にある **[Delete (削除)]** を選択し、**[Delete (削除)]** ボタンをクリックします。
- [SUBMIT (送信)]** ボタンをクリックし、変更を保存します。


[トップに戻る](#)


Port Forwarding Settings (ポート転送設定)

DMZ (非武装地帯)

DMZ (非武装地帯) は、すべてのポイントに接続することを許可する機能です。(例: ゲームサーバーをホストに関して問題がある場合、このオプションを選択できます。この機能によってすべてのポートがゲームサーバーに開放されます。)

- [Enable DMZ Host (DMZを有効にする)]** を選択します。
- [DMZ IP Address (DMZ IPアドレス)]** のフィールドにゲームアプリケーションを実行するコンピュータの IP アドレスを入力します。
- [SUBMIT (送信)]** をクリックし、設定を有効にします。

 **注意:** DMZモードでワイヤレスブロードバンドルータを設定すると、ワイヤレスブロードバンドルータを通して特定のゲームをプレイするのに便利ですが、その際ポートをその他の既存の設定ツールで開くことはできません。

 **注意:** インターネットサービスに接続する際にはセキュリティ問題が懸念されます。サービスに接続する際にはセキュリティ警告に十分注意し、接続コントロールおよび認証が実行されているかよく確認してください。

Custom Port Forwarding Settings (カスタムポート転送設定)

ポート転送はDMZと比べて設定が複雑ですが、1つのポート(またはポート範囲)のみがインターネットに開放されているため、インターネットアプリケーションやファイヤーウォールから提供されるインターネットサービスを実行する際に比較的安全です。ポート転送設定を利用すれば、LANで指定されたコンピュータを利用してデータ送信するポートやプロトコルを指定することができます。


例えば、LANで実行されるHTTPサーバーをインターネットに接続する場合に、パブリックIPアドレス(ISPより取得)がXXXX(Xは数字)で、LANをコントロールするワイヤレスブロードバンドルータ(192.168.2.1)のLANアドレスが192.168.2.2で、これらがコンピュータがHTTPサーバーをホストしてしましましょう。この場合、192.168.2.2と設定すると、ポート80(HTTP)へのポート転送が実行でき、インターネット上のユーザーはhttp://X.X.X.Xを開いてHTTPサーバー(192.168.2.2)を取得できます。この場合、ポート80がコンピュータ(192.168.2.2)を管理し、LAN上で他のコンピュータにはこのデータ送信が見えません。

インターネットアプリケーション(例えばインターネット通信、ゲーム等)によっては、このポート転送設定を利用

するとファイヤーウォールからアプリケーションが正確に実行されます。尚、これらのアプリケーションには特定のTCP/UDPポートが必要で、これらのアプリケーションに関するポートやプロトコルのタイプは、インターネットサービスによって異なります。詳しくはまずサービスプロバイダかアプリケーションのユーザーマニュアルを参照してください。

設定時には以下に留意してください。

- [Enable (有効)] ボックスを選択します。
- [Service Name (サービス名)] のフィールドに適切な名称、または詳細を入力します。
- [Incoming Ports (受信ポート)] のフィールドにポート範囲を入力します。1つのポートナンバーのみを指定する場合は、同じ番号を両ボックスに入力してください。
- [Destination IP Address (指定IPアドレス)] のフィールドに接続リクエストを受信するコンピュータのIPアドレスを入力します。
- [Destination MAC Address (指定MACアドレス)] のフィールドに接続リクエストを受信するコンピュータのIPアドレスを入力します。

 インフォメーション: MACアドレスの検出

以下にWindows 2000 および XPの環境下でのMACアドレスの検出方法を説明します。

- [Start (スタート)] 、 [Run (ファイルを指定して実行)] の順にクリックします。
- オープンフィールドにcmd と入力し、Enterキーを押すか、OKボタンをクリックします。
- コマンドプロンプトにipconfig/all と入力し、物理的アドレス (=MAC アドレス)を入手します。
- 入手した物理的アドレス (=MAC address)をメモしておきます。この情報は、設定時に必要となります。フォーマットはXX-XX-XX-XX-XX-XXで、Xは16進法のディジット (0-9 か A-F)となります。
- [Destination Port (指定ポート)] のフィールドにポートナンバー、マッピングしているマシンのポート範囲を入力します。
- [PORT TYPE (ポートタイプ)] のフィールドにTCPかUDP、または両方のプロトコルを選択します。プロトコルがアプリケーションのドキュメンテーションで指定される場合があります。
- [SUBMIT (送信)] をクリックし設定を有効にします。

たとえば、ゲーム「Fighter Ace II」をIPアドレス192.168.2.3のコンピュータでプレイしたい場合、[Internal IP address (内部IPアドレス)]に「3」を入力します。コンピュータのMACアドレスを検出し、指定マックアドレスを入力します。[PortType (ポートタイプ)]に[TCP]を選択して、[Incoming Ports (受信ポート)]と[Destination Port (指定ポート)]に「50000」と「51000」を入力します。[SUBMIT (送信)]をクリックし設定を有効にします。他のゲームやサービスについては、各アプリケーションのユーザーマニュアルを参照してください。

よく利用されるポート

サービス	プロトコルのタイプ	ポート
HTTP (WEB サーバー)	TCP	80
FTP	TCP	20, 21
TELNET	TCP	23
SMTP (メールサーバー)	TCP	25
POP3 (メールサーバー)	TCP	110

IRC	TCP	6667
NNTP (Newsサーバー)	TCP	119

Port Triggering (ポートトリガ)

ポートトリガによりルータは特定のポートナンバーに対して出力されるデータを確認することができます。データ送信するコンピュータのIPアドレスはルータに記憶されるので、ルータを経由してリクエストされたデータが戻る場合、データはIPアドレスおよびポートマッピングルールによって特定のコンピュータに送信されます。ポートトリガが実行されると、ルータがポートを開放します。アプリケーションを実行するコンピュータがポートを経由したデータ送信をストップすると、ルータはポートを閉じます。

- [Enable (有効にする)] を選択します。
- [Application Name (アプリケーション名)] のフィールドに適切な名称および詳細を入力します。
- [Trigger Port (トリガポート)] のフィールドにポートナンバーを入力します。トリガポートについての詳細は、インターネットアプリケーションのプロバイダに確認してください。
- [Trigger Port Type (トリガポートタイプ)] にTCP (Transmission Control Protocol)かUDP (User Datagram Protocol)のいずれか、または両方のプロトコルを選択します。
- 開始ポート数と終了ポート数を各フィールドに入力して [Public Ports (パブリックポート)] の範囲を指定します。
- [Public Port Type (パブリックポートタイプ)] にTCP (Transmission Control Protocol)か UDP (User Datagram Protocol)のいずれか、または両方(TCPとUDP)を選択します。
- [SUBMIT (送信)] をクリックして設定を有効にします。


[SUBMIT (送信)] をクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

Static Routing (静的ルーティング)

静的ルートは手動で設定されたリモートネットワークへのルートです。このルートは事前設定され、動的ルーティングで使う *Routing Information Protocol* (RIP) により検出されません。静的ルーティングは IP アドレスまたはネットワークにゲートウェイを割り当ててを許可します。RIP 1 または 2 に対応しない内部ネットワークのルータがある場合は、これらのルータに対して静的ルートを設定することができます。

静的ルーティングを使うとネットワークトラフィックが減少するため、インターネット接続速度が遅い場合に役立ちます。静的ルートを使うルーティングはネットワークが小規模な場合に実用的ですが、大規模ネットワークでは、実際の配線が変わるたびにルータで変更の記録を動的に行なわなければならないため、動的ルーティング (RIP) の使用が推奨されます。

-  **注意:** 静的ルーティングの設定は経験のあるネットワーク管理者のみ行うことを推奨します。正しい値がはっきりわかっている場合を除き、これらの設定を変更しないでください。無効な情報を入力すると、設定ツールに接続できないことがあります。

静的ルーティングを使うには、Static Routing Table (静的ルーティングテーブル) に追加する各ルートの送信先 IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイ IP アドレスを手動で入力し、[**ADD** (追加)] をクリックします。ネットワーク全体にルーティングする場合は、送信先 IP アドレスの末尾をゼロ (0) にします。(例: 192.168.0.0)

-  **注意:** 静的ルーティングでは、ワイヤレスブロードバンドルータは動的にルーティングの情報を検出せず、また RIP を使いません。ワイヤレスブロードバンドルータは、現在 RIP をサポートしません。

Static Routing Table (静的ルーティングテーブル) から静的ルートを削除するには、各ルートの横にあるボックスおよび [DELETE (削除)] ボタンを使います。

[SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

Administration Settings (管理設定)

パスワードの設定

ワイヤレスブロードバンドルータでネットワーク設定を変更するには必ず、パスワードを使ってユーザーの認証を行います。現在のパスワードを変更するには、[Change Your Password (パスワードの変更)] を選択し、[New Password (新しいパスワード)] と [Retype Password (パスワードを再入力する)] フィールドの両方に新しいパスワードを入力します。パスワードを書き留め、将来参照するために安全な場所に保管しておいてください。

システム管理

• HTTPポートナンバー

特に理由がない限り、[HTTP port (HTTP ポート)] 値を変更しないでください。通常、ウェブサーバは受信ウェブリクエストをポート 80 で監視します。

• リモートユーザーによるデバイスの設定を許可

インターネットを介してワイヤレスブロードバンドルータを管理する権限をリモートユーザに与える場合は、[Allow remote user to configure the device (リモートユーザーによるデバイスの設定を許可)] を選択します。ユーザーのホストコンピュータに IP アドレスを入力します。

• リモートユーザーにデバイスの「ping」を許可する

ワイヤレスブロードバンドルータがインターネットでユーザーによる「ping」を許可する場合、[Allow remote user to ping the device (リモートユーザーにデバイスの「ping」を許可する)] ボックスにチェックマークを付けます。他のインターネットユーザーにワイヤレスブロードバンドルータの状態のチェックを許可する場合、この機能は便利です。

• UPnP機能を有効にする

UPnP は、Universal Plug and Play の省略で、Windows XP などの UPnP を有効にしているクライアントコンピュータがワイヤレスブロードバンドルータを見つけて設定できるプロトコルです。ルータにおける最も一般的な UPnP の使用法は、ポートを開いてアプリケーション別のデータをルータ内の様々なインターネットサービスやゲームアプリケーションへ転送する場合です。UPnP を有効にしているクライアントコンピュータによって、ルータ検出およびルータ設定プロセス MSN Messenger などの UPnP を自動的に実行することができるので、手動で実行する必要がありません。[Enable UPnP Function (UPnP 機能を有効にする)] ボックスでこの機能を有効にしたり、また無効にすることができます。

Windows XP(またはWindows ME)を使用している場合は、ルータのUPnP機能が有効であれば、それらでルータへの接続および制御が実行できます。以下に、Windows XPでUPnP機能が有効になっている場合について説明します。

例1) IPアドレスが不明でルータのWebコンフィギュレーションツールに接続する

□□□ デスクトップの [My Network Neighborhood (マイネットワーク)] アイコンをダブルクリックします。

□□□ ルータ用に作成した [Broadband Router ([ブロードバンドルータ)] アイコンをダブルクリックします。

Windows XPを使用している場合は、ルータのUPnP機能が有効であれば、それらでルータへの接続および制御が実行できます。以下に、Windows XPでUPnP機能が有効になっている場合について説明します。



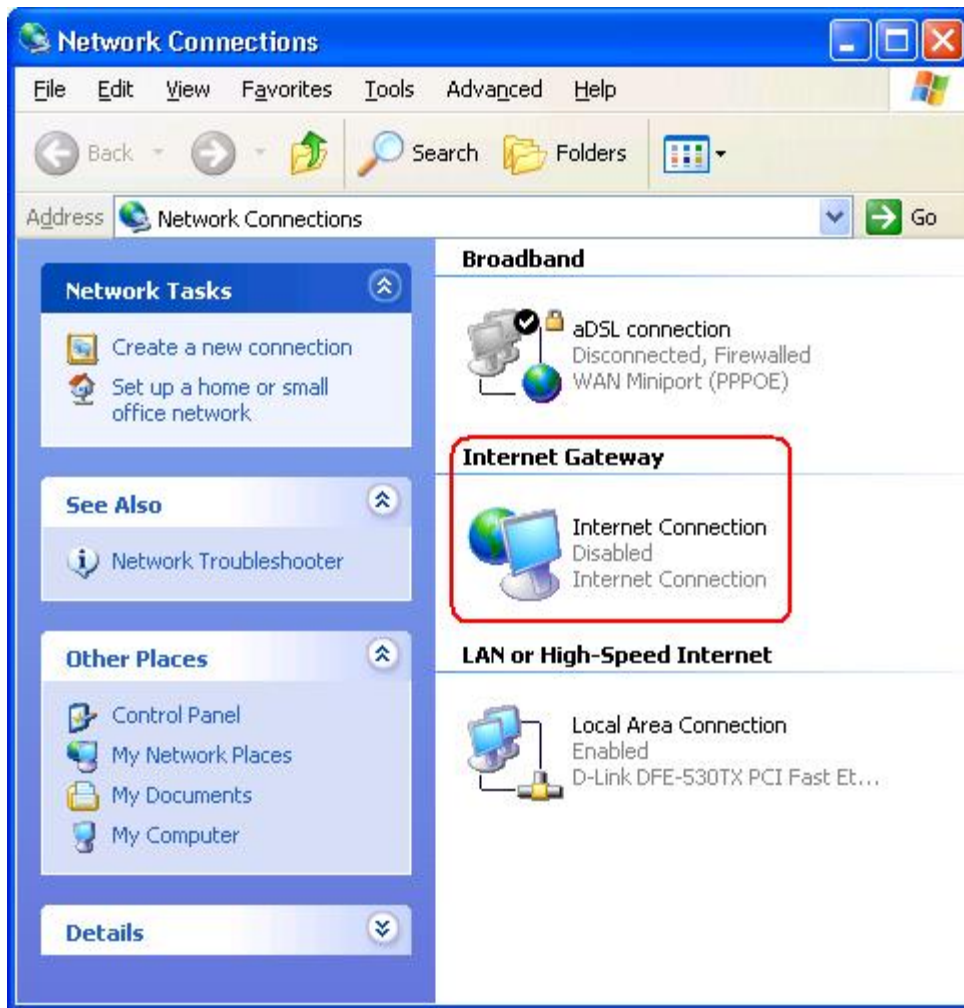
- 次に、ルータのWeb コンフィギュレーションツールの認証スクリーンが表示されますから、正しいパスワードを入力し、OKをクリックします。これでWebコンフィギュレーションツールに接続できます。



例2) XPインターフェースからルータのポート転送ルールを管理する

注意: すでにWebコンフィギュレーションツールを使用してポート転送ルールを管理している場合は、次の操作は必要ありません。

- デスクトップの [My Network Neighborhood (マイネットワーク)] アイコンを右クリックします。
- ルータ用に作成した [Internet Connection (インターネット接続)] アイコンを右クリックします(下図参照)。



- アイコンを右クリックし、 [Property (プロパティ)] を選択します。
- [Settings (設定)] をクリックします。
- [Add (追加)] をクリックします。
- サービスの種類、サービスホストのIPアドレス、このサービスに使用する外部ポートナンバー、このサービスに使用する内部ポートナンバーを入力し、TCPまたはUDPを選択します。

下のグラフはIPアドレスが192.168.2.101のコンピュータでパブリックHTTPサーバをホストする場合の例です。

Service Settings

Description of service:
HTTP

Name or IP address (for example 192.168.0.12) of the computer hosting this service on your network:
192.168.2.101

External Port number for this service:
80 TCP UDP

Internal Port number for this service:
80

OK Cancel

□□□ OKをクリックし、変更を保存します。

[SUBMIT (送信)] をクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

コントロールユーティリティによるルータの設定: Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーガイド

- ▶ [ネットワークの概要](#)
- ▶ [ワイヤレスの設定](#)
- ▶ [ネットワーク接続コントロール](#)
- ▶ [ゲーム](#)
- ▶ [リモートアクセス](#)
- ▶ [管理](#)
- ▶ [診断](#)
- ▶ [詳細設定](#)

ネットワークの概要

本メニューの情報では、ネットワークの状況の一般的概要について説明します。ルータとの接続状況は、画面の左側に表示されます。リフレッシュボタンをクリックすると状況がアップデートされます。また、下記の基本事項が画面の右側に表示されます。

- 操作モード
- 接続タイプ
- インターネットIPアドレス
- WAN MACアドレス
- LAN IPアドレス
- ネットマスク
- ネットワーク名 (SSID)
- WEP 機能

[トップに戻る](#)

ワイヤレス設定

ワイヤレスネットワークを有効にするには、ネットワーク名とチャンネルが必要です。

- **[Network Name (SSID) (ネットワーク名)]** は、独自のネットワーク名で、SSID (Service Set Identifier)とも呼ばれ、WLANを指定するのに使用されます。モバイルデバイスがルータに接続する際、ユーザーは先ずルータのSSIDを知っておく必要があります。
- **[Channel (チャンネル)]** は周波チャンネルで、これを通して通信転送が実行されます。操作チャンネル数はドメインによって異なります。

ワイヤレスブロードバンドルータはワイヤレスの安全性を高めるため、詳細機能を提供し、データの機密性を保証するほか、データが変更されるのを防ぎます。セキュリティ機能を有効にする場合は、[**Enable Wireless Security** (ワイヤレスセキュリティを有効にする)] ボックスを選択し、[**Network Authentication** (ネットワーク認証)] で **WEP** または **WPA** を選択してください。

WEP

Wired Equivalent Privacy (WEP) 暗号化は、802.11 標準で使用され、アクセス侵入者からのワイヤレス通信を防ぎます。WEPはワイヤレスクライアント（例えばワイヤレスPCカード搭載のノートパソコン）とルータ間で共有される暗号化キーを作成する方法を提供します。このキーは転送される前にデータを暗号化します。WEPは40(64)ビット キーまたは104(128)ビットキーで実行されます。基本的にキーが長いほどデータの安全性が高まります。安全性を強化するためにキーを頻繁に変更するようにしてください。ワイヤレスデバイスにおいてキーを変更する際は、ネットワーク内のすべてのワイヤレスデバイスおよびアクセスポイントのキーも変更してください。

- キーフォーマット: ASCII または16進数のフォーマットのいずれかとなります。16進数は0 から 9の数字とA からFのアルファベットで、ASCIIフォーマットではすべての文字の入力が可能です。
- 鍵長: 40(64)ビットまたは104(128)ビットのいずれかとなります。ワイヤレスネットワークカードによっては、40(64)ビット暗号化のみが有効です。すべてのクライアントが104(128)ビットでしか通信できない場合は、104(128)ビットを選択してください。クライアントが 40(64)ビットでしか通信できない場合は、40(64)ビットを選択してください。
- キー1、キー2、キー3、キー4: ワイヤレスブロードバンドルータに保存するため、フィールドに4つの異なるキーを入力します。40(64)ビット暗号化を選択する場合は、5文字(または16進数を 10文字)のWEPキーを、104(128)ビット暗号化を選択する場合は、13文字(または 16進数を26文字)のWEPキーを入力してください。
- デフォルトキー: 暗号化ドロップダウンリスト中の4つのデフォルトキーから1つを選択します。

WPA

WPAは、ワイヤレスネットワークの安全性を高めるため、WEP (Wired Equivalent Privacy) をアップグレードしたものです。

WPAを利用してワイヤレスネットワークの安全性を強化する場合は、以下が必要です。

- Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータでWPAを有効にする。
- ワイヤレスクライアントをサポートするWPA。Dell TrueMobileワイヤレスクライアントをご使用の際は、<http://support.dell.com>で、ワイヤレスクライアントをサポートするWPAが有効なソフトウェアの更新の可能性を確認してください。

フィールドに必要なパラメーターを入力します。

• WPA Pre-shared キー

WPA Pre-Shared キー (PSK) はパスワードが入力されるフィールドです。すべてのワイヤレスクライアントはネットワークに接続するためにこのパスワードを入力する必要があります。 キーフォーマットはワイヤレスクライアントの設定に合わせるようにしてください。

• キーフォーマット

キーフォーマットボックスには16進数 (0-9 の数字とA-Fのアルファベットのみ)とASCII(すべての文字、数字、シンボル)の2つのリストがあります。キーに適切なフォーマットを選択します。ワイヤレスクライアントが上記のうち片方のみをサポートしている場合は、サポートされている方法を選択するようにしてください。

- **WPA グループ再入力インターバル**

WPAグループ再入力インターバルは、暗号化キーのローテーションの回数を指定するのに利用されます。数が小さければ小さいほど暗号化キーがローテーションされますが、数字が小さすぎるとワイヤレスネットワークがスローダウンします。

- **WPA 暗号化**

WPA暗号化には二種類あり、**TKIP** (Temporal Key Integrity Protocol) は最も一般的な暗号化方法で、**AES** (Advanced Encryption Standard) は、ワイヤレスクライアントがTKIPをサポートしていない場合に使用できません。

[**Factory Default Value** (出荷時のデフォルト値)] をクリックしてワイヤレス設定を出荷時のデフォルト値にリセットします。

[**Apply** (決定)] をクリックして設定を保存します。

[**Restore** (再起動)] をクリックして設定を保存します。

[トップに戻る](#)

ネットワーク接続コントロール

ボタン	アクション
Add (追加)	[Add (追加)] をクリックすると新エントリがリストに追加されます。
Edit (作成)	[record needs to be modified in the list (リスト中の記録を修正する)] を選択し、 [Edit (作成)] をクリックするとダイアログボックスが表示されます。
Delete (削除)	リストから記録を削除する場合は、削除する記録を選択し、 [Delete (削除)] ボタンをクリックします。
Delete All (すべてを削除)	[Delete All (すべてを削除)] をクリックすると、リストからすべての記録を削除します。
Restore (再起動)	[Restore (再起動)] をクリックすると設定が保存されます。

親コントロール

インターネット中の不適當な情報について懸念が高まる中、ルータは不適當なウェブサイト (例えば性や暴力に関するサイト)のアクセスを防いだりブロックする機能を提供します。親コントロールによってクライアントがアクセスできるウェブサイトを指定することができます。クライアントがいつインターネットにアクセスできるかを指定することもできます。

新エントリの追加手順


- [**Enable Parental Control** (親コントロールを有効にする)] を選択します。
- [**Add** (追加)] をクリックすると [**Parental Control** (親コントロール)] ウィンドウが表示されます。
- コントロールするコンピュータのIPアドレス (例えばクライアント) を [**Host IP** (ホストIP)] のフィールドに入力します。
- [**Internet Access** (インターネット接続)] リストから [**Allowed** (許可)] または [**Denied** (拒否)] を選択します。

- 時間の [**Interval** (インターバル)] を決定します。これでインターネット接続コントロールの時間を決定または指定する場合は、 [**Permanent** (パーマネント)] をクリックします。
- ウェブ接続について [**Allowed** (許可)] または [**Denied** (拒否)] を選択します。
- [**Website URL** (ウェブサイトURL)] フィールドにURLを入力してどのウェブサイトを許可または拒否するかを指定します。
- [**OK**] ボタンをクリックして決定するか、 [**Cancel** (キャンセル)] をクリックして変更を中止して終了します。
- 画面下の [**Apply Parental Control Settings** (親コントロール設定)] をクリックして新しい設定を有効にします。

MAC

この機能は、ワイヤレスローカルエリアネットワーク(WLAN) 内で特定のMAC (Media Access Control) アドレスがネットワークにアクセスできないように指定します。

新エントリーの追加手順

- [**Enable MAC Access Control** (MACアクセスコントロールを有効にする)] を選択し、 [**MAC Access Control Settings** (MACアクセスコントロール設定)] ウィンドウが表示します。
- [**Add** (追加)] をクリックすると [**MAC Access Control: Add Entry** (MACアクセスコントロール: 追加入力)] ウィンドウが表示されます。
- [**Host MAC** (ホストMAC)] ボックスにアクセスを許可または拒否するMACアドレス (例えば00:11:22:33:44:55) の16進数を入力します。
- [**Operating Type** (操作タイプ)] リストから [**Grant** (許可)] または [**Deny** (拒否)] を選択します。 [**Grant** (許可)] を選択すると、このMACアドレスを持つデバイスがネットワークにアクセスすることができ、他のMACアドレスはアクセス不可能となります。
 -  **注意:** すべての記録に関する操作タイプを [**Grant** (許可)] または [**Deny** (拒否)] する必要があります。
- [**OK**] をクリックして決定するか、 [**Cancel** (キャンセル)] をクリックして変更を中止して終了します。
- 選択された記録をクリックし、再び [**Host Name** (ホスト名)] をクリックし、この記録に適切な名称を入力します。
- 画面下の [**Apply MAC Control Settings** (MACコントロール設定を決定)] をクリックして新しい設定を有効にします。

[トップに戻る](#)

ゲーム

ルータのファイヤーウォール機能によってはゲームが正しく機能しない場合があります。 [**Gaming**] メニューの設定リストがこの問題を解決します。ここでは、ゲームのデバイス設定について説明します。

TrueMobile2300ルータには、LAN側のコンピュータにインターネット接続するようリクエストされていないデータを拒否するNetwork Address Translation (NAT)ファイヤーウォールが一体化されています。基本的にデータ要求されないと、データはファイヤーウォールから通過できません。e-mailやウェブブラウザのようなアプリケーションでは、コンピュータがe-mailやウェブページのデータを受信するようリクエストするため、このNATの影響は受けません。しかし、アプリケーション(例えばインターネットによるメッセージ通信やゲームアプリケーション) によっては正しく機能しない場合があります。これは、データリクエストがコンピュータでなく、インターネット外のデバイス/コンピュータに

由来しており、NATファイアウォールがこれらのアプリケーションに必要なデータをブロックするためです。

ポート転送設定

[**Gaming** (ゲームメニュー)] では、データ要求されていないデータの特定ポートやプロトコルがコンピュータにアクセスできないようにするカスタムルールを設定できます。ゲームとプロトコルタイプ (TCPかUDP、または両方) はどのゲームサーバーを使用しているかに よります。下記のポート設定をするようにしてください。

インフォメーション: ポートナンバー

ポートナンバーはプロトコルやサービスを指定します。0から1023が最も一般的に使用されるポートナンバーで、特定のサーバーの標準ポートとされています。例えば、ポート80は一般的にHTTPトラフィックを示します。1024から49151は多目的に使用されますが、49152から65535はDynamic/Privateポート (使用はまれ) です。コマンドラインに [**netstat -a**] と入力して現在のIP接続状況を確認することができます ([**Start** (スタート)]、 [**Run** (ファイル名を指定して実行)] の順にクリックし、 [**cmd**] と入力しエンターキーを押します。コマンドプロンプトが表示されたら、 [**netstat -a**] と入力します) 。すべての接続とポートのリストを表示します。


- 画面下の [**Add** (追加)] をクリックすると [**Gaming: New Record** (ゲーム:新しい記録)] のウィンドウが表示されます。(以下を参照)

ゲームのプロフィールをリスト中に作成する場合は、変更するプロフィールを選択し、 [**edit** (作成)] をクリックすると、 [**Gaming: Edit Record** (ゲーム:記録作成)] ウィンドウが表示されます。

ゲームプロフィールをリストから削除する場合は、削除するプロフィールを選択し、 [**Delete** (削除)] をクリックしてリストから削除します。

すべてのゲームプロフィールをリストから削除する場合は、リストから [**Delete All** (すべてを削除)] をクリックしてすべてのエントリーを削除します。

- [**Game Description** (ゲームの詳細)] フィールドに適切な名称または詳細を入力します。
- ゲームのデバイスの IP アドレス(例えばdesktop PC) を [**Computer IP for gaming** (ゲームのコンピュータIP)] フィールドに入力します。
- [**Protocol Type** (プロトコルタイプ)] リストから転送プロトコルを選択します。ここで表示されるオプションはTCP (Transmission Control Protocol)かUDP (User Datagram Protocol)、または両方です。
- 受信ポートナンバーを [**Incoming Port No** (受信ポートナンバー)] フィールドに入力し、 [**Outgoing Port No** (送信ポートナンバー)] (別名 [**Destination Port** (指定ポート)]) フィールドに入力します。以上の情報は通常ゲームサービスプロバイダから提供されます。

 **注意:** ポートの最小ナンバーは0で、最大ポートナンバーは65535です。

例えば、オンラインゲーム「Diablo II」 (Battle.net) をIPアドレス192.168.2.3のPCでプレイする場合は、ホストIPフィールドに [**192.168.2.3**] と入力します。プロトコルタイプリストから [**Both** (両方)] を選択し、受信ポートナンバーフィールドと送信ポートナンバーフィールドに **4000** または **6112-6119** と入力します。

- [**State** (状況)] リストからゲームを [**Enable** (有効にする)] または [**Disable** (無効にする)] を選択します。
- [**OK**] をクリックして決定するか、 [**Cancel**] をクリックして変更を中止して終了します。

アプリケーションによっては、ファイアーウォールの後方で実行すると問題が生じる場合があります。この場合は、アプリケーションを実行するコンピュータを物理的にルータのDMZ（非武装地帯）機能を通してファイアーウォールの外に置きます。

ルータのDMZにコンピュータを置くとルータがすべてのルータポートを通してすべてのデータがコンピュータに送信されます。こうしてコンピュータのNATファイアーウォールが無効にされると、コンピュータの安全性が低下し、アクセス侵入を受けやすくなります。このため重要データの保存されていないコンピュータでのみ実行するようにしてください。

- [**Enable DMZ Host**（DMZホストを有効にする）] を選択します。
- ゲームアプリケーションを実行するコンピュータのIPアドレスを [**DMZ IP Address**（DMZ IP アドレス）] フィールドに入力します。

[トップに戻る](#)

リモートアクセス

リモートユーザーのデバイス設定を許可する

ネットワークを通してリモートサイトからデバイスを設定できるようにします。

- [**Allow remote user to configure the device**（リモートユーザーのデバイス設定を許可する）] をクリックします。
- リモート管理ホストのIPアドレスをフィールドに入力します。
- ルータで使用されるHTTPポートナンバーを [**HTTP port number**（HTTPポートナンバー）] フィールドに入力します。
- [**Apply**（決定）] をクリックして設定を保存するか、 [**Restore**（再起動）] を押して設定を保存してください。

リモートユーザーのデバイス「ping」入力を許可する

WAN設定の「ping」入力ができるようにします。デフォルト設定はできません。ルータは「ping」リクエストに応答しないため、WANポートはポートスキャナに検出されません。このようにしてネットワークの安全性を強化します。

- WANポートをインターネットに反映する場合は、 [**Allow remote user to ping the device**（リモートユーザーのデバイスピン入力を許可する）] を選択します。
- [**Apply**（決定）] をクリックして設定を保存するか、 [**Restore**（再起動）] を押して設定を保存してください。

[トップに戻る](#)

管理

パスワードの変更

アクセス権のない人がアクセスして設定を変更するのを防ぐために、デバイスはパスワードで保護されています。出荷時のデフォルトパスワードを変更することを強く推奨します。

- [**Change Password**（パスワードの変更）] をクリックすると、 [**Password Settings**（パスワードの設定）] のウィンドウが表示されます。
- [**Original Password**（元のパスワード）] のフィールドに元のパスワードを入力します。
- [**New Password**（新しいパスワード）] のフィールドに新しいパスワードを入力し、 [

Confirm Password (パスワードの確認)] に再入力して確認します。

- [**password hint message** (パスワードのヒントメッセージ)] のフィールドにパスワードのヒントメッセージを入力します。
- 設定が完成したら [**Submit** (送信)] をクリックします。フィールド内の入力情報をクリアにする場合は [**Cancel** (キャンセル)] をクリックします。

システム復元

コンフィギュレーション設定は、「TrueMobile Profile (.pro)」ファイルに保存されています。必要時にこれらのバックアップファイルを復元できます。システム復元の4つのボタンは以下の通りです。

- 現在のシステム設定をファイルに保存する - 現在の設定を適切なディレクトリに「pro」ファイルと保存します。
- システム設定をマニュアルでロードする - 設定を保存するためにバックアップファイルをロードします。
- コンフィギュレーションファイルリストから選択 - 設定ファイルを保存する際、ルータが自動的に記録をファイルに追加します。このリストから設定ファイルを選択することができます。ファイルを保存したディレクトリを検出する必要はありません。
- 出荷時のデフォルト設定値にリセットする - ルータをデフォルト設定値にリセットします。

新しいファームウェアのアップグレード

ファームウェアをアップグレードするには [**Upgrade to New Firmware** (新しいファームウェアのアップグレード)] をクリックします。Dellのウェブサイトに接続され、最新のファームウェアにアップグレードできます。尚、ルータが正常に起動していればファームウェアをアップグレードする必要はありません。

[トップに戻る](#)

診断

[**Diagnostics** (診断)] メニューでネットワーク接続の現在の状況を観察できます。画面下の [**Start Diagnostics** (診断開始)] をクリックするとネットワーク診断が実行されます。

診断が終了すると画面上にインターネット接続状況の結果が表示されます。ネットワーク内の [**LAN Hosts** (LANホスト)] と [**Wireless Hosts** (ワイヤレスホスト)] の情報(例えばホスト名、IPアドレス、MACアドレス、接続状況)が表示されます。

[トップに戻る](#)

詳細設定

ルータの詳細設定をするには [**Login** (ログイン)] をクリックし、ウェブベースの設定ツールにログインします。ウェブベースの設定ツールは、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータで可能なすべてのネットワーク設定をセットアップすることができます。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



FAQ

ハードウェアのインストール

- ▣ [対象エリアを最適化するために、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータをどのようにインストールしますか？](#)
- ▣ [Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータで使用できるワイヤレス、有線、インターネットユーザーの最大数はいくつですか？](#)
- ▣ [Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータはハブ、スイッチ、またはルータに接続できますか？](#)
- ▣ [Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータから有線ネットワークへの物理的接続とは何ですか？](#)

[ソフトウェアの設定](#)

[インターネットの設定](#)

[ワイヤレスの属性](#)

[サポートされる機能](#)

[トラブルシューティング](#)

[その他](#)

用語集

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの管理方法を教えてください。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、Windows ベースのセットアップウィザード、コントロールユーティリティプログラム、またはウェブベースのコンフィギュレーションツールを使用してコンピュータで管理できます。詳細については、『ユーザーズガイド』の [Managing your Router \(ルータの管理\)](#) セクションを参照してください。

Dell TrueMobile 2300 の MAC アドレスをどのように検出できますか？

ウェブベースのコンフィギュレーションツールにある [Device Status (デバイスステータス)] に MAC アドレスが表示されます。ウェブベースのコンフィギュレーションツールから、[Device Status (デバイスステータス)] タブをクリックします。WAN と LAN の両ポートに別々の MAC アドレスが割り当てられます。

インターネットサービスプロバイダ (ISP) からインターネットプロトコル (IP) の設定をどのように取得しますか？

- ケーブル/xDSL モデムが正しくワイヤレスブロードバンドルータに接続されていることを確認します。
- モデムの電源をいったん切ってから再度入れて、ケーブル/xDSL モデムをリセットします。
- 動的 IP アドレスを使用している場合は、ケーブル/xDSL モデムが DHCP 対応であることを確認します。詳細情報は、モデムのマニュアルを参照してください。
- 一部の ISP では、MAC アドレスを登録する必要があります。
 - WAN イーサネット MAC アドレスを表示するには、ウェブベースの設定ツールを起動し、[Device Status (デバイスの状況)] タブをクリックします。
 - [Device Status (デバイスの状況)] ページに記載されているものとは異なる WAN イーサネット MAC アドレスを ISP が必要とする場合は、ユーザズガイドのベーシック設定にある [ケーブル/xDSL ISP 設定](#) を参照してください。
- DSL 回線において、ISP がユーザー名およびパスワードの入力を必要とする場合は、以下の手順に従います。
 - ☞ **注意:** この情報はケーブルモデムユーザーの場合必要です。
 - ウェブベースの設定ツールを起動します。
 - [Basic Settings (ベーシック設定)]、[Cable/xDSL ISP Settings (ケーブル/xDSL ISP 設定)] タブの順にクリックします。
 - 指定されたフィールドにユーザー名およびパスワードを入力します。
 - 変更を有効にし、コンピュータを再起動するには、[Save / Restart (保存して再起動)] ボタンをクリックします。
- ケーブル接続で ISP がホストコンピュータ名またはドメインネームを必要とする場合、
 - ウェブベースの設定ツールを起動します。
 - [Basic Settings (ベーシック設定)]、[Cable/xDSL ISP Settings (ケーブル/xDSL ISP 設定)] タブの順にクリックします。
 - 指定されたフィールドにホストコンピュータ名を入力します。
 - 変更を有効にし、コンピュータを再起動するには、[Save / Restart (保存して再起動)] ボタンをクリックします。

TCP/IP をどのようにインストールしますか？

通常、有線またはワイヤレスネットワークアダプタがインストールされている場合、TCP/IP もインストールされています。TCP/IP がコンピュータにインストールされていない場合は、ネットワークアダプタ付属のマニュアルを参照してください。

同様に、標準インストールではコンピュータが IP アドレスやその他のインターネットプロトコル情報を DHCP サーバから自動的に取得するように設定されます。

Point to Point Protocol over Ethernet (PPPoE) をどのように有効にしますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは PPPoE をサポートします。PPPoE サポートを設定するには以下の手順に従います。

- ウェブベースの設定ツールを起動します。
 - [Basic Settings (ベーシック設定)], [Cable/xDSL ISP Settings (ケーブル/xDSL ISP) 設定] タブの順にクリックします。
 - PPPoE の [Enable (有効にする)] オプションをクリックします。
 - インターネットサービスプロバイダ (ISP) が指定する通りにユーザー名およびパスワードを入力します。
 - 変更を有効にし、コンピュータを再起動するには、[Save / Restart (保存して再起動)] ボタンをクリックします。
 - PPPoE がオンになっていて接続状況が正常であることを確認するには、[Device Status (デバイスの状況)] タブをクリックします。
-

動的 IP アドレスまたは静的 IP アドレスのいずれかに Dell TrueMobile 2300 をどのように設定しますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、静的または動的 IP アドレスのどちらにも設定できます。

静的 IP アドレスの場合：

- コンピュータの IP アドレスに、アクセスポイントと同じアドレスのネットワークセグメントを使用しなければなりません。たとえば、ルータのデフォルト IP アドレスを使用する場合、コンピュータの IP アドレスは 192.168.2 で始まる必要があります。
- コンピュータのサブネットマスクは、アクセスポイントのサブネットマスクと同じです。
- コンピュータのゲートウェイ IP アドレスは、アクセスポイントの IP アドレスと一致しなければなりません。
- ISP から割り当てられた IP アドレスが、コンピュータの DNS IP アドレスに一致することを確認してください。

動的 IP アドレスの場合：

- コンピュータが DHCP サーバから IP アドレスを正常に取得したことを確認します。DOS コマンドプロンプトを開き、「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。
- コンピュータのネットワークアドレスをアクセスポイントのアドレスと比較します。コンピュータの IP アドレスは、192.168.2 で始まります。アクセスポイントの現在の IP アドレスを検索するには、ウェブベースの設定ツールを起動します。[Device Status (デバイスの状況)] タブをクリックします。



注意: WLAN に接続されたデバイスの場合、DHCP サーバから動的に IP 設定を取得することを推奨します。

ブロードバンド接続がない場合どうするといいですか？

インターネットに接続するには、ローカルのISPのブロードバンドを使用して再度設定するよう推奨されます。しかし、既存ネットワークに別のワイヤレスまたは有線コンピュータを接続したり、または別のLANを作成する場合は、TM 2300ルータをアクセスポイントとして設定することができます。ルータをアクセスポイントとして設定する方法については、ユーザーズガイドの [アクセスポイントモードへの変換方法](#) を参照してください。

用語集

- ▶ [アクセスポイント](#)
- ▶ [ケーブルモデム](#)
- ▶ [クライアント](#)
- ▶ [ドメインネームサーバ \(DNS\)](#)
- ▶ [Dynamic Host Configuration Protocol \(DHCP\)](#)
- ▶ [暗号化](#)
- ▶ [イーサネット](#)
- ▶ [イーサネットアドレス \(MAC アドレス\)](#)
- ▶ [ホスト](#)
- ▶ [インターネットプロトコル \(IP\)](#)
- ▶ [インターネットサービスプロバイダ \(ISP\)](#)
- ▶ [IP アドレス](#)
- ▶ [リンクランプ](#)
- ▶ [LAN](#)
- ▶ [ネットワーク アダプタ](#)
- ▶ [ネットワークアドレス変換 \(NAT\)](#)
- ▶ [ネットワーク名 \(SSID\)](#)
- ▶ [Point to Point Protocol over Ethernet \(PPPoE\)](#)
- ▶ [ポート](#)
- ▶ [プロトコル](#)
- ▶ [Transmission Control Protocol/Internet Protocol \(TCP/IP\)](#)
- ▶ [Virtual Local Area Network \(VLAN\)](#)
- ▶ [仮想サーバ](#)
- ▶ [Wide Area Network \(WAN\)](#)
- ▶ [ワイヤレスローカルエリアネットワーク \(WLAN\)](#)
- ▶ [xDSL モデム](#)

[FAQ](#)

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータの実使用範囲はどれくらいですか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの各マイクロセルの対象エリア内にある物理的な障害物や干渉の有無によって異なります。開けた場所、最適条件、および最小スループットの回線の場合、標準範囲は直線で約 450 メートルです。一般的な家庭やオフィス、ビジネス環境において、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータが現実的に最適なスループットを維持できる範囲は約 45 から 65 メートルです。

システムの送受信範囲は事実上無限です。携帯電話システムのように、マイクロセルがオーバーラップするように複数のアクセスポイント (Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ) をセットアップすることにより拡張されます。このため、ローミング、最大スループット、冗長、干渉問題の低減、通信信頼性の向上により、事実上無限の範囲をカバーすることが可能となります。

信号は壁越しに通信できますか？

はい、信号はガラス、セメント、木材、レンガなど多くの障壁を通過します。

どのようなデバイスが干渉を起こしますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータおよびワークステーションのアダプタは、無免許で使用できる 2.4 ギガヘルツ (GHz) 帯域で動作します。この周波数範囲で稼動する他のデバイスで干渉を起こす可能性のあるものには、電子レンジや 2.4GHz のコードレス電話機等があります。PCS やアナログ携帯電話は、2.4 GHz で稼動しないので干渉を起こしません。通常は、アクセスポイントを適切に配置することにより、他の 2.4 GHz デバイスによって起こる干渉問題を回避できます。

Dell TrueMobile 2300 を使って他のサブネットにローミングできますか？

別のサブネットにローミングするには、Virtual Local Area Network (VLAN) を導入して、すべてのアクセスポイントを 1 つの VLAN に設置することをご検討ください。

Dell TrueMobile 2300 は2つ以上のイーサネット LAN をブリッジできますか？

Dell TrueMobile 2300は、ポイントからポイントへのブリッジ状況またはマルチポイントのブリッジ状況（3つのリモートロケーション）をサポートします。ポイントからポイントまたはポイントからマルチポイントAP/ブリッジモードは、ブリッジのもう一方の末端に同様の製品（Dell TrueMobile 2300）を使用する必要があります。

Dell TrueMobile 2300 はリピータ機能をサポートしますか？

はい、Dell TrueMobile 2300を使用して適用範囲をシングルセグメントによる限度以上に拡大することができます。

Dell TrueMobile 2300 は統合ワイヤレスアダプタと DELL 以外のベンダーのワイヤレスアダプタを装備したノートパソコンをサポートしますか？

いくつかのコンピュータメーカーは、アドオンオプションとして 802.11b/g ワイヤレスアダプタを提供しています。さらに、802.11b/g ワイヤレスアダプタの製造メーカーも何社かあります。アダプタが WiFi*(TM) 認定の場合は、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータと相互運用できるはずですが。

Dell TrueMobile 2300 はオプションのアンテナをサポートしていますか？

Dell TrueMobile 2300 は、オプションのアンテナに対応できません。

Dell TrueMobile 2300 は VPN をサポートしますか？

はい、Dell TrueMobile 2300 は PPTP、IPSec、L2TP VPN パススルーをサポートします。

Dell TrueMobile 2300 は MAC アドレスのフィルターをサポートしますか？

はい、Dell TrueMobile 2300 は MAC アドレスのフィルターをサポートします。

Dell TrueMobile 2300 は個別のゲームポート設定をサポートしますか？


はい、Dell TrueMobile 2300 は個別のゲームポート設定をサポートします。

Dell TrueMobile 2300 は RIP をサポートしますか？

いいえ、Dell TrueMobile 2300 は現在、*RIP* をサポートしていません。

Dell TrueMobile 2300 を MAC 環境で操作できますか？

Dell TrueMobile 2300 は Macintosh 環境でも使用できます。ただし、ウェブベースのコンフィギュレーションツールを使用するには、Microsoft Internet Explorer 4.0以降 または Netscape Navigator 4.0 以降が必要です。Dell は Macintosh 環境でのサポートはいたしません。



Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータを介してインターネットにアクセスできません。 どうするといいいですか？

コントロールユーティリティを使用して、まずどこで接続が切断しているか見つけます。接続ステータスウィンドウに表示される矢印で確認できます。またはこの手順を無視して、次の状況を確認することもできます。

コンピュータとルータ間に接続障害がある場合、コンピュータがネットワークに接続していることを確認します。

- ワイヤレスネットワークの接続状況を確認するには、ウェブベースのコンフィギュレーションツールを起動して、[**Device Status (デバイスの状況)**] タブをクリックします。
- ネットワークアダプタが正しくインストールされていることを確認します。詳細については、アダプタに同梱されていたドキュメントを参照します。
- TCP/IP スタックが正しくインストールされていることを確認します。
- コンピュータのネットワークケーブルが接続されていることを確認します。
- コンピュータの IP 設定が正しく設定されていることを確認します。DOS コマンドプロンプトウィンドウを開き、「ipconfig」と入力し、Enter キーを押します。
 - コンピュータの IP アドレスは、アクセスポイントと同じネットワーク拡張子を使用する必要があります。たとえば、アクセスポイントのデフォルト IP アドレスでは、コンピュータの IP アドレスは 192.168.2.2 から 192.168.2.254 の範囲にある必要があります。Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ IP 設定を表示するには、ウェブベースのコンフィギュレーションツールを起動します。[**Device Status (デバイスの状況)**] タブをクリックします。
 - コンピュータのサブネットマスクは、アクセスポイントのサブネットマスクと同じです。
 - コンピュータのゲートウェイ IP アドレスは、アクセスポイントの IP アドレスと一致しなければなりません。
 - ISP から割り当てられた IP アドレスが、コンピュータの DNS IP アドレスに一致することを確認してください。

ワイヤレスブロードバンドルータとインターネット間に接続障害がある場合：

- ケーブルまたは DSL モデムが正しく挿入され、電源が入っていることを確認します。
- ケーブルまたは DSL モデムが、ケーブルまたは電話線に接続していることを確認します。はっきりしない場合、モデムに同梱されていたドキュメントを参照します。
- ケーブルまたは DSL モデムが、TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのインターネットポートに正しく接続していることを確認します。

インターネットサイトを表示してみます。普段使用しているインターネットのサイトを開き、そのページが表示できることを確認します。表示できる場合、ワイヤレスブロードバンドルータを介してインターネットにアクセスできます。

コンピュータが Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータに接続されていません。 どうするといいいですか？

- LAN (イーサネット) ケーブルがルータに正しく挿入されているかどうか確認します。ルータに同梱されている『クイックスタートガイド』を参照してください。

□□□ ウェブブラウザが、プロキシサーバを介してインターネットにアクセスするように設定されていないことを確認します。確認するには、エクスペローラで、[ツール]、[インターネットオプション]、の順にクリックし、次に [接続]、[LAN 設定] ボタンをクリックします。すべてのボックスが選択されていないことを確認します。

□□□ ルータの背面から電源コードを取り外し 5 秒待ってから、再度差し込みます。

□□□ ワイヤレスネットワークで接続している場合、コンピュータと Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの SSID (ネットワーク名) が同じであることを確認します。デフォルト SSID (ネットワーク名) は、「wireless」です (大文字小文字を区別します)。

LAN に数台のクライアントしかありません。 どうするといいいですか？

有線クライアントは機能するがワイヤレスクライアントが Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータにアクセスできない場合：

暗号化方式の SSID と Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの暗号キーが、ワイヤレスクライアントの暗号キーと一致していることを確認します。

ワイヤレスクライアントの場合：

- ワイヤレスアダプタのドキュメントを参照します。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの場合：

- ウェブベースの設定ツールを起動します。
- [Basic Settings (ベーシック設定)]、[Wireless Settings (ワイヤレス ISP 設定)] タブの順にクリックします。

クライアントが IP アドレスを自動的に取得できるように設定されていることを確認します。手順については、[ここ](#)をクリックします。

ワイヤレスクライアントは機能するが有線クライアントが Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータにアクセスできない場合：

イーサネットケーブルが正しく接続されていることを確認します。詳細に関しては、ハブまたはスイッチのドキュメントを参照してください。

ブラウザがウェブベースのコンフィギュレーションツールを表示しません。 どうするといいいですか？

バージョン 4.0 以降の Microsoft エクスプローラ または Netscape Navigator をブラウザとします。

ブラウザのプロキシ設定を確認します。

- コンピュータのコントロールパネルを開き、[インターネット] アイコンをダブルクリックします。これで [インターネットプロパティ] ウィンドウが開きます。
- [インターネットプロパティ] ウィンドウで [接続] タブを選択します。
- [ローカルエリアネットワーク (LAN) の設定] ボタンをクリックします。
- [プロキシサーバ] で、[プロキシサーバを利用する] オプションを選択します。
- [詳細設定] ボタンをクリックします。 [プロキシ設定] ウィンドウが開きます。

□□□ プロキシサーバ設定を無効にするか、または自動検出に設定します。

クライアントのファイヤーウォールソフトウェアを削除するか無効にします。ファイヤーウォールソフトウェアに含まれるドキュメントを参照します。

ブラウザのダイヤルアップ設定を削除します。

□□□ ブラウザを開きます。Internet エクスプローラで、次の 2 つの手順に従います。

□□□ [ツール]、[インターネットオプション]、[接続] の手順でクリックします。

□□□ [ダイヤルアップで接続しない] オプションをクリックします。

デフォルト IP アドレスに「http://192.168.2.1」と入力します。デフォルト IP アドレスが変更しました。次に、Dell? TrueMobile? 2300 Wワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられた新しい IP アドレスを使用します。

クライアントが IP アドレスを自動的に取得できるように設定されていることを確認します。


IP アドレスを自動的に取得するには:

□□□ コンピュータのコントロールパネルを開き、[ネットワークとダイヤルアップ接続] アイコンをダブルクリックします。

□□□ ローカルエリア接続を右クリックします。

□□□ [プロパティ] をクリックします。

□□□ [TCP/IP] オプションを選択します。

 **注意:** システムによっては、[TCP/IP] オプションを選択する前に、[ネットワーク] タブを選択する場合もあります。

□□□ [プロパティ] ボタンをクリックします。

□□□ [自動的に IP アドレスを取得する] オプションを選択します。

クライアントに手動で割り当てられた IP アドレスを使用している場合、クライアントの IP アドレスは、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータと同じサブネットに存在しなければなりません。

□□□ 上記の手順に従って [TCP/IP プロパティ] ウィンドウにアクセスします。

□□□ [次の IP アドレスを使用する] オプションを選択します。

□□□ [サブネットマスク] フィールドの値が、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの値と同じ値であることを確認します。

DHCP サーバを使用して IP アドレスを Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータに提供している場合、DHCP サーバによって提供されたアドレスを決定する必要があります。DHCP サーバから IP アドレスを取得する方法については、サーバのドキュメントを参照するか、またはネットワーク管理者に連絡してください。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータが正しくインストール/設定されていることを確認してください。

□□□ アクセスポイントの正面にある [Power (電源)] ランプが点灯していることを確認します。

□□□ アクセスポイントの正面にある LAN が点灯していることを確認します。LAN LED は有線クライアントへの接続状況を示します。

□□□ コンピュータのネットワーク設定を確認します。TCP/IP 設定が正しいことを確認します。

□□□ DOS コマンドプロンプトウィンドウを開きます。

□□□ 「ipconfig」と入力して、Enterを押します。

□□□ コンピュータのネットワークアドレスをアクセスポイントのアドレスと比較します。アドレスの最初の 3 つのオクテット設定は同じでなければなりません。たとえば、アクセスポイントの IP アドレスが、デフォルトの 192.168.2.1 の場合、コンピュータの IP アドレスの変域は 192.168.2.2 から 192.168.2.254 までです。次のように表示されなければなりません。192.168.2.xxx.

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータをデフォルト設定に再設定します。 [ブロードバンドルータ](#)

[を再起動、または再設定するにはどうするといいいですか?](#) を参照してください。

コンピュータをインターネットに接続できません。どうするといいいですか?

- ルータとケーブル/DSL モデムが正しく接続されていることを確認します。
 - ケーブル/DSL 設定に入力した情報をダブルクリックします。
 - ケーブル/DSL モデムの背面から電源コードを取り外し 5 秒待ってから、再度差し込みます。
-

インストール CD を CD-ROM ドライブに挿入しても、TrueMobile CD ブラウザプログラムが自動的に実行されません。どうするといいいですか?


- [スタート]、[ファイル名を指定して実行] の順にクリックし
 - 「x:/setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)
-

DHCP サーバ機能を無効にした後、どうするとブロードバンドルータにアクセスできますか?

ワイヤレスブロードバンドルータの DHCP サーバ機能を、[Advanced Settings (詳細設定)] にある DHCP サーバ設定ページの [Enable DHCP Server Function (DHCP サーバ機能を有効にする)] ボックスを選択せずに無効にした後、ウェブベースのコンフィギュレーションツールにアクセスできない場合があります。ウェブツールへのアクセスを復元するには、ネットワーククライアントの 1 つを使用して、次のようにします。

Windows XP および 2000 の場合:


- [マイネットワーク] を右クリックし、[プロパティ] を選択します。
- LAN 接続を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- [インターネットプロトコル (TCP/IP)] を選択し、[プロパティ] をクリックします。
- [次の IP アドレスを使用する] オプションをクリックします。
- [IP アドレス] フィールドに「192.168.2.2」と入力します。
- [サブネットマスク] に「255.255.255.0」と入力します。

-  **注意:** ブロードバンドルータ設定を変更した後、ネットワーククライアントを割り当て、IP アドレスを動的に取得します。上記の手順に従って、コンピュータのインターネットプロトコル設定を実行します。適切なオプションを選択し、IP アドレスを動的に取得します。
-

ブロードバンドルータを再起動、または再設定するにはどうするといいいですか?

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータを再起動し、電源コネクタを取り外し、再度差し込みます。

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのデフォルト設定をロードするには、ルータのリセットボタンを 5 秒以上押します。ユニットが再設定される間、電源ランプが点滅します。


-  **注意:** Dell TrueMobile 2300 をリセットボタンを使用して再設定する場合、5秒以上押すと、現在の設定が消去され、[出荷時のデフォルト設定](#)がロードされます。

カスタマーサポートについては、support.dell.com (英語) を参照してください。



ファームウェアのアップグレード情報はどのようにして入手しますか？

ファームウェアの新規アップグレードはすべてホームページに掲載されます。最新のファームウェアをダウンロードするには、Dell のサポートウェブサイト、support.dell.com にアクセスしてください。

 **注意:** Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ専用のファームウェアのみ使用できます。

ファームウェアをダウンロードしたら、ウェブベースのセットアップツールの [Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード)] ページを使用します。[System Tools (システム ツール)]、[Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード)] タブの順にクリックします。新しいファームウェアのファイル名およびパスを入力します。[Start(スタート)] ボタンをクリックして、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのファイルをロードします。

Dell TrueMobile 2300 の実際の速度スループットはいくらですか？

802.11g データ伝送は 54 Mbps データ率を提供します。802.11b データ伝送は 11 Mbps データ率を提供します。ただし、実際のスループットはそれより低い場合もあります。10 Mbps ケーブルのイーサネットが、必ずしも 10 Mbps 性能を提供しないのと同様です。伝送速度はファイルサイズ、ユーザー数、およびアクセスポイントからの距離により異なります。適切に設計されたシステムは、イーサネットのような性能をユーザーに提供します。802.11gの場合、信号強度が低下するにつれて、接続を維持するために自動データ率も54 Mbps から48、36、24、18、12、9、または 6 Mbps に低下します。802.11bの場合、信号強度が低下するにつれて、接続を維持するために自動データ率も11 Mbps から5.5、2、または 1 Mbps に低下します。

Dell TrueMobile 2300 からの無線周波 (RF) 伝送により生じるヘルス問題がありますか？

今のところ、2.4 ギガヘルツ (GHz) 範囲の RF 波が健康問題を引き起こすという確証はありません。ワイヤレス LAN デバイスは電子レンジと同じ周波数で動作します。ただし、2.4 GHz のワイヤレスアクセスおよびアダプタは、電子レンジやコードレス電話のような他の 2.4 GHz 製品よりも低い 100 メガワット (MW) の電力信号を発生します。

これには共有またはスイッチ機能がありますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのワイヤレスアクセス ポイントは、共有媒体であるハブに似ています。

Bluetoothと802.11の違いは何ですか？

これらの技術は異なる状況を対象としています。Bluetoothは、近接したデバイスを相互接続するようにデザインされた1 Mbps技術です。約30フィートの短距離で二つ以上のデバイスを直接接続する必要がある際は、Bluetoothを使用します。例えば、PDAや携帯用コンピュータをコンピュータに接続する場合、ノートパソコン

ンをプリンターに接続する場合、電話をヘッドホンに接続する場合です。802.11製品は、LAN接続の問題を最大限に解決し、高いデータ率及び長距離でネットワーク送信を提供するようデザインされたものです。インターネットやローカルエリアネットワークにアクセスする際は、802.11製品を使用します。

Dell TrueMobile 2300 はインターネットゲームをサポートしますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、ゲームソフトウェアによって、一部のインターネットゲームをサポートします。問題が生じた場合は、各ソフトウェアのテクニカルサポートに問い合わせてください。NAT サーバ経由でゲームプレイが可能になるセットアップ情報を入手できる場合があります。


ゲームソフトウェアが LAN で複数ユーザーをサポートする限り、ワイヤレスネットワークでもゲームをプレイできます。使用しているゲームが複数ユーザーをサポートするかどうか確認するには、ソフトウェアのテクニカルサポートに問い合わせるか、またはマニュアルをご覧ください。

ソフトウェアによっては、単一の IP アドレスでもワイヤレスネットワークで複数ユーザーが同時にゲームに参加できる場合があります。この点に関して、ソフトウェアのテクニカルサポートに問い合わせるか、またはマニュアルをご覧ください。

ルータでネットワークに接続してゲームをするにはどのセットアップに変更するのですか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、一部のインターネットゲームをサポートします。インターネットゲームによっては、ルータが受信データをアプリケーション別のポート経由でコンピュータに転送する必要があります。ルータは、[Virtual Server Settings (仮想サーバセットアップ)] ページの HTTP などの既知のポートを選択するデータ転送オプションをサポートしますが、各ゲームポートセットアップはサポートしません。

カスタムポート転送を必要とするインターネットゲームのサポートを有効にするには、[Service (サービス)] 選択ボックスで [ALL(DMZ)] を選択し、ゲームのホストとなるコンピュータの [IP address (IP アドレス)] を [Virtual Server Settings (仮想サーバセットアップ)] ページで [Internal IP (内部 IP)] として入力します。

 **注意:** ゲームをホストするコンピュータで、何らかの形式の静的 IP アドレスを使用することを推奨します。

Dell TrueMobile 2300 はハッカー行為を防止しますか？

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータは、ワイヤレスネットワークで特定ユーザーのみに権限を限定することにより、認証されていないアクセスを防止します。

ウェブベースのセットアップツールには、未確認のユーザーによる侵入未遂を記録する侵入者検出記録ログが含まれています。ログを表示するには、ウェブベースのセットアップツールを起動します。[System Tools (システムツール)]、[Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ)] タブの順にクリックします。

追加情報はどのようにして入手しますか？

国際電話通信証書およびカスタマーサポートを含む詳細情報については、support.dell.com をご覧ください。




[目次に戻る](#)

ISP 設定チェックリスト:

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

ISP にケーブルモデムまたは DSL モデムの設定を問い合わせてください。

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをインストールする際にすぐ解答できるように、ブロードバンド接続の以下の情報をプロバイダに問い合わせてこのセクションに記入してください。

-  **注意:** 情報を記入する必要がない場合もあります (例: ほとんどのケーブルモデムサービスプロバイダ)。これに該当する場合、このテーブルを飛ばしてください。

質問	記入欄	解答	解答例
Q1. 私の IP アドレスは静的ですか、それとも動的ですか? 静的な場合は、プロバイダから必要なセットアップを入手してください。動的な場合、このセクションを飛ばしてください。	静的 IP アドレス		178.182.12.13
	IP サブネットマスク		255.255.255.0
	ISP ゲートウェイアドレス		172.134.122.100
	ドメインネームサーバ (DNS) アドレス		233.221.213.10
Q2. 私の ISP サービスは PPPoE (イーサネットポイントツーポイントプロトコル) を使用していますか? 使用している場合は、プロバイダから必要なセットアップを入手してください。使用していない場合、このセクションを飛ばしてください。	ISP ユーザーネーム (PPPoE)		jdoe123
	ISP パスワード (PPPoE)		99bitlber
	ISP サービスネーム (PPPoE)		(このフィールドは必要ない場合もあります)

<p>注意: これらのセットアップは通常 DSL モデムでのみ必要です。</p>			
<p>Q3. 私の接続にはホスト名が割り当てられていますか?</p> <p>割り当てられている場合、ホスト名をここに入力してください。</p>	ホスト名		MY_ISP
<p>Q4. 私の接続にはドメイン名が割り当てられていますか?</p> <p>割り当てられている場合、ドメイン名をここに入力してください。</p>	ドメイン名		FRONTIER
<p>Q5. 私の接続は MAC アドレスに拘束されていますか?</p> <p>拘束されている場合、MAC アドレスをここに入力してください。</p> <p>注意: これらのセットアップは通常はケーブルモデムでのみ必要です。</p>	MAC アドレス		00-06-5B-D2-E1-F3

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

コントロールユーティリティ：

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

Contact Utility(コントロールユーティリティ)は、Windows のソフトウェアで、使用コンピュータからワイヤレスブロードバンドルータとインターネットへの接続状況をモニタします。

- ▶ [Install the Control Utility \(コントロールユーティリティのインストール\)](#)
- ▶ [Uninstall the Control Utility \(コントロールユーティリティのアンインストール\)](#)
- ▶ [Start the Control Utility \(コントロールユーティリティの使用法\)](#)
- ▶ [Exit the Control Utility \(コントロールユーティリティの終了\)](#)
- ▶ [コントロールユーティリティによるルータの設定](#)

コントロールユーティリティのインストール

セットアップウィザードを使用して設定する際に、コントロールユーティリティを PC にインストールできます。

- TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータセットアップウィザードとユーザーガイド CD を CD ドライブに挿入します。CD が自動的にセットアップウィザードプログラムを起動します。自動的に起動しない場合、次の手順でウィザードを起動してください。
 - [スタート] の [ファイル名を指定して実行] へ進み、
 - 「x:\setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)
- メインメニューで、[Installation (インストレーション)] をクリックし、次に [Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]、または [Setup Additional Computers (別のコンピュータの設定)] のどちらかをクリックします。
- 画面上に表示される説明に従い、設定を完了します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティのアンインストール

- システムトレイにルータアイコンが表示されている場合、アイコンを右クリックし [Exit (終了)] を選択します。


□□□ 次に、[Start (スタート)]、[Control Panel (コントロールパネル)]、[Add/Remove Program (プログラムの追加と除去)] の順でクリックします。




□□□ プログラムリストから [Control Utility (コントロールユーティリティ)] を選択し、指示に従ってプログラムを除去します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの使用法


この [Control Utility(コントロールユーティリティ)] は、システムが起動すると自動的に実行するデフォルトセットアップです。 [Utility(ユーティリティ)] が自動的に開始しない場合、 [Start (スタート)] の [Programs (プログラム)] で [Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Router (Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ)]、次に [Dell Control Utility (Dell コントロールユーティリティ)] の順にクリックして(ユーティリティ)プログラムを起動します。


一度実行されると、システムトレイにルータアイコンが作成されます。インターネットの接続が良好状態の場合、システムトレイのアイコンは  のようになり、ルータのアイコンをダブルクリックし、ユーティリティーパネルを開くことができます。

 注意: アイコンが黄色  である際は、インターネット接続がされていないことを示します。アイコンが赤色  である際は、ルータへの接続が失敗したことを示します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの終了

コントロールユーティリティープログラム開始時にアイコン  がシステムトレイに表示されます。プログラムを終了する場合は、システムトレイ中のユーティリティアイコンを右クリックし、メニューを開きメニューから [Exit (終了)] を選択してプログラムを終了します。

 注意: ウィンドウタイトルバー上のクローズボタンをクリックするとコントロールユーティリティが閉じますが、プログラムを終了したことはありません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

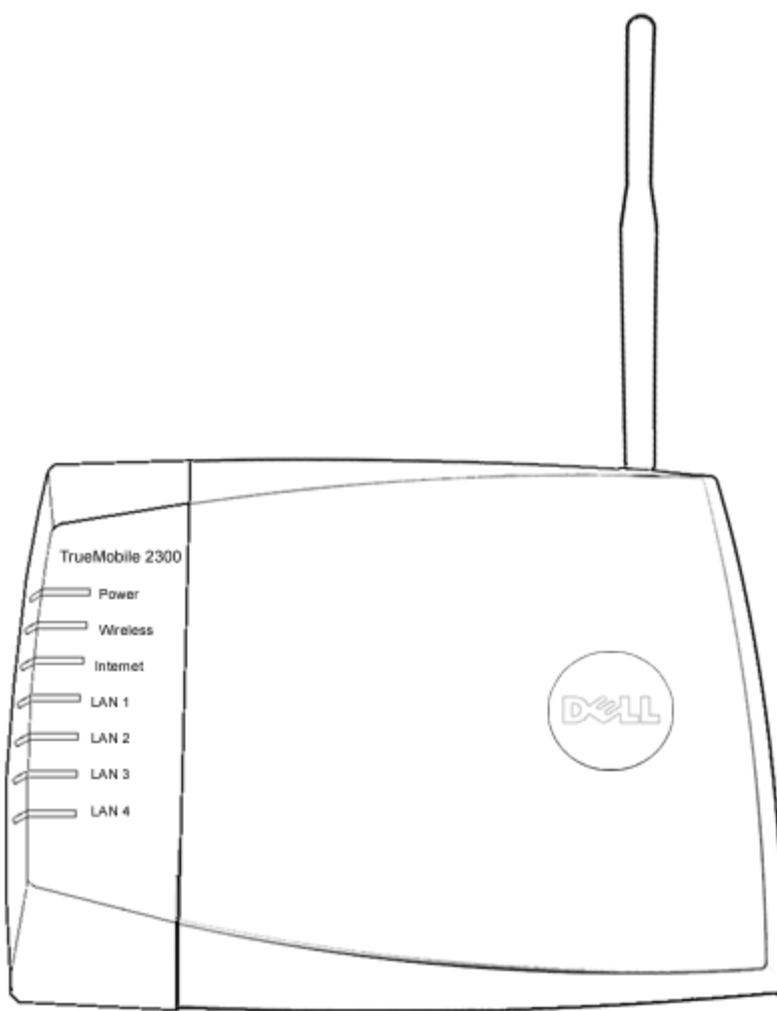
ハードウェア： Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

▶ [フロントパネル](#)

▶ [バックパネル](#)

フロントパネル

Dell TrueMobile™ 2300ワイヤレスブロードバンドルータの正面には7つのLED（リンクランプ）、またはリンクライトがついています。以下の表で、各LEDの機能を説明します。



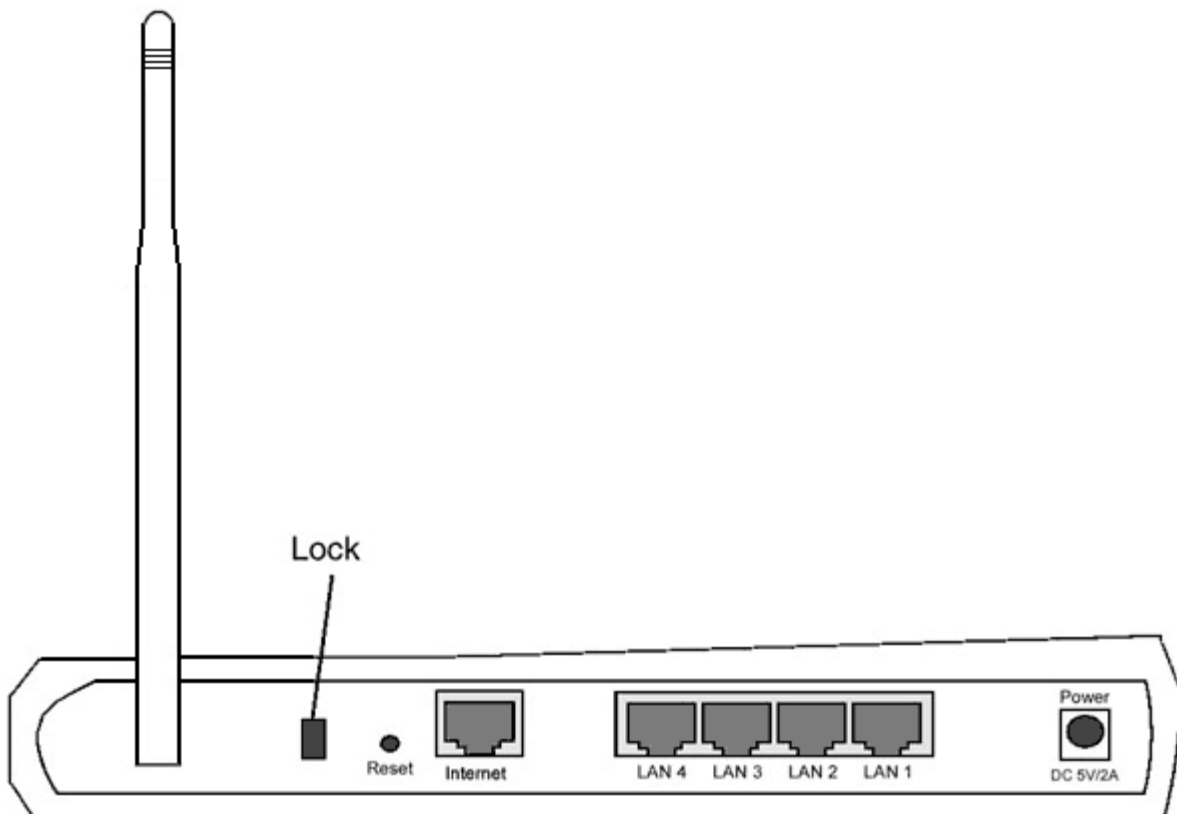
LED	意味	機能
Power	電源	電源が接続されている場合は継続的に点灯します。ユニットをリセットする場合は

		点滅します。
Wireless	ワイヤレス LAN	継続的に点滅 - ワイヤレスリンクが 1 つ以上ユニットに接続していることを示します。
Internet	DSL または ケーブルモデム	継続的な緑の点灯は接続中、点滅はデータアクティビティがあることを示します。 継続的な点灯はデータ衝突があることを示します。
LAN 1 LAN 2 LAN 3 LAN 4	LAN	継続的な緑の点灯は接続中で転送速度が 100Mbps であることを示します。「教騎鎧碩電」 継続的な黄緑の点灯は接続中で転送速度が 10Mbps であることを示します。

テーブル 1. Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ LED

[トップに戻る](#)

バックパネル




コネクタ	説明
Lock	デバイスの盗難防止にロックデバイスを使用します。

Reset	クリップを伸ばしたのもの等を使用してボタンを3秒間押します。電源LEDが一瞬オフになり、再び点灯します。ボタンをリリースし、デバイスを出荷時の設定値にリセットします。
Internet	ネットワークケーブルにRJ-45コネクタを使用します。
LAN 1 LAN 2 LAN 3 LAN 4	Accept an RJ-45を使用して4台までのPCをゲートウェー4-ポートスイッチに接続します。
Power	電源アダプタを電源ポートへ接続し、他の電源ケーブルをコンセントにプラグインします。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

コントロールユーティリティ：

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

Contact Utility(コントロールユーティリティ)は、Windows のソフトウェアで、使用コンピュータからワイヤレスブロードバンドルータとインターネットへの接続状況をモニタします。

- ▶ [Install the Control Utility \(コントロールユーティリティのインストール\)](#)
- ▶ [Uninstall the Control Utility \(コントロールユーティリティのアンインストール\)](#)
- ▶ [Start the Control Utility \(コントロールユーティリティの使用法\)](#)
- ▶ [Exit the Control Utility \(コントロールユーティリティの終了\)](#)
- ▶ [コントロールユーティリティによるルータの設定](#)

コントロールユーティリティのインストール

セットアップウィザードを使用して設定する際に、コントロールユーティリティを PC にインストールできます。

- TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータセットアップウィザードとユーザーガイド CD を CD ドライブに挿入します。CD が自動的にセットアップウィザードプログラムを起動します。自動的に起動しない場合、次の手順でウィザードを起動してください。
 - [スタート] の [ファイル名を指定して実行] へ進み、
 - 「x:\setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)
- メインメニューで、[Installation (インストレーション)] をクリックし、次に [Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]、または [Setup Additional Computers (別のコンピュータの設定)] のどちらかをクリックします。
- 画面上に表示される説明に従い、設定を完了します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティのアンインストール

- システムトレイにルータアイコンが表示されている場合、アイコンを右クリックし [Exit (終了)] を選択します。


□□□ 次に、[Start (スタート)]、[Control Panel (コントロールパネル)]、[Add/Remove Program (プログラムの追加と除去)] の順でクリックします。




□□□ プログラムリストから [Control Utility (コントロールユーティリティ)] を選択し、指示に従ってプログラムを除去します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの使用法


この [Control Utility(コントロールユーティリティ)] は、システムが起動すると自動的に実行するデフォルトセットアップです。[Utility(ユーティリティ)] が自動的に開始しない場合、[Start (スタート)] の [Programs (プログラム)] で [Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Router (Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ)]、次に [Dell Control Utility (Dell コントロールユーティリティ)] の順にクリックして(ユーティリティ)プログラムを起動します。


一度実行されると、システムトレイにルータアイコンが作成されます。インターネットの接続が良好状態の場合、システムトレイのアイコンは  のようになり、ルータのアイコンをダブルクリックし、ユーティリティーパネルを開くことができます。

 注意: アイコンが黄色  である際は、インターネット接続がされていないことを示します。アイコンが赤色  である際は、ルータへの接続が失敗したことを示します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの終了

コントロールユーティリティープログラム開始時にアイコン  がシステムトレイに表示されます。プログラムを終了する場合は、システムトレイ中のユーティリティーアイコンを右クリックし、メニューを開きメニューから [Exit (終了)] を選択してプログラムを終了します。

 注意: ウィンドウタイトルバー上のクローズボタンをクリックするとコントロールユーティリティが閉じますが、プログラムを終了したことはありません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

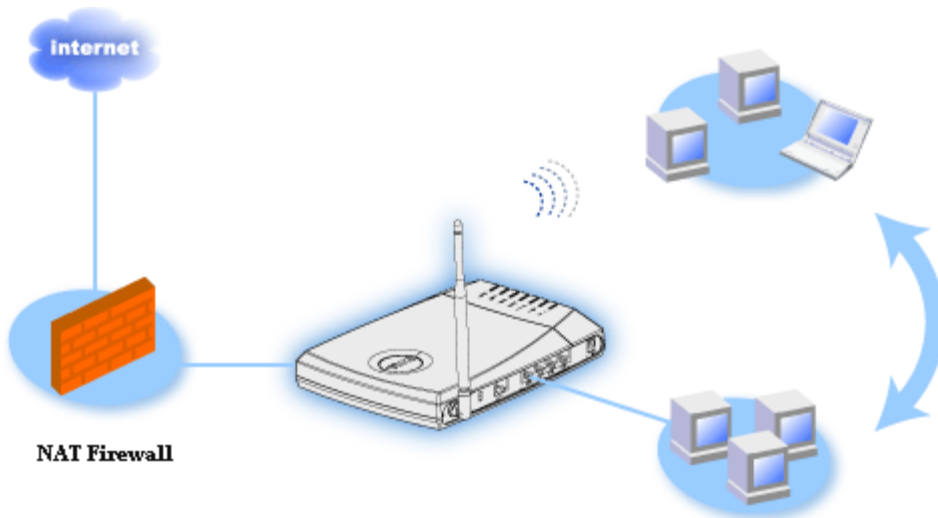
はじめに： Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

- ▶ [概要](#)
- ▶ [ワイヤレスネットワークの概要](#)
- ▶ [ハードウェア](#)

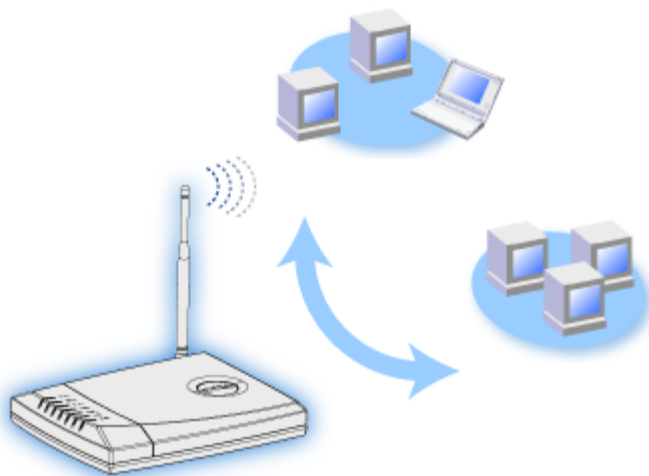
概要

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータは、インターネット ルータを内蔵する 802.11b/g ワイヤレスアクセスポイントです。xDSL またはケーブルモデムに接続することで、有線とワイヤレスコンピュータが同時にインターネットにアクセスできます。ワイヤレスブロードバンドルータは次のようにセットアップできます。

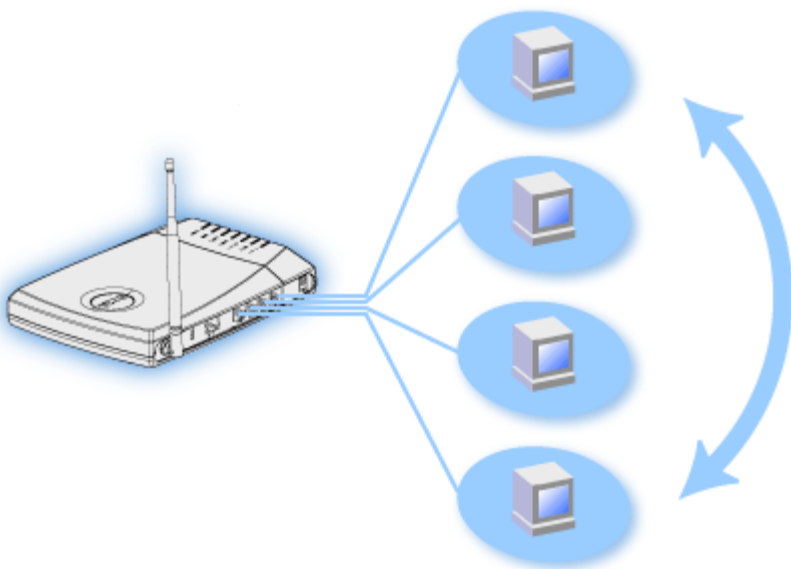
- インターネットルータ:ケーブルまたは xDSL モデムに接続すると、有線とワイヤレスコンピュータの両方をインターネットに接続できます。ルータコントロールインターネットアクセスに含まれるファイアウォール機能は、ネットワークを保護します。



- ワイヤレスハブ(アクセスポイント):ファイルとプリンタを共有するコンピュータに接続します。



- 4ポートイーサネットスイッチ:ファイルとプリンタを共有する4台の有線コンピュータに接続します。




- イーサネットブリッジ:有線とワイヤレスコンピュータ間でファイルとプリンタを共有できます。さらに、イーサネットハブに接続して、インターネットの接続と共有をさらに多くの有線コンピュータに拡張できます。



ワイヤレスブロードバンドルータは252台までのクライアントをサポートします。252台のクライアントのうち16台まではワイヤレスを適用できます。ネットワークアドレス変換(NAT)機能により64台のクライアントが同時


にインターネットと通信できます。一秒間に最大54メガバイト(Mbps)の速度で転送し、LAN (有線)ポートが10/100 Mbpsで転送します。ブロードバンドルータと各コンピュータ間の最大距離は300フィートで、この距離は環境によって左右されることは稀です。

-  **注意:** デフォルトセットアップを使用すると、ワイヤレスブロードバンドルータは、99 台までの有線およびワイヤレスコンピュータに IP アドレスを提供できます。IP アドレスはネットワーク上のコンピュータを一意に特定します。ユーザーが20台以上の接続になると、ネットワークトラフィックの増加のために、スループットが遅くなる場合があります。

デフォルトでは、ブロードバンドルータを次のように使用できます。

- ワイヤレスネットワークネームとして「ワイヤレス」を使用するワイヤレスアクセスポイント。
- IP アドレスをワイヤレスと有線クライアントに提供する DHCP サーバ。
- イーサネットハブへのブリッジ。

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

ルータの管理 Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

- ▶ [概要](#)
- ▶ [セットアップウィザード](#)
- ▶ [コントロールユーティリティ](#)
- ▶ [ウェブベースのコンフィギュレーションツール](#)

概要

TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータの工場出荷デフォルト設定は、ほとんどのネットワーク環境で使用できる設定です。しかし、ネットワーク環境によっては、異なるルータ設定が必要な場合もあります。

セットアップウィザード:

セットアップウィザードは、Windowsベースのソフトウェアプログラムで、TrueMobile 2300 CDに含まれています。このプログラムは、1) ネットワークにルータをインストールして複数のPCでインターネットにアクセスできる環境を設定する、2) ネットワークに別のコンピュータを追加する、さらに3) ユーザーズガイドとDellサポートWebサイトへのリンクを提供します。

コントロールユーティリティ:

コントロールユーティリティもWindowsベースのソフトウェアプログラムで、TrueMobile 2300 CDに含まれています。このユーティリティは、通常、ルータインストールの最後の部分にあり、PCとインターネットの接続状況情報と、パスワード、無線チャネル、またSSIDなどのワイヤレスブロードバンドルータの管理設定変更機能を提供します。

Webベースコンフィギュレーションツール:

Webベースコンフィギュレーションツールは、ワイヤレスブロードバンドルータの詳細設定を行う場合に使用します。このツールはルータ内にあり、ブラウザを使ってアクセスします。このツールには、ワイヤレスブロードバンドルータの基本設定オプションと詳細設定オプションがあります。たとえば、他のインターネットユーザーに、ローカルのプライベートネットワーク上のWebサーバへのアクセスを許可したり、ワイヤレスネットワークをディセーブルにする許可を与えることができます。

- ☛ **注意:** セットアップウィザードインストールウィザードまたはコントロールユーティリティは、Windows 2000/XP コンピュータで実行しなければなりません。ウェブベースのコンフィギュレーションツールには、Microsoft インターネットエクスプローラ (4.0 以降) または Netscape (4.0 以降) を使用します。

工場出荷デフォルト設定:

Dell では、ワイヤレスブロードバンドルータの当初セットアップは次の通りです。

- ☛ **注意:** デバイス設定がわからなくなった場合は、リセットボタンを押すとルータの設定を復元することができます。

設定	デフォルト
ユーザー名	admin
パスワード	admin
デバイス名	my.router
IP アドレス	192.168.2.1
サブネットマスク	255.255.255.0
10 Mbps イーサネット WAN IP	<DHCP 経由で ISP から取得する >
WAN DHCP クライアント	有効
ESSID (ワイヤレスネットワーク名)	ワイヤレス
チャンネル	6
暗号化	暗号化なし
DHCP サーバ	有効
NAT ルーティング	有効

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

ワイヤレスネットワーク概要:

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーガイド

- ▶ [ワイヤレスローカルエリアネットワーク \(WLAN\)](#)
- ▶ [WLANとの識別](#)
- ▶ [暗号化](#)
- ▶ [速度の自動選択と速度のスケール](#)

ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN)

ローカルエリアネットワーク (LAN) は、一ヶ所に存在するネットワークです。ネットワーク内のユーザーは、ファイル、プリンタ、およびその他のサービスを共有することができます。LANでは、サービスを要請するネットワークコンピュータはクライアントと呼ばれます。ワイヤレスローカルエリアネットワーク (WLAN) は、回線ではなく、高周波数の無線を使ってネットワークのクライアントおよびデバイス間で通信およびデータを送受信するタイプのLANです。有線LANの拡張またはその代用として導入される、柔軟性に優れたデータ通信システムです。

WLANではクライアントによりワイヤレスアダプタがインストールされており、これらもワイヤレスクライアントと呼ばれます。アダプタの使用により、ワイヤレスクライアントはケーブルを使わずにWLANと通信することが可能です。ワイヤレスクライアントは、チャンネルと呼ばれる大気中の通信路を通して情報を送受信します。

WLANの標準はIEEE 802.11bです。Dell 802.11b/g準拠デバイスは、他のメーカーの802.11b/g準拠ワイヤレスデバイスと相互運用します。WiFi認証マークは、そのワイヤレスデバイスが独立組織によりテスト済みであることを示します。

ワイヤレスクライアントは、インフラモードまたはピアツーピアモードで機能します。

[トップに戻る](#)

WLANとの識別

ESSIDとBSSIDは両方とも1つのWLANへの無線クライアントのアクセスを識別し制御する *Service Set Identifiers* (SSID: サービス設定識別子) です。SSIDは、どのWLANを参照するかを示します。ほとんどの場合、SSIDはユーザーインターフェイスに表示されます。

ワイヤレスクライアントにアクセスポイントまたはワイヤレスアダプタをインストールする場合、インストールプログラムによりSSIDを入力するように指示されます。ワイヤレスブロードバンドルータにデフォルトSSIDの「ワイヤレス」を使用することができますが、この情報は、ネットワークにより異なるので、Dellでは提供できません。WLANのワイヤレスクライアントとアクセスポイントは、同じネットワーク名でなければなりません。

暗号化

WLANでは、ワイヤレスクライアントとアクセスポイントが空気中を通して情報を送受信します。セキュリティを導入しないと、アクセス権のない人に傍受される恐れがあります。


セキュリティおよび情報保護の一般的な方法として暗号化があります。暗号化では、アルゴリズムと呼ばれる一連の指示を情報に適用します。アルゴリズムは、プレーンまたはクリアテキストの情報と、[*encryption key* (暗号化キー)] と呼ばれる16進法数の連数で構成されます。

情報を電波に乗せて受信する前に、ワイヤレスクライアントまたはアクセスポイントは情報を暗号化またはスクランブルします。情報を受信するアクセスポイントまたはワイヤレスクライアントは、同じキーを使って情報を解読、または情報を逆スクランブルします。正しい暗号化キーを持つWLANデバイスのみが情報を読むことができます。キーが長いほど暗号化の有効性が高くなります。

TrueMobile 2300は、WEP (Wired Equivalent Privacy) と WPA (Wi-Fi Protected Access)の両方をサポートしていません。

WEP

WEPは、ワイヤレスクライアント(例えばワイヤレスPCカードを搭載したノートパソコン)とルータ間で共有される暗号化キーを作成する方法を提供します。ワイヤレスブロードバンドルータにおいて、WEPは有効または無効に切り替え可能なオプション機能です。WEP暗号化を有効にする際は、同様のWEPキーを持つアクセスポイントにのみ接続が可能となるため、クライアントにアクセスポイントと同様のWEPキーを設定する必要があります。

 **注意:** キーを頻繁に変更することを推奨します。安全保護の対象となる通信は常に同様のアルゴリズムを使用します。同様のキーおよびメッセージが全く同じ暗号テキストを発するため、アクセス侵入者が暗号化されたデータを破壊することが可能となります。以上の理由からキーを頻繁に変更するようにしてください。

WEP暗号化方法には2種類あります。

- 40(64)ビット暗号化
- 104(128)ビット暗号化

40ビットと64ビットの暗号化は同一の形態で、メーカーによって40ビットと64ビットを使用する場合があります。40ビットと64ビットの暗号化を使うとされるワイヤレスデバイスは、相互に互換性があります。40(64)ビットのキーは、以下の通り10桁の16進数で構成されます。

キー #1: 1011121314

キー #2: 2021222324

キー #3: 3031323334

キー #4: 4041424344

104(128)ビットキーは40(64)ビットキーに比べて数兆倍もの組み合わせが可能です。26桁の16進数で構成され以下のように配列されています。

キー (#1): 101112131415161718191A1B1C

WLAN内のワイヤレスクライアントとアクセスポイントは、同じ暗号化方法とキーを使わなければなりません。以下に2つの例を挙げて、いかにこの点が重要であるかを説明します。

例 1

アクセスポイントの暗号化方法が40(64)ビットです。ワイヤレスクライアントが104(128)ビット暗号化を使用します。クライアントおよびアクセスポイントは、選択キーが同じでも互いに通信できません。この問題を解決するにはアクセスポイントで104(128)ビット暗号化を使うようにセットアップします。

例 2

アクセスポイントとワイヤレスクライアントが使う暗号化も同じです。アクセスポイントキーでキー1を、ワイヤレスクライアントでキー2を選択します。ワイヤレスクライアントはWLANで通信できません。この問題を解決するにはワイヤレスクライアントでキー1を選択します。

- ➡ **注意: WLAN上のワイヤレスデバイスでは、同一のキーと暗号化方法を使用してください。これを実行しない場合、相互に通信できません。**

ワイヤレスブロードバンドルータは、16進数またはASCII文字を使い、暗号化キーを作成します。16進数は0から9の数字とAからFのアルファベットで構成されます。例えば、10進法の数字の15は16進数システムでは、Fと表示されます。

ASCIIは*American Standard Code for Information Interchange*の略で、アスキーと発音します。ASCIIは英語の文字を数字で表すコードで、各文字には0から127の数字が割り当てられています。例えば、ASCIIコードで大文字のMは数字で77に相当します。大部分のコンピュータはテキストを表すためにASCIIを使い、コンピュータ間のデータ送信を可能とします。

WPA

WPAはワイヤレスネットワークの安全性を高めるためにWEP (Wired Equivalent Privacy)にアップグレードされます。WPAは将来の IEEE 802.11iと両立でき、更に発展したデータの暗号化とユーザー認証を提供します。

安全性を強化するため、WPAはTKIP (Temporal Key Integrity Protocol) 暗号化を利用してWEP (Wired Equivalent Privacy)で使用されている静的キーを保護します。TKIPには、パケットを不正変更から保護するためのMIC (message integrity check)、軽いキーアタックを防ぐためのPPK (Per-Packet Key)ハッシング、IVの再利用やハッカーが暗号を解読するために必要なパケットを収集する恐れを軽減するための拡張 IV (initialization vector)、一時的なキーを動的に変更するための再入力機能の4つのアルゴリズムがあります。ワイヤレスクライアントがTKIPをサポートしていない場合、TKIPが最も一般的な暗号化方法です。TrueMobile 2300はAES (Advanced Encryption Security)暗号化もサポートしています。AESは802.11i において802.11のRC4ベースの暗号化に入れ替わります。AESは優れた暗号化アルゴリズムで、ワイヤレスネットワークに最大の安全性を提供します。

ユーザー認証に関して、WPAは認証システムを採用し、via 802.1x. 802.1x を通してユーザー認証の構造とキー区分の管理方法を提供します。802.1x には、認証サーバー (一般的にRADIUSサーバー)、WPAを有効にしたルータまたはAP ("Authenticator"と呼ばれる)、およびWPAを有効にしたクライアント ("Supplicant"と呼ばれる)の3つの主要な要素があります。802.1xは許可されたユーザーのみがアクセスできるようにします。

会社企業ではワイヤスルータおよび認証サーバーの連結にWPAが利用できます。認証サーバーのないSmall Office/ Home Office (SOHO)環境下では、ユーザーは認証サーバーに代わってpre-sharedキー (PSK) モードを使用することができます。TrueMobile 2300はPSKモード起動のWPAを提供します。WPAの相互認証および改良された暗号化技術により、ワイヤレス通信の安全性が強化されます。


[トップに戻る](#)

速度の自動選択と速度のスケール

802.11gでは、ワイヤレスネットワークアダプタおよびアクセスポイントは54, 48, 36, 24, 18, 12, 9, or 6 Mbpsのいずれかの速度でデータを送信できます。アダプタとアクセスポイント間の距離が変わると、データ送信速度も自動的に変わります。妨害等の他の要素も、データ送信速度に影響します。ワイヤレスブロードバンドルータは 速度の自動選択および速度のスケールを使い、通信に最適な速度を判断します。速度のスケールはワイヤレスクライアントとWLAN間の通信を最適な状況に保ちます。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

セットアップウィザード： Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

- ▶ [はじめに](#)
- ▶ [セットアップウィザードの起動](#)
- ▶ [セットアップウィザード画面](#)

はじめに

セットアップウィザードは使いやすいプログラムで、TrueMobile 2300 CDに含まれています。このウィザードでは、ワイヤレスブロードバンドルータによるインターネット接続のわかりやすい手順が説明されています。セットアップウィザードは、まず ケーブル/DSLモデムで接続されているアクティブISP接続から接続設定を抽出し、次に、ルータをネットワークに接続する方法が図示されます。その後、抽出したルータの設定を適用し、インストールを有効にします。インストールが完了しなかった場合、セットアップウィザードによりトラブルシューティングの詳しいインストラクションが表示されます。

さらに、セットアップウィザードでは、TrueMobile 2300 CDに含まれているユーザーズガイドとDellサポートWebサイトへのリンクも提供されています。

[トップへ戻る](#)

セットアップウィザードの起動

セットアップウィザードを実行するには、次の手順に従います。

- パッケージに同梱されていた TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータのセットアップウィザードとユーザーガイド CD をコンピュータの CD-ROM ドライブに挿入します。 [TrueMobile CD browser (TrueMobile CD ブラウザ)] プログラムが自動的に起動しない場合、次の手順で [browser (ブラウザ)] を起動してください。
 - a. コンピュータで [Start (スタート)]、[Run (ファイル名を指定して実行)] をクリックします。
 - b. 「x:/setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)

セットアップウィザードが起動されると、次々とウィンドウが表示されます。下の図はこれらのウィンドウとその機能についての説明です。

[トップに戻る](#)

セットアップウィザードスクリーン

Welcomeメニュー

このメニューには次のようなオプションがあります。

- **Installation**[インストール] -- ルータのインストールを開始し、インターネットに接続するためにコンピュータを設定する。
- **User's Guide**[ユーザーガイド] -- ユーザーズガイド(本書)を表示する。
- **Exit**[終了] -- セットアップウィザードを終了する。



インストール> PCの設定

メインメニューで **[Installation (インストール)]** を選択すると、次の図が表示されます。

- ケーブルまたはDSLモデムでインターネットに接続するためにルータをコンピュータにインストールする場合、**[Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]** をクリックします。
- ネットワークに別のコンピュータを接続するには、**[Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]** オプションを使用してルータをインストールした後、**[Setup Additional Computer (別のコンピュータの設定)]** をクリックします。

コンピュータのセットアップ



一台目のPCのセットアップ

一台目のコンピュータにインターネット接続用にDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータ Wireless Broadband Routerをインストールする

追加コンピュータの設定

追加コンピュータをネットワークに接続する。

終了

戻る

[トップに戻る](#)

インストレーション > PCの設定 > 1台目のコンピュータの設定

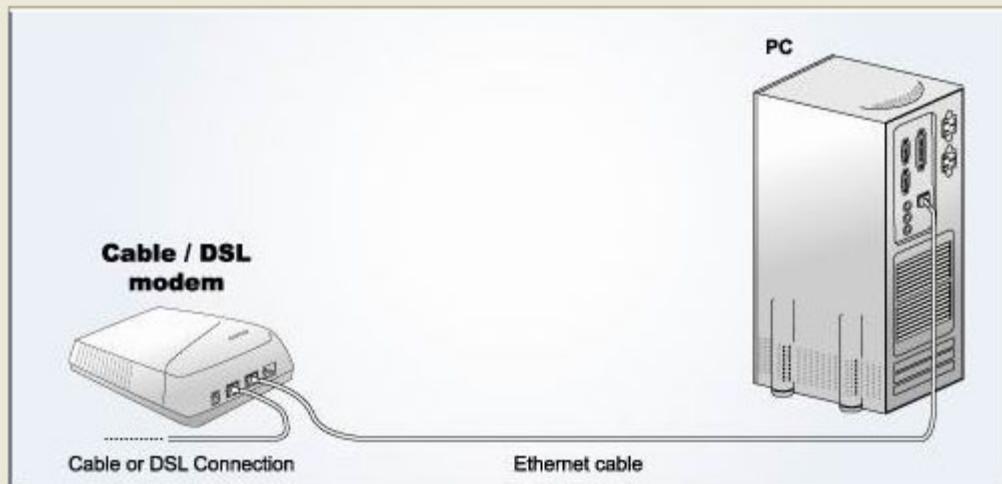
DSL/ケーブルモデムによるインターネット接続の確認

1. DSL/ケーブルモデムによるコンピュータへの 接続を確認します



DSL/ケーブルモデムによるインターネット接続がされていない場合は、接続してください。
インターネット接続が開設されたら、次に をクリックして続けます。

注意: PCからインターネット接続されない場合、または方法が分からない場合は、
予めお近くのケーブルまたはDSLサービスプロバイダーにお問い合わせください。
[ここに戻る](#)



終了

次に

PPPoE 接続を使用している場合、コンピュータを再起動する必要があります。

完成



セットアップウィザードがインターネット接続を確認しました。

次に をクリックして続けます。

終了

次に

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続する

Step 1: ルータにケーブル/DSLモデムを接続する方法が説明されています。

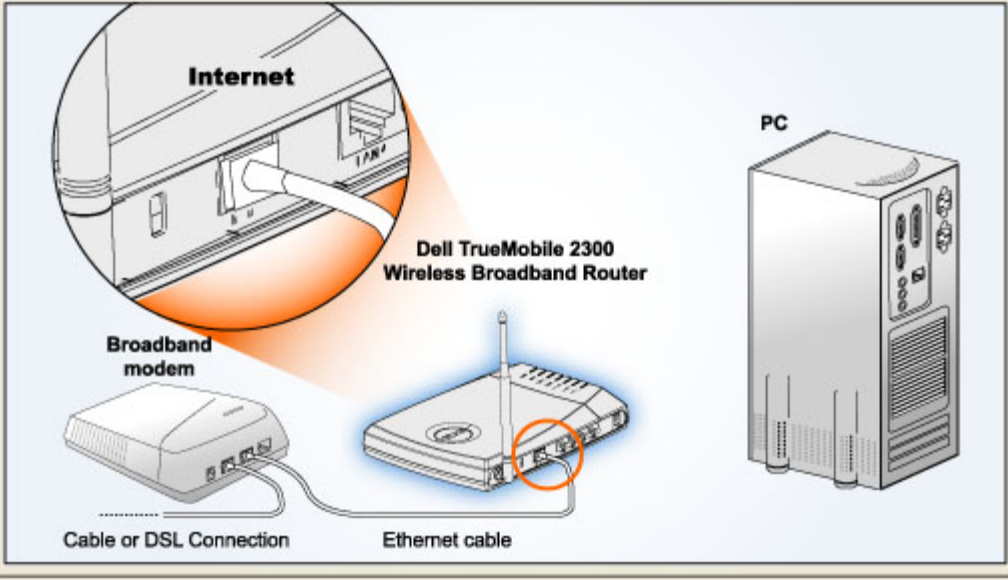
Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ

2. Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続

DELL™

ステップ1

イーサネットケーブルをコンピュータからはずし、Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータのインターネットポートに接続します。**次に** をクリックして続けてください。



The diagram illustrates the connection of a broadband modem to a Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Router. On the left, a broadband modem is connected to a wall outlet labeled "Internet" via a "Cable or DSL Connection". An "Ethernet cable" connects the modem to the router. A "PC" is shown to the right. The router's Ethernet port is highlighted with a red circle.

終了 戻る 次に

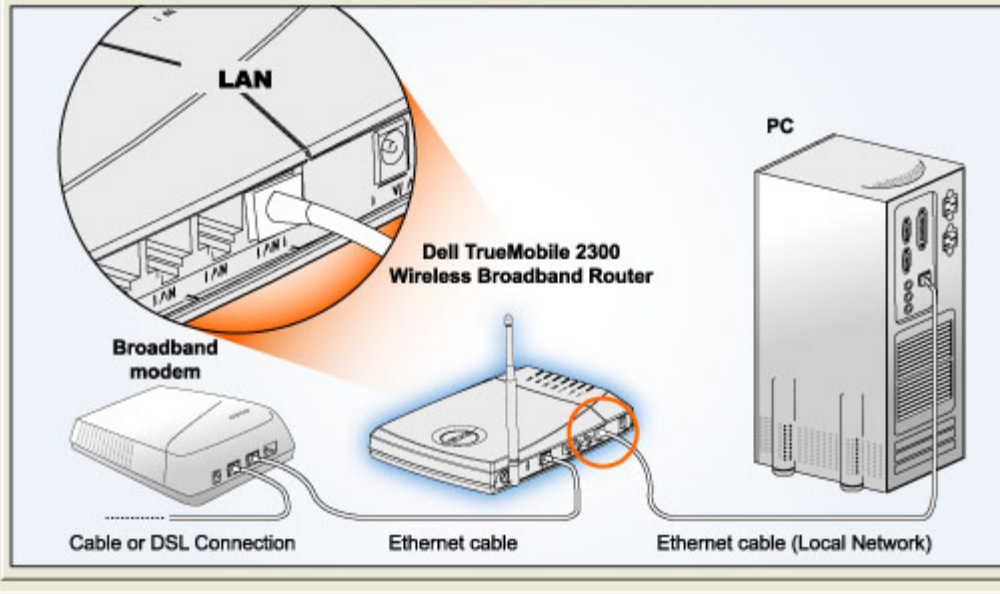
Step 2: ルータをPCに接続する方法が説明されています。

2. Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続



ステップ 2

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ付属のイーサネットケーブルの一方をルータの4箇所のLANポートのうち1箇所に接続します。ケーブルのもう一方をコンピュータのLANポートに接続します。**次に** をクリックして続けます。



終了

戻る

次に

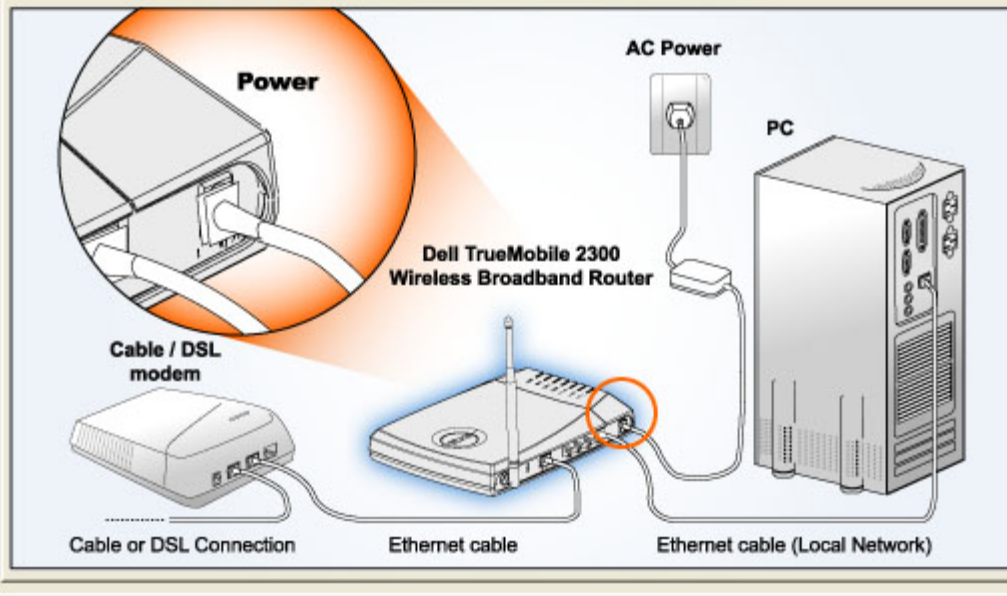
Step 3: ルータへの電源接続方法が説明されています。

2. Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータをネットワークに接続



ステップ 3

コンセントに電源アダプタを接続し、もう一方をDell TrueMobile2300ワイヤレスブロードバンドルータに接続します。**次に**をクリックして続けます。



終了

戻る

次に

Dell TrueMobil 2300ワイヤレスブロードバンドルータを設定する

[Next (次へ)]をクリックすると、セットアップウィザードにより、インターネット接続設定がルータに適用されます。

PPPoE 接続の場合、セットアップウィザードに PPPoE ユーザー名とパスワードを入力します。

3. Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの設定



セットアップウィザードがインターネットに接続できるようDell TrueMobile 2300
ワイヤレスブロードバンドルータを設定します。次に をクリックして続けてください。

終了


次に

セットアップが完成しました！

これでルータが設定され、1台目のPCでインターネットにアクセスできます。

完了



Dell TrueMobile 2300のインストールが完成しましたワイヤレスブ
ロードバンドルータ。これでインターネットにアクセスできます。ブラウザ。画
面右下を見てください。次の  アイコンをクリックするとインフォメ
ーションが得られます。ルータの状況。

詳細はここをクリック [次に](#)

次に

ワイヤレス設定とルータの安全強化方法を説明するウィンドウ。

ワイヤレス設定概要



SSIDはワイヤレスネットワークを個別に確認する名称です。ワイヤレスネットワーク内の各デバイスには同様のSSIDを使用します。ワイヤレスネットワークの安全性を強化するため、Dell TrueMobile 2300ウェブコンフィギュレーションツールを使用し、以下を実行できます:

- 1) SSIDブロードキャストを無効にする
- 2) WEP/WPA暗号化を設定
- 3) Dell TrueMobile 2300ワイヤレス接続を無効にする

完成 をクリックして、インストールを完成します。

完成

[トップに戻る](#)

インストレーション > PCの設定 > 別のコンピュータの設定

[**Set up your PC (PCの設定)**]で、[**Setup Additional Computer (別のコンピュータの設定)**]を選択すると、次の図が表示されます。コンピュータとユーザ間に[**Wired Connection (有線接続)**]か[**Wireless Connection (ワイヤレス接続)**]のいずれかを選択します。

接続タイプの選択



有線接続

PCを有線接続でDell TrueMobileに2300
ワイヤレスブロードバンドルータに接続します
接続

ワイヤレス接続

PCをワイヤレス接続でDell TrueMobile
2300ワイヤレスブロードバンドルータ
に接続します。

終了

戻る

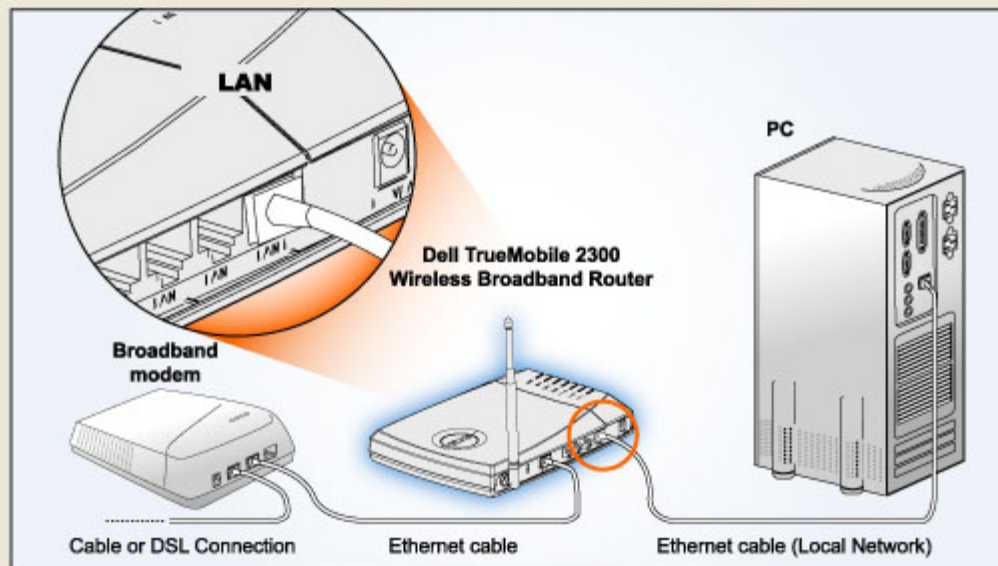
別のPCをネットワークに追加する：有線接続

イーサネットケーブルを使って、コンピュータをネットワークに接続する方法が表示されます。

他のコンピュータをネットワークに追加する



イーサネットケーブルの一方をルータの4箇所のLANポートのうちの1箇所に接続し、もう一方をPCのイーサネットカードに接続します。



クリック **次に** 続ける

終了

戻る

次に

別のPCをネットワークに追加する：有線接続

無線チャネルを使って、コンピュータをネットワークに接続する方法が表示されます。

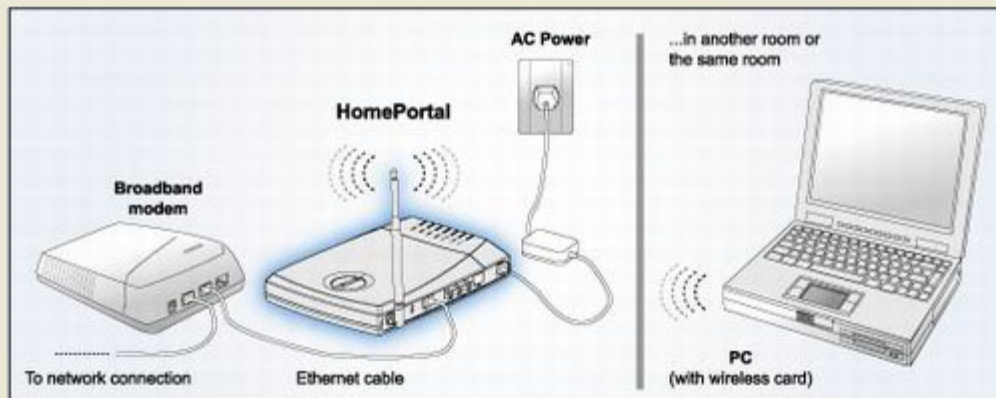
他のコンピュータをネットワークに追加する



ルータへのワイヤレス接続を行うには、ルータと同様のネットワーク名(SSID)とワイヤレスセキュリティ情報をPCのワイヤレスクライアントカードに設定する必要があります。

ワイヤレスクライアントの設定に関する説明は

[設定方法をクリックしてください](#)



クリック **次に** 続ける

終了

戻る


次に

セットアップが完成しました！

PCがネットワークに接続されました。

完了



Dell TrueMobile 2300のインストールが完成しましたワイヤレスブロードバンドルータ。これでインターネットにアクセスできます。ブラウザ。画面右下を見てください。次の“”アイコンをクリックするとインフォメーションが得られます。ルータの状況。

詳細はここをクリック **次に**

次に

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

ウェブベースの設定ツール

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルーターユーザーズガイド

- ▶ [概要](#)
- ▶ [Basic Settings \(ベーシック設定\)](#)
- ▶ [デバイス情報とステータス](#)
- ▶ [System Tools \(システムツール\)](#)
- ▶ [Advanced Settings \(詳細設定\)](#)
- ▶ [Log Off \(ログオフ\)](#)

概要

ウェブベースの設定ツールを使い、Dell(R) TrueMobile(TM) 2300 ワイヤレスブロードバンドルーターのネットワークを設定します。ウェブツールへアクセスするには、下の指示に従います。



注意: ウェブベースのコンフィギュレーションツールには、Microsoft インターネットエクスプローラ (4.0 以降) または Netscape (4.0 以降) を使用します。

- Windows ベースのコンピュータでは、[Start (スタート)]、次に[Run (ファイル名を指定して実行)] の順にクリックし、次のように入力してルーターのコンフィギュレーション画面を表示します。

<http://my.router> (またはデフォルトアドレス <http://192.168.2.1>。)

- はじめてワイヤレスブロードバンドルーターを設定する場合、またはユーザー名やパスワードが変更されていない場合、[User Name (ユーザー名)] と [Password (パスワード)] ボックスの両方に「admin」と入力し、[OK] をクリックします。
- 下のようなコンフィギュレーション画面が表示できたら、[Basic Settings (ベーシック設定)] などのトピックを選択し、上にあるナビゲーションバーの対応するタブをクリックし、ルーターを管理します。



注意: Dell の技術担当者は、設定プログラムの Advanced Settings (詳細設定) の設定オプションに対するサポートは提供しません。これらのオプションはユーザ-の便宜を図るためにのみ提供されるものですが、このガイドではすべての詳細設定について説明します。



DELL TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ

基本設定

基本設定でルータのモード、ワイヤレスネットワーク名、チャンネル、ワイヤレスセキュリティ、インターネット接続の設定を変更してください。

詳細設定

詳細設定でルータのIPアドレス、DHCPサーバーオプション、時間帯、ワイヤレスの設定、アクセスコントロールオプション、管理オプションの変更をしてください。

デバイスの状況

デバイスステータスで各ルータへの接続状況を確認してください。

システムツール

システムツールで侵入者検出記録ログの確認、ルーティングテーブルの表示、システム分析の実行、デフォルト設定のロード、ファームウェアのアップグレード、ルータのリセットをしてください。

ヘルプ

ヘルプリンクで画面上にルータ機能に関するヘルプを表示してください。

ログオフ

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータ設定の終了

[トップに戻る](#)

Log Off (ログオフ)

複数の人がワイヤレスブロードバンドルータを同時に設定する場合混乱を避けるために、ウェブベースコンフィギュレーションツールを使用すると、1人のユーザーがいつでもコンフィギュレーション画面にアクセスできません。しかし、現在の管理者がウェブベースコンフィギュレーションツールの使用をやめて他の人がツールに再度アクセスするまで5分のデフォルトタイムアウトがあります。

5分のタイムアウトの影響を最小にするためには、[Log Off (ログオフ)] タブをクリックし、ウェブベースコンフィギュレーションツールのコントロールを放棄します。こうすると他のユーザーがツールに正規にアクセスできません。

[トップに戻る](#)


[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

基本設定 Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ ユーザズガイド

[Basic Settings (基本設定)] には以下のオプションが含まれます。

- ▶ [Router Mode \(ルータモード\)](#)
- ▶ [Wireless Settings \(ワイヤレスの設定\)](#)
- ▶ [Wireless Security \(ワイヤレスセキュリティ\)](#)
- ▶ [Internet Connection Settings \(インターネット接続設定\)](#)
- ▶ [Save & Apply \(保存して決定\)](#)

 注意: 設定に加えた変更を実行するには、保存してルータを再起動する必要があります。再起動しない場合、ルータは以前の設定を使用します。ウェブ設定ツールの [Basic Settings (基本設定)] で [BACK/NEXT (戻る/次に)] リンクを使用して各スクリーンを移動する場合、最終的には [Save & Restart (保存して再起動)] ページが表示されます。[Save & Restart (保存して再起動)] をクリックし変更を保存すると、ルータは自動的に再起動し新しい設定が有効になります。

ルータモード

Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータ のデバイスには、[Gateway (ゲートウェイ)] と [Access Point (アクセスポイント)] モードの二種類のモードがあります。

[Gateway (ゲートウェイ)] モードによって、ルータがブロードバンドルータと接続するワイヤレスネットワークを設けます。有線およびワイヤレスネットワークデバイスはゲートウェイモードの [Internet (インターネット)] ポートを通して同一のインターネット接続を共有します。しかし、ISPによってはルータを使用してインターネットにアクセスする前にPPPoEのような詳細設定が必要となる場合があります。

[Access Point (アクセスポイント)] モードによって、ルータが既存のネットワーク内のワイヤレスデバイスとイーサネットデバイス間でブリッジします。すべての有線およびワイヤレスデバイスは同一のクラスCのサブネットに置かれます。インターネットポートはここでは使用しません。アクセスポイントモードは独立した単一のネットワークを設定する際に役立ちます。


 注意: デバイスがAPモードにされると、[Internet Connection Setting (インターネット接続設定)] は使用できません。

[Gateway (ゲートウェイ)] モードはワイヤレスブロードバンドルータにおけるデフォルト設定です。[radio] ボタンをクリックして、これら二つのモードを選択してください。

[NEXT (次に)] をクリックして続けてください。

Wireless Settings (ワイヤレス設定)

ワイヤレスブロードバンドルータを設定する場合、ワイヤレスパラメータを次のように設定します。ワイヤレスブロードバンドルータを既存のワイヤレスネットワークに追加する場合、ネットワーク管理者または最初にワイヤレスネットワークをセットアップした人に相談してください。ワイヤレス設定に不慣れな場合、下の説明を参照してください。

-  **注意:**各クライアントのワイヤレスアダプタ設定を変更して、ワイヤレスブロードバンドルータの設定と一致させる必要があります。デフォルト設定が変更されていない限り、ワイヤレスブロードバンドルータの出荷時デフォルトを使用してください。この場合、変更に留意し、各ワイヤレスネットワークカードの新しい変更を使用します。ワイヤレスネットワークカードの設定については、カードのマニュアルを参照してください。

設定	可能な値
ネットワーク名 (SSID)	(デフォルトは<wireless>)
Channel (チャンネル)	(デフォルトは6)

ネットワーク名 (SSID)

ネットワーク名は、特定のネットワーク内で見つかる [**wireless (ワイヤレス)**] デバイスの集合体を識別する値です。ワイヤレスブロードバンドルータのデフォルト値は、「wireless (ワイヤレス)」です。すべてのワークステーションおよびアクセスポイントは、互いに通信するには同じ SSID を使わなければなりません。

SSID は 32 文字のフィールドで、大文字と小文字を区別します。例：住所、WLAN の物理位置の別の識別子、ユーザーの名前、会社名、会社名と所属部署、お気に入りのスローガンやことわざなど。

チャンネル

ワイヤレスブロードバンドルータ

ワイヤレスブロードバンドルータは様々なチャンネルで動作します。近接しているユニットは異なるチャンネルを使用する必要があります。ユニットが 1 台だけの場合、デフォルトはチャンネル 6 で、恐らくこれで充分です。ネットワークに複数のアクセスポイントがある場合、各ユニットにチャンネルを交互に配置することを推奨します。マイクロ波、携帯電話タワー、または地域内にその他のアクセスポイントがあるなどチャンネルを変更する特別の理由がない限り、デフォルトを使用することを推奨します。

[**NEXT (次に)**] をクリックして続けます。

ワイヤレスセキュリティ

データの暗号化は、暗号化キーを用いてネットワークのコミュニケーションをコード化し安全性を高めます。ワイヤレスブロードバンドルータは、暗号化をサポートするワイヤレスネットワークアダプタと共同で送信されたデータが他人に盗聴されたり奪われたりすることがないようにスクランブルをかけます。データの暗号化は WEP と WAP の二つが可能です。ワイヤレスセキュリティを有効にするには [**Enable Wireless Security (ワイ**

ヤレスセキュリティを有効にする)] のボックスを選択してください。 .

WEP

WEP暗号化を有効にする場合は、 [Network Authentication (ネットワーク認証)] リストでWEPを選択してください。

設定	可能な値
Key Format (キーフォーマット)	16進数 / ASCII 文字
Key Length (鍵長)	40 ビット (5文字) / 104バイト (13文字)
Key1, Key2, Key3, Key4	< (ユーザー定義) >

WEP暗号化には40(64)ビットと104(128)ビットの2つのレベルがあり、104(128)ビットはより安全です。WEP暗号化キーは、ランダムに選択された16進 数もしくはASCII文字の組み合わせです。各ワイヤレスブロードバンドルータおよびワイヤレスワークステーションが正常に通信されるためには同一のWEP暗号化キーを使用する必要があります。暗号化についての詳細は、ユーザーガイドの[Wireless Networking Overview \(ワイヤレスネットワークの概要\) - 暗号化](#)のセクションを参照してください。

- キーフォーマット

キーフォーマットにはASCIIと16進数フォーマットの2種類のフォーマットがあります。16進数は0から9の数字 およびAからFのアルファベットで構成されます。例えば、10進法の15は16進法の番号システムではFと表示されます。ASCIIフォーマットを選択すると、どんな文字 でも入力することができます。ASCIIは*American Standard Code for Information Interchange*の略で、ASCIIでは、各文字に1から127の数字が割り当てられており、アルファベットで数字を表します。例えば、ASCIIコードの大文字のM は77に相当します。大部分のコンピュータはテキストを表すためにASCIIを使い、コンピュータ間のデータ送信を可能とします。

- 鍵長

鍵長には、**40(64)ビット**と**104(128)ビット**の2つがあります。基本的に キーが長いほどデータの安全性が高くなります。ワイヤレスネットワークカードによっては、40(64)ビットの暗号化のみを実行できる場合があります。クライアントが104(128)ビットでしか通信できない場合には104(128)ビットを選択し、クライアントが40(64)ビットでしか通信できない場合は40(64)ビットを選択するようにします。

- キー

40(64)ビット暗号化を選択する場合は、フィールドに5文字 (10の16進数) のWEP暗号化キーを入力します。104(128)ビット暗号化を選択する場合は、フィールドに13文字 (26文字の16進数) を入力します。ワイヤレスブロードバンドルータに保存する際、4つの異なったキーを入力できるオプションがあります。暗号化のドロップダウンリスト中の [**Default Key** (デフォルトキー)] において提供される4つのキーのうち1つだけを選択します。安全性を強化するために、キーを頻繁に変更するようにしてください。ワイヤレスデバイスでキー変更を行う際は、すべてのワイヤレスデバイスおよびネットワークのアクセスポイントにおいても同様の変更が必要です。



注意: ワイヤレスブロードバンドルータを既存のネットワークに追加し、既存の暗号化キーをワイヤレスクライアントに使用する場合、ネットワークの管理者に相談してください。ワイヤレスブロードバンドルータの暗号化を設定する際には、同一のキーを使用します。管理者は、ネットワークのすべてのアクセスポイントやワイヤレスクライアントに対してこれらのキー変更を通知してください。1つのアクセスポイントもしくはワイヤレスクライアントがキー変更を行うと、他のすべてのネットワークとの接続ができなくなります。

WPA

WPA 暗号化を有効にする場合は、[**Network Authentication** (ネットワーク認証)] リストより**WPA**を選択します。

WPAは、ワイヤレスネットワークの安全性を高めるため、WEP (Wired Equivalent Privacy) をアップグレードしたものです。

WPAを利用してワイヤレスネットワークの安全性を強化する場合は、以下が必要です。

- Dell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータでWPAを有効にする。
- ワイヤレスクライアントをサポートするWPA。Dell TrueMobileワイヤレスクライアントをご使用の際は、<http://support.dell.com>で、ワイヤレスクライアントをサポートするWPAが有効なソフトウェアの更新の可能性を確認してください。

フィールドに必要なパラメーターを入力します。

- **WPA Pre-shared キー**

WPA Pre-Shared キー (PSK) はパスワードが入力されるフィールドです。すべてのワイヤレスクライアントはネットワークに接続するためにこのパスワードを入力する必要があります。キーフォーマットはワイヤレスクライアントの設定に合わせるようにしてください。

- **キーフォーマット**

キーフォーマットボックスには**16進数** (0-9 の数字とA-Fのアルファベットのみ)と**ASCII**(すべての文字、数字、シンボル)の2つのリストがあります。キーに適切なフォーマットを選択します。ワイヤレスクライアントが上記のうち片方のみをサポートしている場合は、サポートされている方法を選択するようにしてください。

- **WPA グループ再入力インターバル**

WPAグループ再入力インターバルは、暗号化キーのローテーションの回数を指定するのに利用されます。数が小さければ小さいほど暗号化キーがローテーションされますが、数字が小さすぎるとワイヤレスネットワークがスローダウンします。

- **WPA 暗号化**

WPA暗号化には二種類あり、**TKIP** (Temporal Key Integrity Protocol) は最も一般的な暗号化方法で、**AES** (Advanced Encryption Standard) は、ワイヤレスクライアントがTKIPをサポートしていない場合に使用できます。

[**NEXT** (次に)] をクリックして続けてください。


[トップに戻る](#)

インターネット接続の設定

ワイヤレスブロードバンドルータがルータとして使用される場合のみ設定する必要があります。ISP設定に関する詳細は、[ISP設定選択リスト](#)を参照してください。

 **注意：** [Installation (インストール)] と [Setup First Computer (一台目のコンピュータを設定する)]


を選択後、セットアップウィザードが、ルータに必要なケーブル/xDSL ISP設定を入力し、インストールを完成します。セットアップウィザードがインターネット接続できない場合のみ、オプションでCable/xDSL ISPの設定を変更する必要があります。

 **注意:** デバイスがAPモードにされると、インターネット接続は使用できません。

ISPによるホストコンピュータ名とドメイン名の入力要求

ISPによりホストコンピュータ名とドメイン名の入力が必要とされたら、ボックスから **[Your ISP requires you to input Host Computer Name or Domain Name (ISPによるホストコンピュータ名とドメイン名の入力リクエスト)]** を選択します。ボックスはケーブルによるISPがホストコンピュータ名かドメイン名を提供している場合のみ選択します。正しい値をフィールドに入力します。

[**NEXT** (次に)] をクリックして続けてください。

 **注意:** ホストコンピュータ名およびドメイン名はケーブルモデムISPによってのみ利用されません。

ISPによるWANイーサネットMacアドレスの入力要求

ISPによりWANイーサネットMACアドレスの入力が必要とされたら、ボックスから **[Your ISP requires you to input WAN Ethernet MAC (ISPによるWANイーサネットMacアドレスの入力 リクエスト)]** を選択します。フィールドにワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられたパブリックWAN (ケーブル/xDSL) MACアドレスを入力します。ワイヤレスブロードバンドルータのバックパネル上かウェブによる設定ツールのデバイスインフォメーションページでWAN MACアドレスを検出できます。

[**NEXT** (次に)] をクリックして続けてください。

接続タイプ

リストの4つのオプションから接続タイプを選択します。

- ケーブルモデム
- DSL (静的)
- DSL (PPPoE)
- PPTP

ケーブルモデム設定

更に設定する必要はありません。ケーブルモデム接続に関する上記の設定が正しいかどうかを確認してください。

DSL 静的 IP設定

フィールド (下記に列挙) にISPから提供されたIPアドレス、IPサブネットマスク、ISPゲートウェーアドレス、ドメイン名サーバー (DNS) IPアドレスを入力します。

- ISPから提供されたIPアドレス
- IPサブネットマスク
- ISP ゲートウェーアドレス

- ドメイン名サーバー (DNS) IPアドレス

DSL PPPoE 設定

Point to Point Protocol over Ethernet (PPPoE)は、ホストのPCがネットワークに接続するためにブロードバンドモデム (例：xDSL、ケーブル、ワイヤレスなど) とどのように相互作用するかを特定します。PPPoEは多くの面でダイヤルアップネットワークと似ています。DSL (PPPoE)インターネット接続の場合は、ISPから提供されたPPPoEユーザー名とパスワード (パスワードは確認のため再入力が必要) を入力します。


PPTP 設定

通常インターネットサービスプロバイダ (ISP) より以下の設定が提供されます。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- サーバー IP アドレス
- ユーザー名
- パスワード

ISPがPPTP (Point-to-Point Tunneling Protocol) をインターネット接続に指定する場合は、セットアップウィザードを利用してルータを自動的にセットアップすることはできません。イーサネットケーブルをコンピュータからはずし、ルータのインターネットポートに接続します。他のイーサネットケーブルの一方を4LANポートのいずれかに、もう一方をコンピュータに接続します。自動的にアドレスを維持されるようイーサネットアダプタを設定します。コンピュータのネットワークアダプタ設定についての詳細は、Windowsのヘルプを参照してください。


[**NEXT** (次に)] をクリックして続けます。

 **警告!** インターネット接続が分単位計算で支払われる場合、インターネットに接続しない際にはワイヤレスブロードバンドルータ上のインターネットポートからネットワークケーブルをはずすようにしてください。

[トップに戻る](#)

保存して決定

保存して決定のページを利用してすべてのネットワーク設定の変更を送信することができます。[**Save & Restart** (保存して再起動)] をクリックするとワイヤレスブロードバンドルータのネットワーク設定が更新されます。新しい設定がファームウェアに書き込まれ、ワイヤレスブロードバンドルータが自動的に再起動されます。

 **注意:** ネットワークにワイヤレスクライアントがある場合、ワイヤレスブロードバンドルータの設定に合わせてクライアントのワイヤレスネットワークカードを設定する必要があります。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

デバイス情報とステータス Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

[Device Information & Status(デバイス情報と状況)] ページには、Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータの基本的なネットワーク設定が表示されます。ネットワーク設定に変更が加えられると、これらの情報は更新されます。さらに、ワイヤレスブロードバンドルータとネットワーク内のその他のデバイスの現在の接続状況がビジュアルに表示されます。ネットワークデバイス間の接続は黄色の矢印で表示され、操作不可能な接続は、1本の赤のスラッシュが入った黄色の接続ラインで表示されます。

- TrueMobile 2300ルのネットワークのステータスは、2種類の方法でチェックできます。Windowsベースのソフトウェアプログラム[コントロールユーティリティ](#)では、PCとインターネットの接続を監視できます。このユーティリティの詳細については、上記のリンクをクリックしてください。別の方法は、ルータ内のWebコンフィギュレーションツールを使う方法で、ネットワークとユニットの詳細情報が提供されます。

図1. Device Status[デバイスステータス]ページ

The screenshot displays the 'Device Status' page of the Dell TrueMobile 2300 wireless broadband router. The page is divided into several sections:

- Navigation:** Includes '基本設定', 'デバイスの状況' (selected), 'システムツール', '詳細設定', 'ヘルプ', and 'ログオフ'.
- WAN MAC Section:** Shows 'インターネット: Active', IP address 10.10.0.2, DNS server 10.10.0.1, and gateway IP 10.10.0.1. Buttons for '解除' and '更新' are present.
- LAN MAC Section:** Shows router IP 10.20.0.1, LAN MAC 00:90:4C:44:07:E8, WAN MAC 00:90:4c:4a:00:2c, and router name 'TrueMobile2300'.
- Device Status Diagram:** A central router icon is connected via orange arrows to a laptop labeled 'ワイヤレス' (Wireless) and a globe labeled 'インターネット' (Internet). A red 'X' is placed over the arrow to the wireless laptop, indicating a disconnected or non-operational connection.
- Time and Lease Info:** Shows 'PacificTime Wed Jul 9 07:02:39 2003' and 'Current DHCP Lease'.
- DHCP Lease Table:** A table with columns for 'ホストコンピュータ名', 'MAC', 'IP', and 'Lease Time'.

ホストコンピュータ名	MAC	IP	Lease Time
	00:00:1C:D3:B5:72	10.20.0.2	37467 days, 23 hours, 26 minutes, 0 seconds

デバイス情報とステータス

[Device Information & Status (デバイス情報と状況)] ページには、以下の接続状況が表示されます。

デバイス	表示
ケーブル/xDSL モデム	非アクティブなケーブル/DSL 接続は、ケーブルが接続されていないか、ワイヤレスブロードバンドルータがIPアドレスを受信していないことを示します。 アクティブ接続とは、ルータのWANインターフェースに有効なIPアドレスがあり、コンピュータがルータ経由でインターネットに接続できる状態です。
有線クライアント (LAN)	有線クライアントが設定され、使用するネットワークに物理的に接続されている際に、アクティブな接続として表示されます;PCにイーサネットケーブルが接続されていない場合はアクティブではありません。
ワイヤレスクライアント	ワイヤレスクライアントがネットワークに接続されている際にアクティブな接続として表示されます; ルータにワイヤレスクライアントが接続されていない場合はアクティブではありません。

ワイヤレスブロードバンドルータは、DHCP サーバとして動作する際、IP アドレスをネットワーク上のクライアントに割り当て、これらの IP アドレスは、[Device Status (デバイスの状況)] 図下の [DHCP Log (DHCP ログ)] に表示されます。

WAN イーサネット設定

次の WAN イーサネット設定およびワイヤレスブロードバンドルータ用のインターネットプロトコル (IP) 設定については、画面の左側を参照してください。

設定/デバイス	表示される情報
Internet	アクティブ/非アクティブ。
Router IP	ワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられた IP アドレス。
LAN MAC	LAN およびワイヤレスインターフェイス用 MAC アドレス。
WAN MAC	WAN インターフェイス用 MAC アドレス。
デバイス名	ワイヤレスブロードバンドルータのホスト名。
ファームウェアバージョン	ワイヤレスブロードバンドルータに現在インストールされているファームウェアのバージョンナンバーとそのリリースされた日付。
ワイヤレスチャンネル	ワイヤレスブロードバンドルータが空中で通信する無線チャンネル。
ネットワーク名	ネットワークを識別する独自の名称で、別名SSID (Service Set Identifier) です。クライアントのステーションがルータに接続しようとする際、ユーザーは予めルータのSSIDを知っておく必要があります。

次のボタンが左側のナビゲーションバーに表示されます。

ボタン	操作
	このボタンをクリックすると、ISPワイヤレスブロードバンドルータに割り当てられている IP アドレスをリリースします。ワイヤレスブロードバンド

RELEASE (リリース)	ルータが静的 IP アドレスを受信するように設定されている場合は、[Release (リリース)] をクリックしてもこの IP アドレスはリリースされません。
RENEW (更新)	このボタンをクリックすると、DHCP サーバを使う IP アドレスを更新しようとしています。ワイヤレスブロードバンドルータが静的 IP アドレスを受信するように設定されている場合は、[Renew (更新)] をクリックしてもこの IP アドレスはリリースされません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

System Tools (システムツール) Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ) やルーティングテーブル、デバイス設定およびステータスに関する System Diagnostics (システム診断) を表示するには、System Tools (システムツール) を使用します。これら 3 つのテーブルは、参考資料としてのみ利用してください。[System Tools (システムツール)] のセクションには、デフォルト設定の再ロード、ワイヤレスブロードバンドルータ用ファームウェアのアップグレード、およびユニットのリセットをするための機能も含まれます。

ウェブベースのコンフィギュレーションツールで以下のページを使い、[System Tools (システムツール)] セクションにアクセスします。

- ▶ [Intruder Detection Log \(侵入者検出記録ログ\)](#)
- ▶ [Display Routing Table \(ルーティングテーブルの表示\)](#)
- ▶ [System Diagnostic \(システム診断\)](#)
- ▶ [Load Default Setting \(デフォルト設定のロード\)](#)
- ▶ [Upgrade Firmware \(ファームウェアのアップグレード\)](#)
- ▶ [Reset Device \(デバイスのリセット\)](#)

Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ)

インジケータ	説明
イベント	ルータが検出した攻撃タイプ。
時間	IPパケットのタイムスタンプから時間のオフセットを調整したもの。
ソースIP	パケットの送信元のIPアドレス。
指定IP	通常ワイヤレスブロードバンドルータのIPアドレス。
ポート	ポートナンバー。

システムはe-mailでアクセス侵入警報を出します。

- [e-mail警報を有効にする]のボックスを選択します。
- 警報メッセージを受信するe-mailアドレスを[e-mailアドレス]のフィールドに入力します。
- [送信]ボタンをクリックします。

下の図より、INT_ATEMPTイベントの例で、IPアドレスが192.168.2.60(ソース)のコンピュータから、ルータのポートナンバー80に12 AM:1 Min: 5 Secに侵入が試みられたことがわかります。

[トップに戻る](#)

Display Routing Table (ルーティングテーブルの表示)

インジケータ	説明
タイプ	ルーティングのタイプで、以下のいずれか。 LAN か WAN インターフェイス (INTF) 静的ルーティング
指定LAN IPアドレス	ネットワーク全体または特定の IP アドレス。「.0」で終わる IP アドレスは、ネットワークを指す。
サブネットマスク	サブネットマスクルールに従う必要がある。
ゲートウェー IPアドレス	送信先の IP アドレスと一致する IP アドレスと通信するために、ワイヤレスブロードバンドルータはすべてのトラフィックをここに表示されるゲートウェイ IP アドレスに送信します。
Hop カウント	パケットが目的地に着くまでに通過したルータの数。Hopカウントは、ソースと目的地間の距離を測るのに利用されます。ソースと目的地ノード間に3つのルータがあれば、パケットが目的地に着くとHopカウントは3となります。

下の図は、現在ルータにある3つのネットワークルートを示しています。192.168.2.0は、ルータのインターフェイスポート (LANまたはWAN) の1つに接続している送り先のネットワークで、このインターフェイスのIPアドレスとサブネットマスクは、それぞれ192.168.2.1と255.255.255.0です。パケットが横断するルータ (Hop Count) 数は1です。また、この例では、送り先が0.0.0.0のネットワークと0.0.0.0サブネットマスクは、ルータのデフォルトルートで、マップされずに他のルートに送られたパケットはこのルータにマップされます。送信デフォルトゲートウェイのIPアドレスは169.95.1.254です。

DELL DELL TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ

基本設定 **デバイスの状況** システムツール 詳細設定 ヘルプ ログオフ

メインメニュー

- 侵入者検出記録ログ
- ルーティングテーブルの表示**
- システム診断
- デフォルト設定のロード
- ファームウェアの更新
- デバイスのリセット

ルーティングテーブルの表示

タイプ	指定IPアドレス	サブネットマスク	ゲートウェイIPアドレス	ホップ数
INF	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2.1	1
INF	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168.253.222	1
INF	0.0.0.0	0.0.0.0	192.168.1.254	1

Copyright © 2003

[トップに戻る](#)

System Diagnostics (システム診断)

Systems Diagnostics (システム診断)]のページは参考資料としてのみ利用してください。このページはワイヤレスブロードバンドルータの設定および診断の両方を表示します。設定にはネットワークに設定したISP およびデバイス設定が含まれます。

[Diagnostics (診断)]セクションにはネットワークにおける現在の接続状況が表示されます。診断の設定にはISP ステータス、リンクステータス、現在のWAN 接続、LAN MAC テーブル、およびWAN MAC テーブルが含まれません。

[トップに戻る](#)

Load Default Setting (デフォルト設定のロード)

[Load Default Settings (デフォルト設定のロード)]ページでは、デバイスの出荷時デフォルト設定を再ロードできます。このオプションを実行すると、デフォルトIP アドレスは製造元のデフォルト値(192.168.2.1) にリセットされます。これは、デバイスの背面にある[Reset (リセット)] ボタンを3秒以上押さえる場合と同じです。(詳細は [A Look at the Hardware](#) を参照してください)


- ➡ **Load Default Settings (デフォルト設定のロード)** を使うと、既存のワイヤレスブロードバンドルータの設定が失われます。

デフォルト設定を再ロードするには、[START (スタート)] ボタンをクリックします。

[トップに戻る](#)

Upgrade Firmware (ファームウェアのアップグレード)

Dell では、パフォーマンスと機能の向上のため、定期的にファームウェアの更新版をリリースします。ワイヤレスブロードバンドルータのファームウェアをアップグレードするには、ワイヤレスブロードバンドルータのアップデートユーティリティを使います。まず新しいファームウェアを Dell のサポートウェブサイト、support.dell.com からダウンロードし、ネットワークのいずれかのクライアントに保存します。ファームウェアをアップグレードするには、ディレクトリのパスを入力するか、[Browse (参照)] ボタンをクリックしてアップグレードするファームウェアのファイルを選択します。

 注意: 選択するファイルが実際に Dell(R) TrueMobile(TM) 2300 ワイヤレスブロードバンドルータファームウェアファイルであることを確認してください。

ファイルを選択し、[START (スタート)] ボタンをクリックします。ファームウェアがワイヤレスブロードバンドルータに書き込まれた後、ユニットが再起動します。ワイヤレスブロードバンドルータのリセット中は、ユニット正面の [Power (電源)] ランプが点滅します。

[トップに戻る](#)

Reset Device (デバイスのリセット)


システムエラーが発生した場合、Reset Device (デバイスのリセット) 機能を使用します。この機能は出荷時デフォルト設定を再ロードできません。システムに支障が起こる前のネットワーク設定にデバイスをリセットします。これは、デバイスの電源を切って再度電源を入れる、または [Power (電源)] ライトが点滅するまで 3 秒間リセットボタンを押すのと同じことです。設定はそのまま保存されます。

 注意: ネットワーク設定の更新中にデバイスの設定をリセットすると、これらの変更は消去されます。

ワイヤレスブロードバンドルータを [current firmware settings (現在のファームウェア設定)] にリセットするには、[START (スタート)] ボタンをクリックします。ワイヤレスブロードバンドルータのリセット中は、ユニット正面の [Power (電源)] ランプが点滅します。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)



[目次に戻る](#)

Advanced Settings (詳細設定) :Dell™ TrueMobile™ 2300ワイヤレスブロードバンドルータユーザズガイド

- ▶ [IP詳細設定](#)
- ▶ [DHCP サーバー設定](#)
- ▶ [時間設定](#)
- ▶ [詳細ワイヤレス](#)
- ▶ [パラレルコントロール](#)
- ▶ [接続コントロール設定](#)
- ▶ [ポート転送設定](#)
- ▶ [静的ルーティング](#)
- ▶ [管理設定](#)

- 注意: Dell テクニカルサポートは、設定プログラムの Advanced Settings (詳細設定) の設定オプションに対するサポートは提供しません。これらのオプションはユーザーの便宜を図るためにのみ提供されるものですが、このガイドではすべての詳細設定について説明します。
- 注意: オプションの [Port Forwarding Setting (ポート転送設定)] と [Static Routing (静的ルーティング)] は接続ポイントモードでは表示されません。
- 注意: [Advanced Settings (詳細設定)] で変更を行い [SUBMIT (送信)] ボタンをクリックすると、[Save & Restart (保存して再起動)] ボタンをクリックできるページに移動します。このボタンをクリックして変更を保存しルータを再起動します。変更を有効にするには、すべての新しい設定を保存する必要があります。

IP 詳細設定

Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータには [IP Address (IPアドレス)] および [IP Subnet Mask (サブネットマスク)] が割り当てられています。これらの設定はルータの[Local Network (ローカルネットワーク)] 部にのみ適用されます。既存のネットワークにユニットをインストールする場合や、単にこれらの値を変更する場合には、ネットワーク上のデバイスすべての IP サブネットマスクが同じであることを確認します。また、IPアドレスのネットワーク部分も、ネットワークにおけるすべてのデバイスで同一にする必要があります。

- 注意: Dell では、特別な理由がない限り、IP アドレスを変更しないことを強く推奨します。

IP アドレスの変更時には、以下に留意してください。

- ワイヤレスブロードバンドルータを変更すると、DHCP サーバが有効な場合には IP アドレス pool も変更されます。
- ワイヤレスブロードバンドルータをケーブルモデムまたは DSL 回線で使用している場合は、「プライベート

ト」な IP アドレスを割り当てます。プライベートな IP アドレスの範囲は、以下の 3 つの内のどれかとなります。

- 10.0.0.1-10.254.254.254
 - 172.16.0.1-172.31.254.254
 - 192.168.0.1-192.168.254.254
- ウェブベースの設定ツールに接続するには、新しい IP アドレスを使わなければなりません。

➡ **注意:** 既存の有線ネットワークにワイヤレスブロードバンドルータをインストールし、セットアップウィザードでワイヤレスブロードバンドルータの **DHCP**サーバ機能が無効になっている場合のみ、**IP** アドレスおよび **IP** サブネットを変更します。詳細情報は、ネットワーク管理者に問い合わせてください。

[**SUBMIT** (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

DHCPサーバー設定

Dynamic Host Configuration Protocol (DHCP) は、IP アドレスをネットワーク上のコンピュータに自動的に割り当てる方法を定義付けます。IP アドレスは DHCP サーバで管理されます。Windows コンピュータが IP アドレスを自動的に取得するように設定されている場合、DHCP サーバからアドレスが自動的に取得されます。

DHCPサーバー機能を有効にする

デフォルトでは、ワイヤレスブロードバンドルータは、DHCP サーバとして機能するように設定されています。DHCP サーバが搭載されている既存ネットワークにユニットをインストールする、またはワイヤレスブロードバンドルータをネットワークの DHCP サーバとして機能させたくない場合、[**Enable DHCP Server Functions** (DHCP サーバ機能を有効にする)] を選択せず、DHCP サーバ機能を無効にします。

IP Address Pool Range (IP アドレス Pool 幅)

[IP Address Pool Range (IP アドレス Pool 幅)] のセクションでは、ネットワークにおける IP アドレス値の高低を制御する手段が提供されます。該当するフィールドを使い、ワイヤレスブロードバンドルータが DHCP クライアントに提供する IP アドレス幅を定義します。入力できる有効変域は 1 から 254 までです。

リース時間は、DHCPサーバーから割り当てられたIPアドレスの使用を許可された時間です。DHCPサーバーよりクライアントが使用するIPアドレスのリース時間を指定します。この設定はユーザーが頻繁に変わる状況下で特に便利です。

IP Address Reservation (IP アドレスの予約)


またネットワーク内の特定のデバイス用に、特定の IP アドレスが予約されていることがあります。[**IP Address Reservation** (IP アドレスの予約)] フィールドでは、1 つのシステムに対し最高 4 つまでの IP アドレスを予約できます。[**Computer MAC** (コンピュータ MAC)] フィールドは、同じネットワーク内でルータとしてインターフェースするクライアントコンピュータのネットワークカードの MAC アドレスです。[**IP Address** (IP アドレス)] 下の入力ボックスを使い、手動で定義された IP アドレスを使うデバイスの IP アドレスとコンピュータ名を指定します。

[**SUBMIT** (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

時間帯

ドロップダウンリストから時間帯を選択するには [Time Settings (時間の設定)] ページを使います。Time Settings (時間設定) は Intruder Detection Log (侵入者検出記録ログ) のみに影響します。この設定は、Greenwich Mean Time (GMT) (グリニッジ標準時間) の IP パケットのタイムスタンプをオフセットします。IP パケットに常時このスタンプがあるとは限らず、また不正なスタンプを持つ場合もあるため、時間帯の情報が常に正確であるとは限りません。

国によっては、日光節約時間 (別名サマータイム) が活用されます。夏期に時計を標準時間より1時間進めます (高緯度の国では1時間以上進めます)。時間設定を確認するには、夏から冬にかけて時間を切り替えます。日光接続時間を採用している国に居住している場合は、日光節約時間設定ボックスを選択してください。

 **注意:** 日光節約時間設定は、以下の地域に適用されます。グアム、アラスカ、太平洋標準時、山地標準時、メキシコ、中央オーストラリア標準時、東部標準時、大西洋標準時、イギリス、フランス、ギリシャ、イラク、パキスタン、タイ、中国、シンガポール、ブラジル東部、ニュージーランド、オーストラリア。

[Time Settings (時間の設定)] は、[Parent Control (親コントロール)] オプションにも影響します。このオプションでは、親がインターネット接続をコントロールできます。このオプションを有効にするには、ルータのウェブ設定ツールの [Advanced Settings (詳細設定)]、[Parental Control (親コントロール)] の順にクリックします。デフォルトでは、インターネット接続はどの場合も阻止されていません。

[SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

ワイヤレス詳細

Enable Wireless (ワイヤレスを有効にする)

ワイヤレスブロードバンドルータで無線の送受信を有効にするにはこのボックスを選択します。無線を無効にするにはこのボックスを選択しません。

Hide my wireless network (ワイヤレスネットワークを無効にする)

このボックスを選択すると、ワイヤレスブロードバンドルータでビーコンパケットをワイヤレスネットワークに送信できます。デフォルトによって選択されない場合、他のユーザーは、ワイヤレスブロードバンドルータを簡単に見つけ、関連付けることができます。しかし、ワイヤレスネットワークのセキュリティを高くするためには、この機能をオンにする必要があります。

モード

TrueMobile2300ルータは802.11g互換機で、モードリストより[b&g (デュアルモード)]、[802.11b]、[802.11g]が選択できます。

SSID

Service Set Identifier (SSID) は、ワイヤレスネットワークを構成するすべてのコンピュータおよび装置を識別するための 32 文字の名前です。


転送速度

転送速度は自動または固定値に設定することができます。

自動に設定してワイヤレスネットワークデバイスが、特定の時間に最適な速度で転送できるように自動 (Auto) に設定することを推奨します。

チャンネル

チャンネル設定では、このワイヤレスブロードバンドルータもチャンネルを設定できます。ラジオチャンネルでは、通信の伝達が行われます。チャンネル番号の操作は、各ドメインによって異なります。

 **注意:** ビーコンインターバル、RTSしきい値、フラグメンテーションしきい値、DTMインターバルの設定をする場合は、[Advanced Options (詳細オプション)] が選択されていることを確認してください。

ビーコンインターバル

ワイヤレスブロードバンドルータからクライアントステーションへの無線ビーコンのインターバルで Kusecs (1 Kusec は 1,024 マイクロセカンド) で表されます。バリュー変域は1から65535です。

RTS しきい値

ワイヤレスブロードバンドルータがパケットを送信する前に [Request to Send (送信リクエスト)] を発行するパケットより大きいパケットサイズ。

RTS (送信リクエスト) は“隠れノード”問題を防止します。2つのステーションが同じ接続ポイント (AP) の範囲内であっても、両ステーション同士が互いに通信できる範囲にない場合、両者は隠れノードとなります。これらの2つのステーションからのパケットがAPに同時に到達すると両者が衝突する場合があります。隠れノードによるデータの衝突を避けるには、RTS機能を起動します。RTSが起動されると、まずデータを転送しようとするAPにステーションから通信が届き、次にAPがCTS (Clear to Send: 送信クリアー) とともに、該範囲内のすべてのステーションに対して応答・通告され、データ用の帯域幅が予約されます。

RTSしきい値はRTSに出力されるデータパケットのサイズをコントロールします。パケットがRTSしきい値を超えた場合のみ、パケット送信前にデバイスからRTSが送信されます。RTSしきい値のバリュー設定に関しては諸条件が考慮されます。小バリューであればRTSがより頻繁に送信されバンド幅を浪費しますが、RTSパケットの送信が頻繁になるにつれてシステムは衝突から回復しやすくなります。このため、デフォルトバリューを使用するか、デフォルトバリューをわずかに減らすことを推奨します。バリューの変域幅は0から2347です。

Fragmentation Threshold (フラグメンテーションしきい値)

パケットがフラグメントになり、全体が一度ではなく破片で送信されるサイズ。256 から 2346 バイト内で設定します。

DTIM インターバル

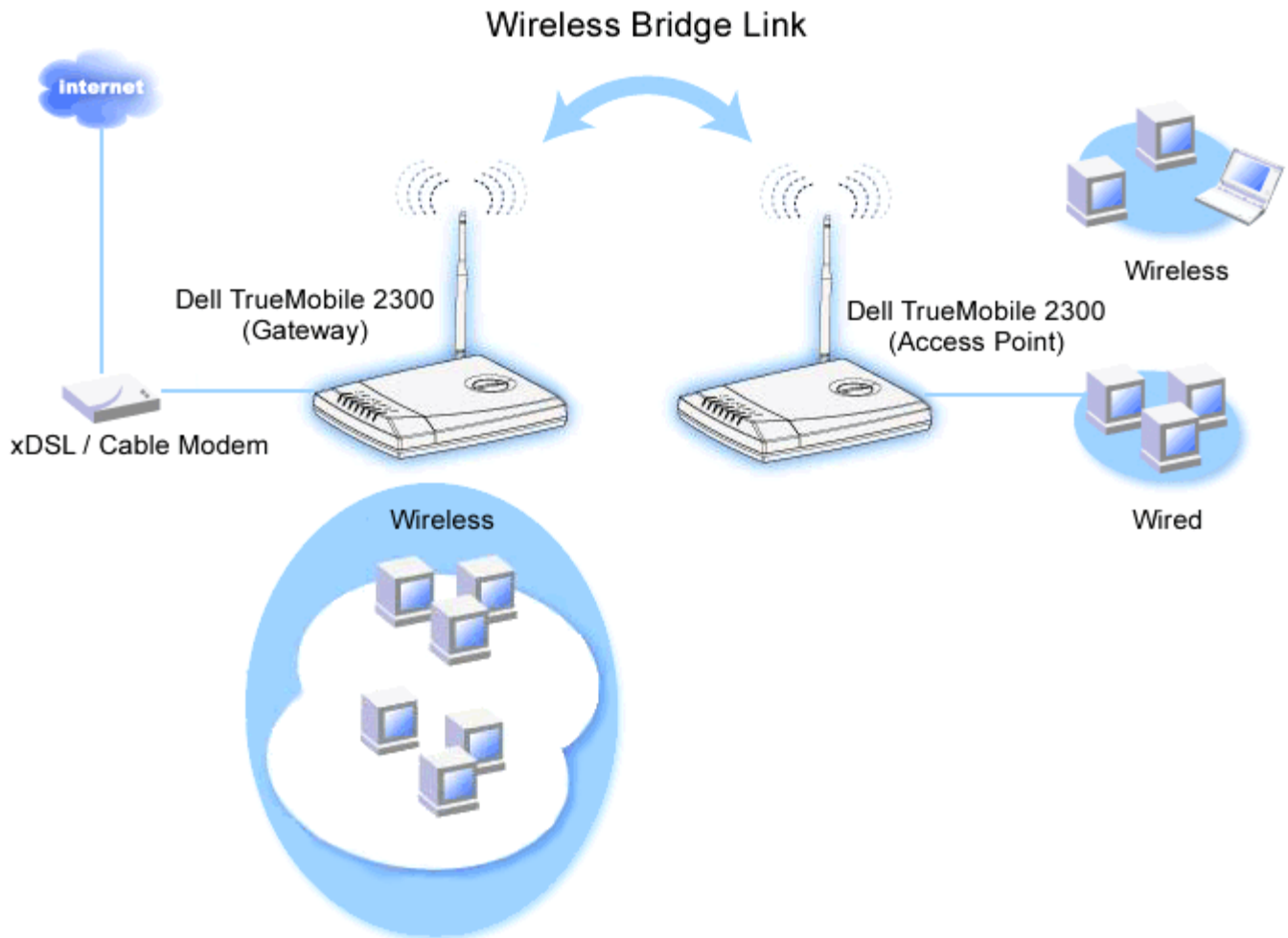
DTIM (Delivery Traffic Indication Message) インターバルは常にビーコンインターバルの倍数に設定し、Traffic Indication Message (TIM) がビーコンに含まれ回数を決定します。TIM はスリープ状態のステーションに警報を送り、データフレームを受信するまで起きてるようにさせます。バリュー変

域は1から255です。

ワイヤレスブリッジ


ワイヤレスブリッジはワイヤレスネットワークの受信可能範囲を高め、リモートコンピュータに対してワイヤレス接続を提供します。尚、ワイヤレスブリッジをセットアップするには2つ以上のDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータが必要です。

ワイヤレスブリッジをセットアップするには、すべてのDell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Routersに対して同様のワイヤレス設定を行う必要があります。




ワイヤレスブリッジのルータ設定:

- [**Enable Wireless** (ワイヤレスを有効にする)] を選択します。
- ワイヤレスのデフォルト設定を変更する場合は、[**Network name (SSID)** (ネットワーク名)] のフィールドにワイヤレスネットワーク名を入力してください。
- [**Advanced Options** (詳細オプション)] が選択されていないことを確認します。
- [**Wireless Bridge** (ワイヤレスブリッジ)] を有効にします。
- ブリッジする他のDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータのMAC アドレスを入力します。

 **注意:** 2つのブリッジを接続するには、ブリッジのMACアドレスを一方のエンドに入力します。3つのブリッジを接続するには、マルチポイントセンターとされるブリッジに2つのブリッジのMACアドレスを入力し、2つのブリッジにはセンターブリッジのMACアドレスのみ

を入力します。

- [**Submit** (送信)] をクリックします。
- [**Save & Restart** (保存して再起動)] をクリックします。
- ウェブブラウザがワイヤレスブロードバンドルータのメインページに戻り、デバイスが新しい設定に更新されました。
- ブリッジするDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータに対して1から8までの手順を繰り返します。
 -  **注意:** すべてのDell TrueMobile 2300ワイヤレスブロードバンドルータに対して同様のワイヤレス設定を選択し、直接インターネットに接続されないルータについては、接続ポイントモードに設定するようにしてください。

[Back to Top](#)

Parental Control (親コントロール)

IP フィルタリングは、IP アドレス、ポートナンバー、[Protocol (プロトコル)] タイプ、さらにその他の基準に基づいて、ネットワークノードが特定のタイプの IP データグラムを受信または拒否できる仕組みです。このルータでは 2 種類の IP フィルタリングがあり、インターネットへの接続をコントロールできます。

- [Internet Access Control (インターネット接続コントロール)] では、インターネットへの接続を時間帯でコントロールします。
- [Web Site Filtering Settings (ウェブサイトフィルタリング設定)] では、特定の IP アドレスが特定のウェブサイトへ接続することを拒否します。

Internet Access Control (インターネット接続コントロール)

- コントロールする特定のコンピュータ (例: クライアント) のIPアドレスを [IP Address (IPアドレス)] リストより選択します。
- インターネットへの接続を特定の時間帯だけ阻止するには、[Time Restriction (時間制限)] リストから開始時間と終了時間を指定します。
- [Internet Access (インターネット接続)] リストより [Allow (許可)] か [Deny (拒否)] を選択します。
- [SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

Web Site Filtering Setting (ウェブサイトフィルタリング設定)

- [Web Site Restriction (ウェブサイト制限)] のフィールドに接続許可または拒否するURL を入力します。
- 入力したウェブサイトへの接続の許可または拒否を選択します。
- [SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

Access Control Settings (接続コントロール設定)

Access Control Settings (接続コントロール設定) 機能では、どのクライアントコンピュータがルータ経由でネットワークに接続できるかコントロールできます。デフォルトでは、ワイヤレスブロードバンドルータはどのクライアントコンピュータにもネットワークへの接続を許可します。

ルータの接続コントロールを有効にするには:

- [Enable MAC Access Control (MAC 接続コントロールを有効にする)]** を選択します。
- [Operating Type (オペレーティングタイプ)]** を選択し、**[Allow grants client computers access to the router (クライアントコンピュータのルータへの接続を許可する)]**、**[Deny restricts the access (接続を拒否する)]** の順に選択します。
- 上記のコントロールポリシーを適用したいコンピュータのネットワークカードの MAC アドレスを入力します。
- [Add (追加)]** をクリックしてルータにルールを入力します。
- 既存のルールを削除するには、ルールの横にある **[Delete (削除)]** を選択し、**[Delete (削除)]** ボタンをクリックします。
- [SUBMIT (送信)]** ボタンをクリックし、変更を保存します。


[トップに戻る](#)


Port Forwarding Settings (ポート転送設定)

DMZ (非武装地帯)

DMZ (非武装地帯) は、すべてのポイントに接続することを許可する機能です。(例: ゲームサーバーをホストに関して問題がある場合、このオプションを選択できます。この機能によってすべてのポートがゲームサーバーに開放されます。)

- [Enable DMZ Host (DMZを有効にする)]** を選択します。
- [DMZ IP Address (DMZ IPアドレス)]** のフィールドにゲームアプリケーションを実行するコンピュータの IP アドレスを入力します。
- [SUBMIT (送信)]** をクリックし、設定を有効にします。

 **注意:** DMZモードでワイヤレスブロードバンドルータを設定すると、ワイヤレスブロードバンドルータを通して特定のゲームをプレイするのに便利ですが、その際ポートをその他の既存の設定ツールで開くことはできません。

 **注意:** インターネットサービスに接続する際にはセキュリティ問題が懸念されます。サービスに接続する際にはセキュリティ警告に十分注意し、接続コントロールおよび認証が実行されているかよく確認してください。

Custom Port Forwarding Settings (カスタムポート転送設定)

ポート転送はDMZと比べて設定が複雑ですが、1つのポート(またはポート範囲)のみがインターネットに開放されているため、インターネットアプリケーションやファイヤーウォールから提供されるインターネットサービスを実行する際に比較的安全です。ポート転送設定を利用すれば、LANで指定されたコンピュータを利用してデータ送信するポートやプロトコルを指定することができます。


例えば、LANで実行されるHTTPサーバーをインターネットに接続する場合に、パブリックIPアドレス(ISPより取得)がXXXX(Xは数字)で、LANをコントロールするワイヤレスブロードバンドルータ(192.168.2.1)のLANアドレスが192.168.2.2で、これらがコンピュータがHTTPサーバーをホストしてしましましょう。この場合、192.168.2.2と設定すると、ポート80(HTTP)へのポート転送が実行でき、インターネット上のユーザーはhttp://X.X.X.Xを開いてHTTPサーバー(192.168.2.2)を取得できます。この場合、ポート80がコンピュータ(192.168.2.2)を管理し、LAN上で他のコンピュータにはこのデータ送信が見えません。

インターネットアプリケーション(例えばインターネット通信、ゲーム等)によっては、このポート転送設定を利用

するとファイヤーウォールからアプリケーションが正確に実行されます。尚、これらのアプリケーションには特定のTCP/UDPポートが必要で、これらのアプリケーションに関するポートやプロトコルのタイプは、インターネットサービスによって異なります。詳しくはまずサービスプロバイダかアプリケーションのユーザーマニュアルを参照してください。

設定時には以下に留意してください。

- **[Enable (有効)]** ボックスを選択します。
- **[Service Name (サービス名)]** のフィールドに適切な名称、または詳細を入力します。
- **[Incoming Ports (受信ポート)]** のフィールドにポート範囲を入力します。1つのポートナンバーのみを指定する場合は、同じ番号を両ボックスに入力してください。
- **[Destination IP Address (指定IPアドレス)]** のフィールドに接続リクエストを受信するコンピュータのIPアドレスを入力します。
- **[Destination MAC Address (指定MACアドレス)]** のフィールドに接続リクエストを受信するコンピュータのIPアドレスを入力します。

 **インフォメーション: MACアドレスの検出**

以下にWindows 2000 および XPの環境下でのMACアドレスの検出方法を説明します。

- **[Start (スタート)]** 、 **[Run (ファイルを指定して実行)]** の順にクリックします。
- オープンフィールドにcmd と入力し、Enterキーを押すか、OKボタンをクリックします。
- コマンドプロンプトにipconfig/all と入力し、物理的アドレス (=MAC アドレス)を入手します。
- 入手した物理的アドレス(=MAC address)をメモしておきます。この情報は、設定時に必要となります。フォーマットはXX-XX-XX-XX-XX-XXで、Xは16進法のディジット (0-9 か A-F)となります。
- **[Destination Port (指定ポート)]** のフィールドにポートナンバー、マッピングしているマシンのポート範囲を入力します。
- **[PORT TYPE (ポートタイプ)]** のフィールドにTCPかUDP、または両方のプロトコルを選択します。プロトコルがアプリケーションのドキュメンテーションで指定される場合があります。
- **[SUBMIT (送信)]** をクリックし設定を有効にします。

たとえば、ゲーム「Fighter Ace II」をIPアドレス192.168.2.3のコンピュータでプレイしたい場合、**[Internal IP address (内部IPアドレス)]**に「3」を入力します。コンピュータのMACアドレスを検出し、指定マックアドレスを入力します。**[PortType (ポートタイプ)]**に**[TCP]**を選択して、**[Incoming Ports (受信ポート)]**と**[Destination Port (指定ポート)]**に「50000」と「51000」を入力します。**[SUBMIT (送信)]**をクリックし設定を有効にします。他のゲームやサービスについては、各アプリケーションのユーザーマニュアルを参照してください。

よく利用されるポート

サービス	プロトコルのタイプ	ポート
HTTP (WEB サーバー)	TCP	80
FTP	TCP	20, 21
TELNET	TCP	23
SMTP (メールサーバー)	TCP	25
POP3 (メールサーバー)	TCP	110

IRC	TCP	6667
NNTP (Newsサーバー)	TCP	119

Port Triggering (ポートトリガ)

ポートトリガによりルータは特定のポートナンバーに対して出力されるデータを確認することができます。データ送信するコンピュータのIPアドレスはルータに記憶されるので、ルータを経由してリクエストされたデータが戻る場合、データはIPアドレスおよびポートマッピングルールによって特定のコンピュータに送信されます。ポートトリガが実行されると、ルータがポートを開放します。アプリケーションを実行するコンピュータがポートを経由したデータ送信をストップすると、ルータはポートを閉じます。

- [Enable (有効にする)] を選択します。
- [Application Name (アプリケーション名)] のフィールドに適切な名称および詳細を入力します。
- [Trigger Port (トリガポート)] のフィールドにポートナンバーを入力します。トリガポートについての詳細は、インターネットアプリケーションのプロバイダに確認してください。
- [Trigger Port Type (トリガポートタイプ)] にTCP (Transmission Control Protocol)かUDP (User Datagram Protocol)のいずれか、または両方のプロトコルを選択します。
- 開始ポート数と終了ポート数を各フィールドに入力して [Public Ports (パブリックポート)] の範囲を指定します。
- [Public Port Type (パブリックポートタイプ)] にTCP (Transmission Control Protocol)か UDP (User Datagram Protocol)のいずれか、または両方(TCPとUDP)を選択します。
- [SUBMIT (送信)] をクリックして設定を有効にします。


[SUBMIT (送信)] をクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

Static Routing (静的ルーティング)

静的ルートは手動で設定されたリモートネットワークへのルートです。このルートは事前設定され、動的ルーティングで使う *Routing Information Protocol* (RIP) により検出されません。静的ルーティングは IP アドレスまたはネットワークにゲートウェイを割り当ててを許可します。RIP 1 または 2 に対応しない内部ネットワークのルータがある場合は、これらのルータに対して静的ルートを設定することができます。

静的ルーティングを使うとネットワークトラフィックが減少するため、インターネット接続速度が遅い場合に役立ちます。静的ルートを使うルーティングはネットワークが小規模な場合に実用的ですが、大規模ネットワークでは、実際の配線が変わるたびにルータで変更の記録を動的に行なわなければならないため、動的ルーティング (RIP) の使用が推奨されます。

-  **注意:** 静的ルーティングの設定は経験のあるネットワーク管理者のみ行うことを推奨します。正しい値がはっきりわかっている場合を除き、これらの設定を変更しないでください。無効な情報を入力すると、設定ツールに接続できないことがあります。

静的ルーティングを使うには、Static Routing Table (静的ルーティングテーブル) に追加する各ルートの送信先 IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイ IP アドレスを手動で入力し、[**ADD** (追加)] をクリックします。ネットワーク全体にルーティングする場合は、送信先 IP アドレスの末尾をゼロ (0) にします。(例: 192.168.0.0)

-  **注意:** 静的ルーティングでは、ワイヤレスブロードバンドルータは動的にルーティングの情報を検出せず、また RIP を使いません。ワイヤレスブロードバンドルータは、現在 RIP をサポートしません。

Static Routing Table (静的ルーティングテーブル) から静的ルートを削除するには、各ルートの横にあるボックスおよび [DELETE (削除)] ボタンを使います。

[SUBMIT (送信)] ボタンをクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

Administration Settings (管理設定)

パスワードの設定

ワイヤレスブロードバンドルータでネットワーク設定を変更するには必ず、パスワードを使ってユーザーの認証を行います。現在のパスワードを変更するには、[Change Your Password (パスワードの変更)] を選択し、[New Password (新しいパスワード)] と [Retype Password (パスワードを再入力する)] フィールドの両方に新しいパスワードを入力します。パスワードを書き留め、将来参照するために安全な場所に保管しておいてください。

システム管理

• HTTPポートナンバー

特に理由がない限り、[HTTP port (HTTP ポート)] 値を変更しないでください。通常、ウェブサーバは受信ウェブリクエストをポート 80 で監視します。

• リモートユーザーによるデバイスの設定を許可

インターネットを介してワイヤレスブロードバンドルータを管理する権限をリモートユーザに与える場合は、[Allow remote user to configure the device (リモートユーザーによるデバイスの設定を許可)] を選択します。ユーザーのホストコンピュータに IP アドレスを入力します。

• リモートユーザーにデバイスの「ping」を許可する

ワイヤレスブロードバンドルータがインターネットでユーザーによる「ping」を許可する場合、[Allow remote user to ping the device (リモートユーザーにデバイスの「ping」を許可する)] ボックスにチェックマークを付けます。他のインターネットユーザーにワイヤレスブロードバンドルータの状態のチェックを許可する場合、この機能は便利です。

• UPnP機能を有効にする

UPnP は、Universal Plug and Play の省略で、Windows XP などの UPnP を有効にしているクライアントコンピュータがワイヤレスブロードバンドルータを見つけて設定できるプロトコルです。ルータにおける最も一般的な UPnP の使用法は、ポートを開いてアプリケーション別のデータをルータ内の様々なインターネットサービスやゲームアプリケーションへ転送する場合です。UPnP を有効にしているクライアントコンピュータによって、ルータ検出およびルータ設定プロセス MSN Messenger などの UPnP を自動的に実行することができるので、手動で実行する必要がありません。[Enable UPnP Function (UPnP 機能を有効にする)] ボックスでこの機能を有効にしたり、また無効にすることができます。

Windows XP(またはWindows ME)を使用している場合は、ルータのUPnP機能が有効であれば、それらでルータへの接続および制御が実行できます。以下に、Windows XPでUPnP機能が有効になっている場合について説明します。

例1) IPアドレスが不明でルータのWebコンフィギュレーションツールに接続する

□□□ デスクトップの [My Network Neighborhood (マイネットワーク)] アイコンをダブルクリックします。

□□□ ルータ用に作成した [Broadband Router ([ブロードバンドルータ)] アイコンをダブルクリックします。

Windows XPを使用している場合は、ルータのUPnP機能が有効であれば、それらでルータへの接続および制御が実行できます。以下に、Windows XPでUPnP機能が有効になっている場合について説明します。



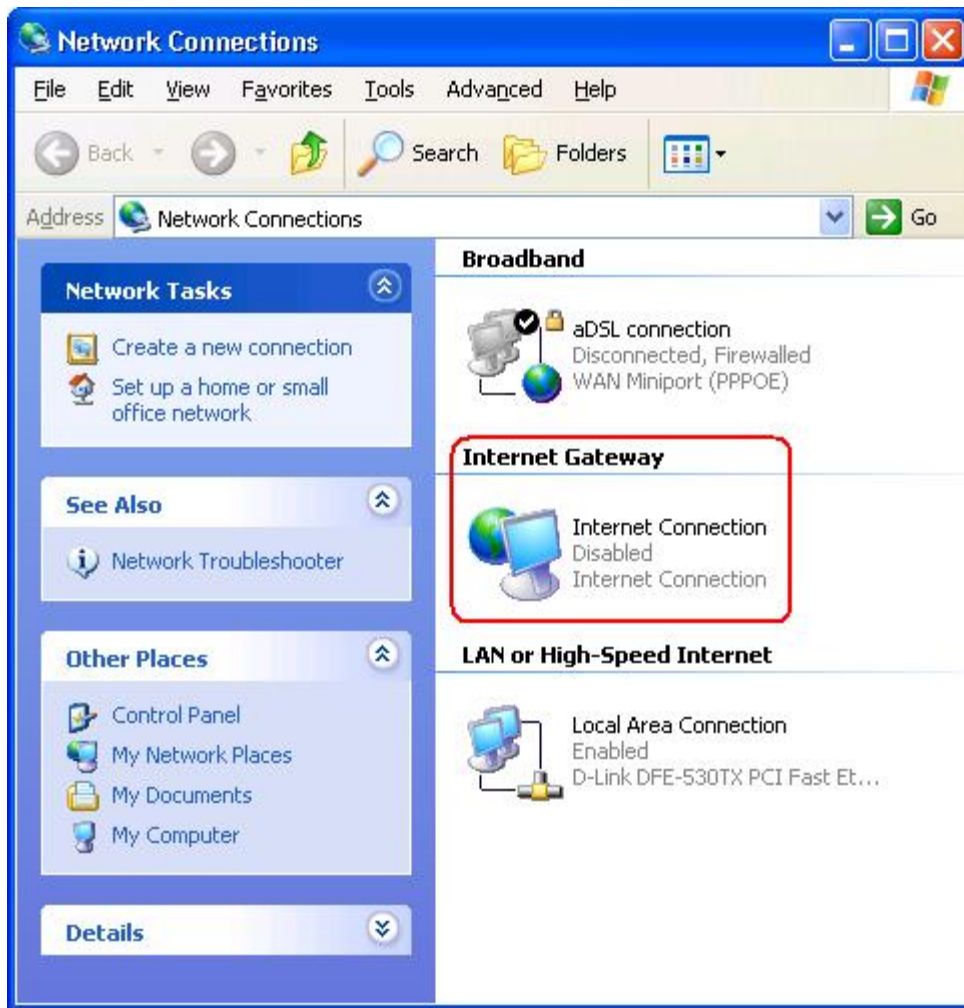
- 次に、ルータのWeb コンフィギュレーションツールの認証スクリーンが表示されますから、正しいパスワードを入力し、OKをクリックします。これでWebコンフィギュレーションツールに接続できます。



例2) XPインターフェースからルータのポート転送ルールを管理する

注意: すでにWebコンフィギュレーションツールを使用してポート転送ルールを管理している場合は、次の操作は必要ありません。

- デスクトップの [My Network Neighborhood (マイネットワーク)] アイコンを右クリックします。
- ルータ用に作成した [Internet Connection (インターネット接続)] アイコンを右クリックします(下図参照)。



- アイコンを右クリックし、 [Property (プロパティ)] を選択します。
- [Settings (設定)] をクリックします。
- [Add (追加)] をクリックします。
- サービスの種類、サービスホストのIPアドレス、このサービスに使用する外部ポート番号、このサービスに使用する内部ポート番号を入力し、TCPまたはUDPを選択します。

下のグラフはIPアドレスが192.168.2.101のコンピュータでパブリックHTTPサーバをホストする場合の例です。

Service Settings

Description of service:
HTTP

Name or IP address (for example 192.168.0.12) of the computer hosting this service on your network:
192.168.2.101

External Port number for this service:
80 TCP UDP

Internal Port number for this service:
80

OK Cancel

□□□ OKをクリックし、変更を保存します。

[SUBMIT (送信)] をクリックし、変更を保存します。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

[目次に戻る](#)

コントロールユーティリティ：

Dell™ TrueMobile™ 2300 ワイヤレスブロードバンドルータユーザーズガイド

Contact Utility(コントロールユーティリティ)は、Windows のソフトウェアで、使用コンピュータからワイヤレスブロードバンドルータとインターネットへの接続状況をモニタします。

- ▶ [Install the Control Utility \(コントロールユーティリティのインストール\)](#)
- ▶ [Uninstall the Control Utility \(コントロールユーティリティのアンインストール\)](#)
- ▶ [Start the Control Utility \(コントロールユーティリティの使用法\)](#)
- ▶ [Exit the Control Utility \(コントロールユーティリティの終了\)](#)
- ▶ [コントロールユーティリティによるルータの設定](#)

コントロールユーティリティのインストール

セットアップウィザードを使用して設定する際に、コントロールユーティリティを PC にインストールできます。

- TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータセットアップウィザードとユーザーガイド CD を CD ドライブに挿入します。CD が自動的にセットアップウィザードプログラムを起動します。自動的に起動しない場合、次の手順でウィザードを起動してください。
 - [スタート] の [ファイル名を指定して実行] へ進み、
 - 「x:\setup.exe」と入力します (「x」は CD-ROM ドライブのドライブ名です。)
- メインメニューで、[Installation (インストレーション)] をクリックし、次に [Setup First Computer (1台目のコンピュータの設定)]、または [Setup Additional Computers (別のコンピュータの設定)] のどちらかをクリックします。
- 画面上に表示される説明に従い、設定を完了します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティのアンインストール

- システムトレイにルータアイコンが表示されている場合、アイコンを右クリックし [Exit (終了)] を選択します。


□□□ 次に、[Start (スタート)]、[Control Panel (コントロールパネル)]、[Add/Remove Program (プログラムの追加と除去)] の順でクリックします。




□□□ プログラムリストから [Control Utility (コントロールユーティリティ)] を選択し、指示に従ってプログラムを除去します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの使用方法


この [Control Utility(コントロールユーティリティ)] は、システムが起動すると自動的に実行するデフォルトセットアップです。[Utility(ユーティリティ)] が自動的に開始しない場合、[Start (スタート)] の [Programs (プログラム)] で [Dell TrueMobile 2300 Wireless Broadband Router (Dell TrueMobile 2300 ワイヤレスブロードバンドルータ)]、次に [Dell Control Utility (Dell コントロールユーティリティ)] の順にクリックして(ユーティリティ)プログラムを起動します。


一度実行されると、システムトレイにルータアイコンが作成されます。インターネットの接続が良好状態の場合、システムトレイのアイコンは  のようになり、ルータのアイコンをダブルクリックし、ユーティリティーパネルを開くことができます。

 注意: アイコンが黄色  である際は、インターネット接続がされていないことを示します。アイコンが赤色  である際は、ルータへの接続が失敗したことを示します。

[トップに戻る](#)

コントロールユーティリティの終了

コントロールユーティリティープログラム開始時にアイコン  がシステムトレイに表示されます。プログラムを終了する場合は、システムトレイ中のユーティリティーアイコンを右クリックし、メニューを開きメニューから [Exit (終了)] を選択してプログラムを終了します。

 注意: ウィンドウタイトルバー上のクローズボタンをクリックするとコントロールユーティリティが閉じますが、プログラムを終了したことはありません。

[トップに戻る](#)

[目次に戻る](#)

